

資料4

外部仕上表

「愛媛縣廳舎新築工事材料内訳明細書」(愛媛県作成)、「愛媛縣廳舎新築工事内訳明細書」(安藤組作成)及び「愛媛縣廳舎新築工事設計仕様書」(愛媛県罫紙に記載、表紙に安藤組押印あり)による。

項目	仕上げ
塔屋屋根	【新築設計】防水剤入り人造石洗出し(下地リプラス上防水剤入りコンクリート厚3寸塗り) 【変更】銅板張り
屋上陸屋根	防水層(S.P.C式又はA.B.C式)アスファルト三層防水、防水押えコンクリート、鉄網入りセメントブロック敷き(押え目地3分5厘沈み) パラベット上部笠石:大島産花崗岩五度叩き仕上げ彫刻付
車寄せ屋根	防水層(S.P.C式又はA.B.C式)アスファルト三層防水、防水押えコンクリート、タイル張り
外壁	側廻り壁張石(高さ14.3尺):大島産花崗岩瘤出し合端五度叩き小仕上げ 側石張上部及び塔屋、階段塔:人造石洗出し仕上げ目地入り 裏側腰(高さ14.4尺):人造石洗出し仕上げ 裏側腰上部壁:モルタル塗り(刷毛引き)石目地入り仕上げ 水切石、入口額縁、窓台石、窓額縁:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ 正面玄関上部、正面西側、塔屋外部窓際:人造石彫刻:モルディング及び彫刻張付け 塔屋蛇腹中央、同四隅:人造石彫刻張付け 東西階段外部窓脇:人造石洗出しモルディング及び彫刻 塔屋前バルコニー壁及び立ち上がり:人造石洗出し
庇	東西階段上部庇:人造石洗出し彫刻付き 東西入口、裏側入口、屋上青写真及び機械室出口上部庇:人造石洗出し
根回り	側廻り壁根石:大島産花崗岩五度叩き小仕上げ 線形付き
樋	縦樋:銅板黒板尺平方12オンス付(屋上より径4.5寸、塔屋より径2.5寸)、樋吊り銅製約4尺間内外蝶番形足4寸角コンクリート埋込み 縦樋(地上6尺通り):瓦斯管肉厚3分銅色塗り 鮫鱈、配樋、落口、庇樋、軒樋:銅製
車寄せ上り口	電燈台、階段石、蹴放石、入口沓摺:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ
車寄せ外部	張付石:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ
車寄せ内部	巾木石:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ 線形付き 壁:大森板石工業合資会社製品四盤石 目地入り仕上げ 天井:白漆喰塗り水性ペンキ仕上げ、天井蛇腹モルディング付き石膏彫刻、石膏模様、石膏薄肉彫刻中心飾 各張付けペンキ塗り仕上げ
玄関昇り階段	段石、蹴放石:大島産花崗岩五度叩き仕上げ
正面入口	袴腰、額縁石、粹石、額石、張石根石:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ 線形付き
東西側階段	段石、蹴放石、電燈台石:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ
北側、中央部入口	段石、蹴放石:大島産花崗岩五度小叩き仕上げ
スロープ	丸柱、縁石:大島産花崗岩三度小叩き仕上げ
馬車廻し	丸柱、手摺石:大島産花崗岩三度小叩き仕上げ
外部建具	<正面玄関大入口:スチールドア> 折畳両開戸(1箇所)、折畳片開戸(2箇所):骨組木製 日本メタリコン工業所製張冠せ彫刻付ブロンズ鍍金仕上げ 青銅ブロンズ色塗り仕上げ 同上部欄間:嵌殺正二分磨きガラス嵌め、外側破損止め金物模様彫刻入ブロンズ鍍物嵌め別 <東西北出入口:スチールドア> 両開戸(東西階段下出入口)、片開戸:スチールパネルドア、欄間:透明ワイヤードガラス嵌め(一部なし) 青銅ブロンズ色仕上げ <窓:スチールサッシュ> ベルビンペイント4回塗り仕上げ
硝子	<ステンドグラス> 4階階段室天窗:5尺×8尺2枚、真鍮骨銅鍍金仕上げ 正庁窓:12.5尺×3尺3枚、真鍮骨鍍金仕上げ <一般窓> 正1分厚、舶来上等パテ押え

内部新旧仕上表

<表作成上の留意事項>

- ・新築当時の各部仕上げについては、保存されている設計図に仕上表が含まれていないため、入れ執行時に予定価格算定のため県が作成した「愛媛県廳舎新築工事材料内訳明細書」及び請負者の安藤組が作成・提出した「愛媛県廳舎新築工事内訳明細書」（両方合わせて「内訳明細書」という。）における名称欄と摘要欄記載の部位や部屋名から仕上げ表を作成。
- ・工事中的変更についても、保存されている変更内訳書に反映されているものは可能な限り、その内容を表記。
- ・「新築設計図書名」は安藤組スタンプと代理人の署名、捺印のある「愛媛県廳舎新築設計図」のうちの平面図に、「竣工当時室名」は昭和4年当時の設計図にそれぞれ基づき、現在室名と合わせて工事中及び竣工後の変更（現時点の間取りへの変更で途中経過は省略）による部屋の分割、統合を表した欄形式とした。
- ・上段は工事着手前の「愛媛県廳舎新築工事材料内訳明細書」（愛媛県作成）及び「愛媛県廳舎新築工事内訳明細書」（安藤組作成）に基づく仕上げ。下段は現状仕上げ（H29.3時点）
- ・位置欄は、H型平面において、東、中、西の3つに区分し、かつ中央廊下（東西階段）により北と南に分けた場合の位置を示す。
- ・仕上げ欄の上段欄の「↑」は、間仕切り変更により生じた部屋において、新築設計時の室名欄と同じことを示す。

<仕上げ留意事項>

- ・執務室等の床、巾木等の「ユーボリス」は、特記無き場合も設計変更により一律「コンベス」に変更
- ・壁、天井仕上げについて、モルタル塗り、漆喰塗り等の場合の塗装の有無に関して、内訳明細書の摘要欄等の表記に基づき記載した。ただし、「愛媛県廳舎新築工事設計仕様書」（安藤組スタンプあり）の「塗師工事」の事項として、「室内腰全部モルタル壁上へステンテックス3回塗り上塗り見本通り叩キツス」、「水性ペンキ指定ナキ壁天井ハドロマイト上へ指示2回塗り仕上グ」とあることから、内訳明細書の表記に聞わずドロマイト塗りは水性ペンキ仕上げ、腰モルタル塗りはステンテックス仕上げとした。その他の部位のモルタル塗り、白漆喰塗りにについては内訳明細書に記載がない限り仕上げ塗装を表記していない。

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
1	東 の 北	予備室	電話交換室 及び宿直室	機械室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りステンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：高さ1尺5寸モルタル塗り ステンテックス塗り
					新	鋼板床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修 一部折板張り	
		修理室	電池室	機械室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りステンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り
					新	鋼板床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修 一部折板張り	
	工夫室	電話工夫室	機械室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りステンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	鋼板床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修 一部折板張り		
	廊下	同左	機械室	旧	↑	↑	↑	↑	↑		
				新	鋼板床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修 一部折板張り		
東 の 南	電話交換室	空気調整室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りステンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
			新	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修			
	フィルム検査室		空気調整室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りステンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>		

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
1	東 の 南	蚕業取締所	土木調査室	システム設計	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	ドロマイト	ドロマイト	棚上：モルタル塗り
					新	フロア合板	木製	プリント合板張り	吸音板張り	吸音板張り	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	棚上：モルタル塗り
					新	木製フローリング張り	木製	プリント合板張り	吸音板張り	吸音板張り	
		穀物検査所	土木調査室	情報政策課別室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り
					新	Pタイル貼り	ソフト巾木	有孔ボード張り	吸音板張り	吸音板張り	
					旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	Pタイル貼り	ソフト巾木	有孔ボード張り	吸音板張り	吸音板張り	
		廊下	廊下	情報政策課別室 前室（北）	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	人造石研ぎ出し	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ソフト巾木	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修	
	中 央 の 北	小使室	同左	便所	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	モザイクタイル貼り		100角タイル貼り	ボード張りペイント塗り	ボード張りペイント塗り	
					旧	量	量寄せ	不明	不明	不明	
					新	モザイクタイル貼り		100角タイル貼り	ボード張りペイント塗り	ボード張りペイント塗り	
		浴室	警察部宿直室	帳票整理室	旧	人造石研ぎ出し（水槽共）		浴槽上段：文化タイル5寸 角摺合せ目地なし仕上げ 腰：タイル	腰タイル上部モルタル塗	モルタル塗り	浴槽内部共、隅 丸タイル 天端 面丸タイル 上がり框：塩地
					新	木製フローリング張り（床 上げ）	木製	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	上がり框：塩地
					新	木製フローリング張り（床 上げ）	木製	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
1	中央の北	鑑写室	警察部直直室	帳票整理室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					新	木製フロー リング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			電話技術員室		旧	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					新	木製フロー リング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			鑑写室		旧	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
					新	タイ ルカーベ ット貼 り(床 上げ)	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ ンキ仕上げ	大連ドロマイ	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
1	中央 の 北	中央階段 (1～2階)	同左	同左	旧	人造石研出し	【当初】ユーボリスマー ブル色仕上げ (手摺共) 【変更】人造石研出し (手摺共)	白漆喰	白漆喰	階段裏：白漆喰	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修		
		電気室			旧	モルタル塗り	モルタル塗リストンデック ス仕上げ	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	
					新	Pタイル貼り	ソフト巾木	ビニールクロス貼り	ペイント補修	ペイント補修	
		セメント試験室	セメント試験室		旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗リストンデック ス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗リストンデック ス塗り
					新	タイルカーペット貼り (床 上げ)	ソフト巾木	ビニールクロス貼り	ペイント補修	ペイント補修	
	中央 の 南	土木出張所	土木出張所		旧	モルタル塗り	モルタル塗り (窓際欄部巾木無し)	モルタル塗リストンデック ス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗リストンデック ス仕上げ
					新	タイルカーペット貼り (床 上げ)	ソフト巾木	ビニールクロス貼り	ペイント補修	ペイント補修	
		食堂	同左	機械室	旧	モルタル塗り		タイル 隅丸タイル、笠木タイル	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	Pタイル貼り (床上げ)	木製	ボード張りクロス貼り	吸音クロス貼り	吸音クロス貼り	
		配膳室	同左	機械室	旧	モルタル塗り		大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	配膳台棚板：塩地
					新	タイルカーペット貼り (床 上げ)	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
耕地整理室	自転車置場	同左	倉庫 (物品倉庫)	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ		
				新	人造石研出し	人造石研出し	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修		
	倉庫	フィルム検査室	カラーコピー室	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗リストンデック ス塗り	モルタル塗り	モルタル塗り		
				新	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		
		私学文書課 (文書)	同左		旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗リストンデック ス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上部一尺五寸通り：モルタル塗 リストンデックス
					新	木製フローリング張り (床 上げ)	木製	ペイント補修、後補間仕切 壁：ボード張りペイント塗 り	ペイント補修	ペイント補修	
			旧	↑	↑	↑	↑	↑	↑		
			新	合板張り (床上げ)	モルタル塗り	ペイント補修後補間仕切 壁：ボード張りペイント塗 り	ペイント補修	ビニールクロス貼り			

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
1	中央 の 南	耕地整理室	同左	OAルーム	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	ニードルパンチカーペット 敷き (床上げ)	木製	ビニールクロス貼り	ビニールクロス貼り		
	西 の 北	応接室	赤十字社事務室 (応接室)	倉庫	旧	モルタル塗り、ユーボリス ス	モルタル塗り、ユーボリス ス	モルタル塗りストンテック ス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塗床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		主事室	赤十字社事務室 (主事室)	倉庫	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	塗床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		小使室	赤十字社事務室 (玄関)	倉庫	旧	↑	↑	↑	↑	↑	※内譯明細書の表記は「赤十字支 部事務室 小使室」 階段側板、段板、蹴込板：塩地
					新	塗床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		小使室 ※タタミ部分	赤十字社事務室 (小使室)	倉庫	旧	畳	畳寄せ	不明	不明	不明	
					新	塗床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		入札閲覧室	道路工夫室	倉庫	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	高さ四尺五寸通り？モルタル 塗り、ストンテックス塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塗床	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		道路工夫室	入札閲覧室	生協	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	高さ四尺五寸通りモルタル 塗り、ストンテックス塗り 仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	Pタイル貼り	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		請負人控室	請負人控室		旧	モルタル塗り	モルタル塗り	高さ四尺五寸通りモルタル 塗り、ストンテックス塗り 仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	Pタイル貼り	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	西 の 南	製本室	同左	倉庫	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り、ストンテッ クス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上部一尺五寸通り：モルタル塗 りストンテックス
					新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	
				健康相談室	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ソフト巾木	ポリ合板張り	ビニールクロス貼り	吸音板張り	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考		
1	西 の 南	天秤室	事務室	内科診療所	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ			
					新	長尺塩ビシート貼り	ソフト巾木	ビニールクロス貼り	吸音板張り				
		旧			モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ				
		新			長尺塩ビシート貼り	ソフト巾木	ビニールクロス貼り	吸音板張り					
		旧			↑	↑	↑	↑	↑				
		新			塗床、O I Cカーペット敷 き、長尺塩ビシート貼り	木製	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修				
		旧			↑	↑	↑	↑	↑				
		新			O Aフロアー（P タイル仕 様）	モルタル塗り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修				
		旧			モルタル塗り	モルタル塗り （窓際欄部巾木無し）	窓際欄部；モルタル塗 りストンテックス仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	棚上：モルタル塗り			
		新			O Aフロアー（P タイル仕 様）	モルタル塗り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修				
		旧			↑	↑	↑	↑	↑				
		新			O Aフロアー（P タイル仕 様）	モルタル塗り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修、一部ビニ ールクロス貼り	ペイント補修				
2	東 の 北	廊下	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ			
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	人造石研ぎ出し、一部ポリ 合板張り	ペイント補修、一部ポリ合 板張り	ペイント補修			
		旧			ユーポリス単色仕 上げ	ユーポリス単色仕 上げ	モルタル塗りスト ンテックス仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	棚上：モルタル塗り			
		新			カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修				
		旧			人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ				
		新			（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修				
		旧			人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	隅丸タイル、笠木 タイル			
		新			（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修				
		洗面所			同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	
							新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	
		便所			同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	文化タイル白5寸角 張り腰高9枚通 り白5寸角摺合 せ目地なし	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	大連ドロマイト塗 り水性ペンキ仕 上げ	
							新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考	
2	東 の 北	宿直室	指紋庫調室	企画振興部会議 室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ		
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		
		東 の 南	指紋庫 (鑑識室)	刑事課	総合政策課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り
						新	木製フローリング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
			応接室			旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り
						新	木製フローリング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	高等課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り				
		新	木製フローリング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修					
	中央 の 北	(警察部長) 応接室	同左	政策企画局長室	旧	↑	↑	↑	↑	↑		
					新	木製フローリング張り (床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		
		警察部長室	同左	企画振興部長室	旧	オーク床板 (本実別隠釘止 め)	米絵、上端線形付	腰羽目米絵、縦横框 (高さ 4.5尺)、パネル：高さ4 尺、幅、周囲小穴嵌め	白漆喰塗り	白漆喰塗り (蛇腹線形)	床板：「オークボード」を以て市 松に組合せ張立つること	
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま・仕 上げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	ペイント補修	ペイント補修		
		衛生室	保安課	県民総合相談プ ラザ (みきやん センター)	旧	オーク床板 (本実別隠釘止 め)	米絵、上端線形付	腰羽目米絵、縦横框 (高さ 4.5尺)、パネル：高さ3 尺、幅、周囲小穴嵌め	白漆喰塗り	白漆喰塗り (蛇腹線形)	シャンドンリア台：石膏彫刻張り 床板：「オークボード」を以て市 松に組合せ張立つること	
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま・仕 上げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	ペイント補修	ペイント補修		
	新聞記者室	同左	同左	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	カーペット敷き	ペイント補修	クロス貼り	クロス貼り	クロス貼り			

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
2	中央の北	自動車運転手室	不明	倉庫	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塗床、一部Pタイル貼り	ペイント補修	有孔ボード張り	有孔ボード張り	有孔ボード張り	
		内務電話交換室	不明	倉庫	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塗床	ペイント補修	有孔ボード張り	有孔ボード張り	有孔ボード張り	
		広間（ホール）	同左	同左	旧	大理石（イタリア産）	大理石（イタリア産）線 形付き	大理石（イタリア産）線形 張り	白漆喰塗り 玄関部アーチ；石膏彫刻張 り	白漆喰塗り 石膏彫刻張り	入口額縁：大理石
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま）	
		中央階段 （2～3階）	同左	同左	旧	【当初】ユーボリス 【変更】珪面、蹴上 大理 石（イタリア産）	大理石（イタリア産）線 形付き	大理石（イタリア産）線形 張り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	階段裏：白漆喰	＜エレベーター入口＞ 入口枠両腰：大理石 壁紙、アーチ、まぐさ：大理石
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	
		文書課	同左	伊予銀行 県庁支店	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塩ビタイル貼り、一部タイ ルカーペット貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
中央の南	宿直室	同左	同左	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ		
				新	塩ビタイル貼り、一部タイ ルカーペット貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		
	工場課	同左	自転車新文化推 進室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		
	警務課	警務課	総務管理課	旧	↑	↑	↑	↑	↑		
				新	木製フローリング張り（床 上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修、後補間仕切 壁：ボード張りビニールク ロス貼り	ペイント補修		
	警務課分室	警務課		旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	木製フローリング張り（床 上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修、後補間仕切 壁：ボード張りビニールク ロス貼り	ペイント補修		
	警務課分室	警務課		旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り	
				新	木製フローリング張り（床 上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修		

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
2	中央 の 南	電話室	同左	同左	旧	大理石（イタリア産）	大理石（イタリア産）線 形付き	大理石（イタリア産）線形 付き	白漆喰塗り	白漆喰塗り	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	
			守衛室	警備員室	旧	【当初】ユーポリス単色仕 上げ 【変更】人造石研ぎ出し	【当初】ユーポリスマー ブル色仕上げ 【変更】人造石研ぎ出し	【当初】ユーポリスマー ブル色仕上げ 【変更】人造石研ぎ出し	白漆喰塗り	白漆喰塗り	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ジブトン張り	
		広間 （ホール）	同左	同左	旧	大理石（イタリア産）	大理石（イタリア産）	大理石（イタリア産）	白漆喰塗り仕上げ	白漆喰塗り仕上げ 天井蛇腹；モルディング付 き石膏彫刻張り、シャンデ リア台；石膏模倣入り	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
			同左	同左	旧	【当初設計】 床四盤石及び階段：大理石 【変更】 花崗岩	大理石	格腰：大理石	白漆喰塗り	白漆喰塗り 天井蛇腹；モルディング付 き石膏彫刻張り、シャンデ リア台；石膏彫刻入り、 アーチ	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
		玄関 車寄せ	同左	同左	旧	【当初：窓壁車庫金新築工 事設計仕様書】床四盤石； 大理石（大森板石工業合資 会社製同等以上）	大島産花崗岩線形付き五 度小叩き仕上げ	内部壁：張石目地入り仕上 げ	内部壁：張石目地入り仕上 げ	白漆喰塗りペンキ仕上げ 天井蛇腹；モルディング付 き石膏彫刻張りペンキ仕上 げ 天井模様；石膏張付けペン キ仕上げ	天井中心飾り；石膏薄肉彫刻付き ペンキ仕上げ
					新	御影石貼り	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
		供待	同左	当直室	旧	【当初】ユーポリス単色仕 上げ 【変更】人造石研出し	【当初】ユーポリスマー ブル色仕上げ 【変更】人造石研出し	【当初】ユーポリスマー ブル色仕上げ 【変更】人造石研出し	白漆喰塗り	白漆喰塗り	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ジブトン張り	
		倉庫室	同左	同左	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	モルタル塗り	モルタル塗り	
					新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	
		会計課	会計課	会計課	旧	モルタル塗りユーポリス単 色仕上げ	モルタル塗りユーポリス 単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上；モルタル塗り 支金庫受渡窓カウンタ―；塩地
					新	木製フローリング張り（床 上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		支金庫	金庫		旧	モルタル塗りユーポリス単 色仕上げ	モルタル塗りユーポリス 単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上；モルタル塗り
					新	木製フローリング張り（床 上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
2	中央の南	和室	支払室	会計課支払室	旧	【当初】畳 【実施】モルタル塗り ユーポリス単色仕上げ	【当初】畳寄せ 【実施】モルタル塗り ユーポリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	塗床	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
				会計課	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	
	西の北	事務室 (赤十字社支部)	赤十字社事務室	総務部入札室兼 会議室	旧	ユーポリス単色仕上げ	ユーポリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	C F シート貼り	ペイント補修、一部ソフ ト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	モルタル塗り（上がり段 共）一部：畳	モルタル塗り 一部：畳寄せ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	押入れ内部：七部仕上げ
					新	長尺塩ビシート貼り	木製	ビニールクロス貼り		ビニールクロス貼り	
		洗面所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	
					旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	
	西の南	土木課別室		審査課	旧	ユーポリス単色仕上げ	ユーポリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗り
					新	木製フロロリング張り(床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	ユーポリス単色仕上げ	ユーポリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタル塗りストンテック スス仕上げ
					新	木製フロロリング張り(床 上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		土木課	土木課	廊下	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
2	西の南	土木課	土木課別室	会計管理者 出納局長室	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
3	共通	廊下	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修	
	東の北	予備室	穀物検査所	職員厚生室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗り
					新	板張り（床上げ）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		洗面所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		便所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
	救済会	同左	同左	人事課準備室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗り
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		同左	同左	人事課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗り
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	東の南	(内務部長) 応接室	同左	総務管理局長室	旧	オーク床板（本実羽隠釘止め）	米松、上端線形付	腰羽目米松、縦横框（高さ4.5尺）、パネル：高さ4尺、梃、周囲小穴詰め	白漆喰塗り	白漆喰塗り（蛇腹線形とも）	床板：「オークボード」を以て市松に組合せ張立つること
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		内務部長室	同左	総務部長室	旧	オーク床板（本実羽隠釘止め）	米松、上端線形付	腰羽目米松、縦横框（高さ4.5尺）、パネル：高さ3尺、梃、周囲小穴詰め	白漆喰塗り	白漆喰塗り（蛇腹線形とも）	シャーンデリア台：石膏彫刻張り 床板：「オークボード」を以て市松に組合せ張立つること
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
3	中央の北	保安課	衛生課	職員厚生室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗 り
					新	Pタイル貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		保安課	衛生課	広報広聴課	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	Pタイル貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		広間	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	大理石（イタリア産）縞 形付き、一部 人造石研 出し	【当初】ユーボリスマーブ ル色仕上げ 【変更】大理石（イタリア 産）縞形付き一部 人造石 研出し	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
		中央階段 （3階～踊り場）	同左	同左	旧	【当初】ユーボリスマーブ ル色仕上げ 【変更】大理石（イタリ ア産）縞形付き（手摺と も）	【当初】ユーボリスマー ブル色仕上げ 【変更】大理石（イタリ ア産）縞形付き（手摺と も）	【当初】ユーボリスマーブ ル色仕上げ 【変更】大理石（イタリ ア産）縞形付き	-	階段裏：白漆喰	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
		中央階段 （踊り場～4階）	同左	同左	旧	【当初】ユーボリスマーブ ル色仕上げ 【変更】大理石（イタリ ア産）縞形付き、一部 人造石研出し（手摺と も）	【当初】ユーボリスマー ブル色仕上げ 【変更】大理石（イタリ ア産）縞形付き、一部 人造石研出し（手摺と も）	【当初ユーボリスマーブル 色仕上げ】 【変更】大理石（イタリア 産）縞形付き一部 人造 石研出し（手摺とも）	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	4階天井：白漆喰	
					新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	（当初仕上げのまま・仕上 げ補修）	
		営繕課	営繕係	会議室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗 り
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
				副知事室	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	クロス貼り	吹付けタイル	クロス貼り	
				秘書室	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ビニールクロス貼り	吹付けタイル	クロス貼り	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
3	中央 の 北	貴賓便所	同左	便所	旧	モザイクタイル貼り	大理石	大理石 各出入隅は角丸仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	隔板：大理石 真鍮ニッケル金物止め 木部見掛け白エナメル又はハダッ チエナメル磨出し
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		貴賓室	同左	人事課別室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗 り
					新	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
	中央 の 南	庶務課	同左	記者室	新	(当初仕上げのまま) 一部長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	傍合決り床板（杉又は檜） 下地常木張り（チーク、 オーク、コクタン）（詳細 図の通り）	チーク	付桝チーク材桝パネル（H 7尺6寸）、パネル特種ペン キ塗り	腰パネル上部蟻壁共白漆喰 塗りペンキ下地	白漆喰モルディング付き 梁下：石膏彫刻張り付け 落天井：石膏彫刻張付け	ストープ：大理石 ストープ前飾り：真鍮鋳物製アン ティーク色仕上げ、ケンドン式 シャンデリア台：石膏彫刻張付け
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	
		統計課	統計係	秘書室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗 り
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	西 の 北	参事会室	同左	知事会議室	旧	檜板張り 「オークボード」市松組合 せ張り	米倉8.5寸	枋腰：米倉	米倉桟縦櫓、ベニヤ板 (品、特許 新田式5枚別3 分厚) パネル及び蟻壁白漆 喰	白漆喰 配腹モルディング彫刻付き	シャンデリア台：石膏彫刻張付け
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上 げクロス補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	
		会議室 (赤十字社支部)	赤十字社会議室	副知事室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	板張り	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
				廊下	新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
					旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
3	西の北	洗面所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		便所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		控室兼応接室	知事官房	秘書室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	クロス貼り	ペイント補修	ペイント補修	
	東の北	官房	秘書課	第二応接室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテック ス仕上げ
					新	カーペット敷き	ペイント補修	板張り（ケヤキ突板）	ペイント補修	ペイント補修	
		応接室	同左	第一応接室	旧	杉床板下地寄木張り（チーク、オーク混合コクタン（筋入り））	チーク 高さ7寸通りモルディング 付き	チーク羽目板（高さ3尺5寸） 枠組玉像モルディング 付	ベニヤ板（チーク又はマホガニー、特許新田式5枚刈3分厚） パネル、特種ペンキ水性叩き仕上げ パネル及び上部蟻壁共：漆喰仕上げペンキ下地、パネルモルディング付き	白漆喰 天井蛇腹モルディング石膏 彫刻張付け	
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上げ補修)	
		知事室	同左	同左	旧	杉床板下地寄木張り（チーク、オーク混合コクタン（筋入り））	チーク 高さ7寸通りモルディング 付き	チーク羽目板（高さ3尺5寸） 枠組玉像モルディング 付	ベニヤ板（チーク又はマホガニー、特許新田式5枚刈3分厚） パネル、特種ペンキ水性叩き仕上げ パネル及び上部蟻壁共：白漆喰仕上げペンキ下地、パネルモルディング付き	白漆喰 天井蛇腹モルディング石膏 彫刻張付け	シヤンデリア台：石膏彫刻模倣入り 無目、沓摺、袴腰、額縁、膳板、寶負（腰羽目上端）；チーク
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上げ補修)	
4	共通	廊下	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修	
	東の北	予備室	養業取締所	人権対策課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテック ス仕上げ
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
4	東 の 北	洗面所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り （当初仕上げのまま）	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし （当初仕上げのまま）	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	（当初仕上げのまま）			ペイント補修	ペイント補修	
		便所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り （当初仕上げのまま）	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし （当初仕上げのまま）	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	（当初仕上げのまま）			ペイント補修	ペイント補修	
		衛生主事室	学校衛生技師室	行財政改革 局長室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗 り
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	東 の 南	社会課	同左	県民生活課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗 り
					新	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		社寺兵事課	同左		旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンテック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンテックス塗 り
					新	（当初仕上げのまま） 一部長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		（学務部長） 応接室	同左	県民生活局長室	旧	オーク床板（本実柄隠釘止 め）	米絵、上端線形付	腰羽目米絵、縦横框（高さ 4.5尺）、パネル：高さ3 尺、幅、周囲小穴嵌め	白漆喰塗り	白漆喰塗り（蛇腹線形）	床板：「オークボード」を以て市 松に組合せ張立つること
					新	カーペット敷き	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	
中央 の 北	応接室	同左	同左		旧	＜不明＞	＜不明＞	＜不明＞	＜不明＞	＜不明＞	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	会議室兼 高等官食堂	同左	同左	私学文書課	旧	檜床板（傍実柄隠釘止 め）	米繪羽目板（縦横框）高さ 4尺5寸	米繪羽目板（縦横框）高さ 4尺5寸	ベニヤ板（組、特許 新田 式5枚刻3分厚）パネルの上 漆喰仕上げペンキ下地 蟻壁共、パネルモルデイン グ付き	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	
					新	カーペット敷き	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
4	中央 の 北	配膳室	同左	私学文書課	旧	<不明>	<不明>	<不明>	<不明>	<不明>	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		ホール (階段室)	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	白漆喰・ペンキ下地	白漆喰塗り 蛇腹モルディング付き彫刻 張り 梁下部線形彫刻模様入り シャンデリア台：線形彫刻 模様入り	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		塔屋階段室 (4階～塔屋)	同左	同左	旧	【当初】ユーボリス単色仕 上げ 【変更】人造石研出し	人造石研出し	腰高4尺5寸通り人造石研 ぎ出し塗り	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	床ユーボリス特記 「コンクリートの上へ直接塗るこ と」
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	
		蚕糸課	同左	—	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗 り
					新	カーペットタイル貼り	ソフト巾木	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		予備室	同左	財政課別室	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		学務課	蚕糸課	財政課別室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗 り
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		学務課	学務課	市町振興課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデック ス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペ ンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス
					新	長尺塩ビシート貼り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	中央 の 南	正庁	同左	同左	旧	杉床板下地寄木張り（チー ク、オーク混合コクタン の 筋入り） 玉座上り段蹴込板：米繪、 同段板：チーク、香樟； チーク、玉座床：杉板下地 寄木張り（チーク、オー ク、コクタン）	米繪 1尺1寸×2寸（隅々 留、仕口角丸仕上げ） 重巾木 7寸×2.5寸モ ルディング付き 柱下柵・玉座巾木：米繪 線形付き	白漆喰塗り・ペンキ下地 白漆喰塗り、蛇腹、アーチ：モルディング付き、石膏彫 刻付き 特種ペンキ塗り（エナメル 艶消し金箔置き）	玉座天井：漆喰塗り薄肉模 様入り、蛇腹線形塗り、入 口額縁モルディング付き 特種ペンキ塗り（エナメル 艶消し金箔置き）	入口額縁モルディング付き彫刻模 様入り 柱隅石膏張り、石膏型抜き ギヤビタル石膏彫刻付き、フリー ズ、ギヤビタル上部モルデ ィング付き彫刻張り、蛇腹、二段重ねモ ルディング付き彫刻模様入り、 ギヤビタル頭部飾り石膏彫刻付 き、梁下部石膏彫刻付き シャンデリア台：石膏彫刻付き 梁下端モルディング線形	
					新	カーペット敷き	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま・仕上げ補修)	(当初仕上げのまま・仕上 げ補修)	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
4	中央の南	林務課	同左	財政課	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗り
					新	木製フローリング張り(床仕上げ)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		勅業課分室	同左	会議室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルペンキ塗り
					新	カーペット敷き	ペイント補修	木製板枠組	吹付けタイル	吹付けタイル	
				廊下	旧	↑	↑	↑	↑	↑	
					新	カーペット敷き	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		応接室	同左	財政課別室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルペンキ塗り
					新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	
		洗面所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
		便所	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	文化タイル白5寸角張り	文化タイル白5寸角張り 腰高9枚通り白5寸角摺合せ 目地なし	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ペイント補修	ペイント補修	
	西の南	勅業課	同左	行革分権課 財政課別室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	モルタル塗りストンデックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	棚上：モルタルストンデックス塗り
					新	カーペットタイル貼り(下地：フリーフロア)	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
		共通廊下	同左	同左	旧	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	(当初仕上げのまま)	(当初仕上げのまま)	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ペイント補修	
PH	東・西	青写真室	同左	倉庫	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗りストンデックス仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
					新	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	
	暗室	同左	同左	倉庫	旧	黒色モルタル塗り	黒色モルタル塗り	黒色モルタル塗り	黒色モルタル塗り	黒色モルタル塗り	
					新	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ペイント補修	

階	位置	新築設計図 室名	竣工当時 室名	現在 室名	新 旧	床	巾木	腰壁	壁	天井・梁	備考
PH	中 央	塔屋会議室	同左	ドーム会議室	旧	ユーボリス単色仕上げ	ユーボリス単色仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	木製天井（桧木摺）左官下地（仕上げ材料不明）	ギヤラリー床モルタル及び内側モルタルペンキ塗り ギヤラリー真天井大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ
					新	カーペット敷き	モルタル塗り（ペイント補修）	ペイント補修	ペイント補修	ジブトン張り	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
		碑物置	同左	同左	新	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	ペイント補修	ジブトン張り	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り	白漆喰塗り	白漆喰塗り	白漆喰塗り	
		下部物置	同左	同左	新	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	ペイント補修	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り			白漆喰塗り	
		エレベーター 機械室	同左	同左	旧	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	
					新	塗床	塗床仕上げ	ペイント補修	ペイント補修	ジブトン張り	
					旧	段石、蹴込み：人造石研ぎ出し	人造石研ぎ出し	人造石研出し	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	立上り手摺：人造石研ぎ出し 手摺天端竪木：塩地織形面取りワニス塗り
共通	東 西	東西階段室	同左	同左	新	（当初仕上げのまま）	（当初仕上げのまま）	ゾラコート吹付け	ペイント補修	ジブトン張り	
					旧	モルタル塗り	モルタル塗り	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	大連ドロマイト塗り水性ペンキ仕上げ	
		東西階段下物入	同左	同左	新	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	<未調査>	

中央階段仕上表

部位	床・階段	階段手摺 (巾木、笠木共)	外壁側(北) 腰壁(巾木共)	吹抜け手摺 (両側通路)	吹抜け手摺 (中央部廊下側)	両側通路腰壁
1階ホール	人造石研出しA	—	—	—	—	人造石研出しB
1階～踊場	人造石研出しB	人造石研出しB	人造石研出しB	—	—	—
踊場～2階	人造石研出しB	人造石研出しB	人造石研出しB	—	—	—
2階ホール	大理石(市松模様)	—	—	人研ぎB	大理石	大理石
2階～踊場	大理石	大理石	大理石	—	—	—
踊場～3階	大理石	大理石	大理石	—	—	—
3階ホール	人造石研出しA	—	—	大理石	大理石	人造石研出し一部(北) 大理石
3階～踊場	大理石	大理石	大理石	—	—	—
踊場～4階	人造石研出しB	人造石研出し	大理石	—	—	—
4階ホール	人造石研出しB	—	—	人造石研出しB	人造石研出しB	人造石研出し一部(北) 大理石

注) 人造石研出しA：グレー系 人造石研出しB：ベージュ系

資料7 愛媛県庁に関わる改修工事・地質調査等一覧表

No.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
1	無	S9	経済部長室模様替工事	御手洗仲治	昭和10年 2月22日 昭和10年 3月31日	950	不明		経済部長室
2	無	S11	庁舎前蘇鉄移設整地	徳永	昭和11年 4月11日 昭和11年 4月25日	194	不明		
3	無	S17	階段取除工事	青木利助	昭和17年 8月29日 昭和17年10月31日	4, 000	不明		
4	無	S17	堅樋其他鉄製品取除工事	青木利助	昭和17年10月 6日 昭和17年11月20日	3, 000	不明		
5	無	S17	浄化槽鉄製蓋取除工事	宮内房五郎	昭和17年10月15日 昭和17年11月 5日	90	不明		
6	無	S17	銅、鉄回収代替工事	青木利助	昭和17年11月23日 昭和17年12月27日	1, 200	不明		
7	無	S17	銅、鉄回収代替工事	永井銀次	昭和18年 3月10日 昭和18年 3月25日	600	県庁舎及び道後公園事務所		
8	無	S18	参事官室改造工事	永井銀次	昭和18年 7月10日 昭和18年 8月10日	5, 530	不明		参事官室
9	無	S18	参事官室レスカーテン新調其他工事	石山	昭和18年 7月17日 昭和18年 8月15日	1, 380	不明		参事官室
10	無	S18	庁内電気設備工事	和田	昭和18年 8月 6日 昭和18年 8月28日	1, 481	不明		設備
11	無	S18	防空用暗幕設備工事	石山	昭和18年10月18日 昭和18年12月25日	3, 516	不明		外観？
12	無	S18	防空用暗幕木枠装置工事	永井銀次	昭和18年10月18日 昭和18年12月15日	1, 035	不明		外観？
13	無	S19	県庁舎屋上天窓改造工事	愛媛土建㈱	昭和19年 6月22日 昭和19年 7月15日	1, 150	不明		外観
14	無	S19	県庁塔屋根防水及び第一会議室模様替工事	愛媛土建㈱	昭和19年 6月22日 昭和19年 7月31日	4, 750	不明		外観 第一会議室
15	無	S19	県庁舎防空設備工事	門屋留一郎	昭和19年 7月 6日 昭和19年 8月 5日	15, 000	迷彩塗装ではないか？		外観？
16	無	S19	元水産課参事官室間仕切新設工事	愛媛土建㈱	昭和20年 4月 1日 昭和20年 4月 7日	3, 900	不明		元水産課参事官室
17	無	S22	庁舎内間仕切変更及び修繕工事	松崎金之助	昭和22年 7月 7日 昭和22年 7月20日	38, 550	不明		
18	無	S22	庁舎内間仕切設置及び設備工事	野間工務店	昭和22年10月 昭和22年10月10日	11, 800	不明		

No.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
19	無	S23	県庁舎窓日陰取付工事	越智高太郎	昭和23年 7月21日 昭和23年 8月10日	266,280	不明		外観
20	無	S23	県庁舎樋補修及びベッキ塗り工事	青木利助	昭和24年 1月10日 昭和24年 2月15日	79,520	不明		外観
21	無	S24	県庁舎窓改修工事	越智高三郎	昭和24年12月20日 昭和25年 2月10日	125,000	不明		外観
22	無	S24	県庁舎外部塗装工事	大成建設	昭和24年12月20日 昭和25年 2月17日	2,029,700	戦争中の迷彩模様からの塗装改修と思われる。		外観
23	無	S24	県庁舎リノリューム敷工事	公益商会	昭和25年 3月 9日 昭和25年 3月31日	257,400	不明		
24	無	S24	知事室カーテン新設工事	大成建設	昭和25年 3月14日 昭和25年 3月17日	200,000	不明		知事室
25	無	S24	県庁舎内部塗装工事	大成建設	昭和25年 3月16日 昭和25年 3月17日	34,500	不明		
26	無	S25	県庁舎分館新築工事	清水建設	昭和25年12月15日 昭和26年12月15日	44,450,000	本館とは2,3階を鉄筋コンクリート造 渡り廊下にて連絡するものとする		外観
27	無	S25	県庁舎内部水性ベッキ塗り工事	東亜工業㈱	昭和26年 3月16日 昭和26年 3月31日	388,000	庁舎1,2階ベッキ塗り		1、2階
28	無	S26	県庁舎ロールブラインド取付工事	三越松山支店	昭和26年 8月 4日 昭和26年 8月18日	267,000	本館 窓 36 116ヶ所		
29	無	S26	県庁舎内部水性ベッキ塗り工事	東西企業㈱	昭和26年 8月17日 昭和26年 9月24日	490,000	庁舎内部三、四階塗装工事		3、4階
30	無	S26	県庁分館新築追加工事	清水建設松山出張所	昭和27年 2月 1日 昭和27年 3月31日	581,000	廊下新設ツナギ 二～四階		外観
31	有	S31	県庁舎ストロープ取付工事	丸居板金工業所	昭和31年11月16日 昭和31年11月30日	50,000	暖房用ストロープ及び煙突(新調)の取付工事 各部屋から煙突が外部に出ていたと思われる。	平面図(1～R階)	外観(煙突)各部屋にストロープ設置
32	無	S31	本庁揚水用十馬力電動機修繕工事	高岡工業所	昭和31年11月30日 昭和31年11月30日	29,910	不明		外構
33	有	S32	県庁舎ストロープ据付工事	丹下鶴一郎	昭和32年11月15日 昭和32年11月30日	49,000	県庁各部屋に85台納入	平面図(1～4階)	設備
34	有	S32	県庁舎ストロープ撤去工事	奥平重夫	昭和33年 3月22日 昭和33年 3月31日	49,400	ストロープは清掃後、黒鉛を塗るものとする。	平面図(1～4階)	設備
35	有	S33	県庁内汚水排水及び電話室改造工事	野間工務店㈱	昭和33年 6月17日 昭和33年 8月20日	2,400,000	新築議事堂を含む県庁内敷地屋外排水一切(新 旧浄化槽よりの排水共)及び電話室改造工事 電話室が本館内なのか不明	配置図 電話室のみ平面図仕上げ表	外構 設備 電話室
36	無	S33	愛媛県庁舎知事室冷房設備工事	三菱電機㈱高松営業所	昭和33年 7月16日 昭和33年 7月19日	1,545,000	不明		知事室 設備

N0.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
37	有	S33	本庁上下水道引込工事	東雲水道工事業株式会社	昭和33年 9月24日 昭和33年10月 1日	163, 000	不足する水（特に飲料用）を補うため上水道の引き込みを行う。	本館平面図、別館の平面図（各課は位置図）	外観
38	有	S33	愛媛県庁舎会議室修繕工事	藤原土建	昭和33年10月29日 昭和33年11月 2日	387, 900	床老朽化のため床改修及び塗装改修 会議室は別館4階と思われるが詳細は不明 本館 4階に位置する水産課指定の文字もあり詳細は不明である。	設計内訳書	
39	無	S33	愛媛県庁舎知事室他暖房設備工事	愛媛設備工業㈱	昭和33年11月14日 昭和33年12月 7日	1, 000, 000	不明		知事室 設備
40	無	S34	県庁舎裏増築工事	旭建設㈱	昭和34年 7月11日 昭和34年10月30日	4, 350, 000	不明		外観
41	無	S34	県庁舎増築衛生設備工事	道後水道工業所	昭和34年 7月29日 昭和34年10月30日	330, 000	不明		設備
42	無	S34	県庁舎増築電気設備工事	木村電気㈱	昭和34年 7月29日 昭和34年10月30日	300, 000	不明		設備
43	無	S35	庁舎屋上防水補修工事	正和商事㈱	昭和34年 7月 1日 昭和34年 7月30日	290, 000	不明		屋上 外観？
44	無	S35	県庁舎外柵新築工事	有光宣一	昭和35年12月17日 昭和36年 3月10日	800, 000	庁舎の前面に既設の台石を利用して新設		外構
45	無	S35	庁舎本館一階床張工事	三宅工務店	昭和36年 3月21日 昭和36年 3月31日	630, 000	床フローリング桧張、本館1階		1階
46	無	S36	県庁舎本館暖房工事	道後水道工業所	昭和36年10月24日 昭和36年12月20日	12, 330, 000	本館暖房設備		設備
47	有	S36	県庁舎汽缶室設備工事	愛媛設備工業㈱	昭和36年10月24日 昭和37年 1月 9日	19, 396, 000	ボイラー室（本館の北西に位置）の汽缶室内部設備、ピット内配管、本館へ接続	本館含めた配置図 本館に接続していた分館の平面図	設備
48	有	S36	県庁舎ボイラー室新築電気設備工事	山陽電気工事㈱	昭和36年10月25日 昭和37年 3月31日	3, 300, 000	ボイラー室（本館の北西に位置）の変電、電灯、動力、電話、避雷針、温度、設備工事	特になし	設備
49	無	S36	県庁舎暖房設備追加工事	㈱野間工務店	昭和37年 3月27日 昭和37年 3月31日	425, 000	不明		設備
50	有	S36	県庁舎外装補修工事	鹿島建設㈱四国支店	昭和37年 3月15日 昭和37年 3月31日	8, 009, 000	外装工事、建具補修工事、屋上補修工事（スチールサルージ補修・トップライト補修）	完成写真、工事中の写真 平面図（各階）	外観
51	無	S37	庁舎本館玄関及び階段廻り塗装その他工事	鹿島建設㈱四国支店	昭和37年 6月15日 昭和37年 7月25日	1, 000, 000	玄関及び階段廻り塗装その他		玄関 階段
52	無	S37	本館四階西及び二階東便所配管修繕工事	三枝工業所	昭和37年 7月15日 昭和37年 8月31日	324, 500	旧配管（鉛管）を鋼鉄管にする		便所 設備
53	無	S37	本館玄関屋上防水工事	鹿島建設㈱四国支店	昭和37年 8月21日 昭和37年 9月30日	270, 000	防水工事		外観 ポーチ
54	無	S37	本館玄関扉及び欄間塗装工事	㈱大野塗装店	昭和37年10月27日 昭和37年11月15日	199, 000	扉及び欄間塗装		玄関

No.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
55	無	S38	県庁舎分館理髪室移転工事	三宅工務店	昭和38年11月28日 昭和38年12月20日	400,000	現在の駐輪場の一部を理髪室に改造		1階?
56	無	S38	県庁舎構内自転車置場増築工事	三宅工務店	昭和38年12月10日 昭和38年12月30日	279,000	自転車置き場(A棟、B棟)		1階
57	無	S39	庁舎本館屋上塔屋室天井張替工事	㈱中野工務店	昭和40年 3月10日 昭和40年 3月31日	130,000	約89.55㎡		屋上塔屋?ドーム会議室?
58	無	S40	県庁舎貴賓室その他修繕改良工事	㈱野間工務店	昭和41年 2月23日 昭和41年 3月31日	2,500,000	3階貴賓室、4階会議室、階段		貴賓室 4階会議室 階段
59	無	S40	県庁舎貴賓室改造電気設備工事	山陽電気工事㈱	昭和41年 2月23日 昭和41年 3月31日	480,000	電気設備、受電室改造		貴賓室 設備
60	無	S41	県庁構内倉庫撤去整備工事	㈱野間工務店	昭和41年 7月14日 昭和41年 8月 7日	400,000	石炭庫撤去、ポンプ室撤去		外構
61	無	S41	本館裏排水工事並に自転車置場新設工事	㈱野間工務店	昭和41年 8月14日 昭和41年 9月12日	780,000	自転車置場新設、排水工事		外構
62	無	S41	県庁舎本館裏舗装工事	昭和産業㈱	昭和41年 9月 9日 昭和41年10月28日	750,000	舗装工		外構
63	無	S42	県庁本館屋上防水工事	㈱野間工務店	昭和42年11月19日 昭和43年 2月16日	8,600,000	屋上防水2,150㎡		屋上 外観?
64	無	S43	県庁舎間仕切り改造工事	㈱野間工務店	昭和43年 6月23日 昭和43年 8月21日	510,000	不明		
65	無	S43	県庁舎知事室前修繕その他工事	㈱野間工務店	昭和43年 6月23日 昭和43年 8月21日	290,000	知事室前廊下間仕切り、スクリーン、知事室用トイレ天井修繕		知事室 便所(3F北側西)
66	無	S43	本館前掲示板改造工事	㈱野間工務店	昭和43年12月 1日 昭和43年12月30日	150,000	ステンレス製掲示板W2080×H1080		外構
67	無	S44	県庁本館内部塗装工事	㈱野間工務店	昭和44年 9月30日 昭和45年 1月27日	8,320,000	壁、天井、腰、木部、排水、暖房パイプ		
68	無	S44	県庁本館ダクト電気工事	誠和電業㈱	昭和44年 9月30日 昭和44年11月28日	2,700,000	電灯設備工事		設備
69	無	S44	県庁本館エレベーター設備工事	三菱電機㈱	昭和44年 9月30日 昭和45年 3月15日	7,900,000	エレベーター設備工事、解体撤去及び整備		エレベーター
70	無	S46	県庁舎本館空調和設備工事	株式会社 大西工業	昭和46年 8月 7日 昭和46年 9月15日	4,250,000	不明		設備
71	無	S46	県庁舎本館空調和設備に伴う電気設備	新玉電気工業所	昭和46年 8月 7日 昭和46年 9月15日	540,000	不明		設備
72	無	S46	庁内知事室、副知事室その他模様替え工事	株式会社 野間工務店	昭和46年 8月28日 昭和46年 9月16日	4,530,000	不明		知事室 副知事室
73	有	S46	県庁舎機械室増設その他冷暖房設備工事	重松兄弟設備株式会社	昭和46年11月21日 昭和47年 3月31日	45,200,000	県庁舎の北東に位置する機械室の工事 一部配管が本館の既設接続箇所と接続 冷凍機560.05RT.冷却塔500RT.熱交換器 1800000kcal/?等の据付および幹線配管工事一式	配置図	設備

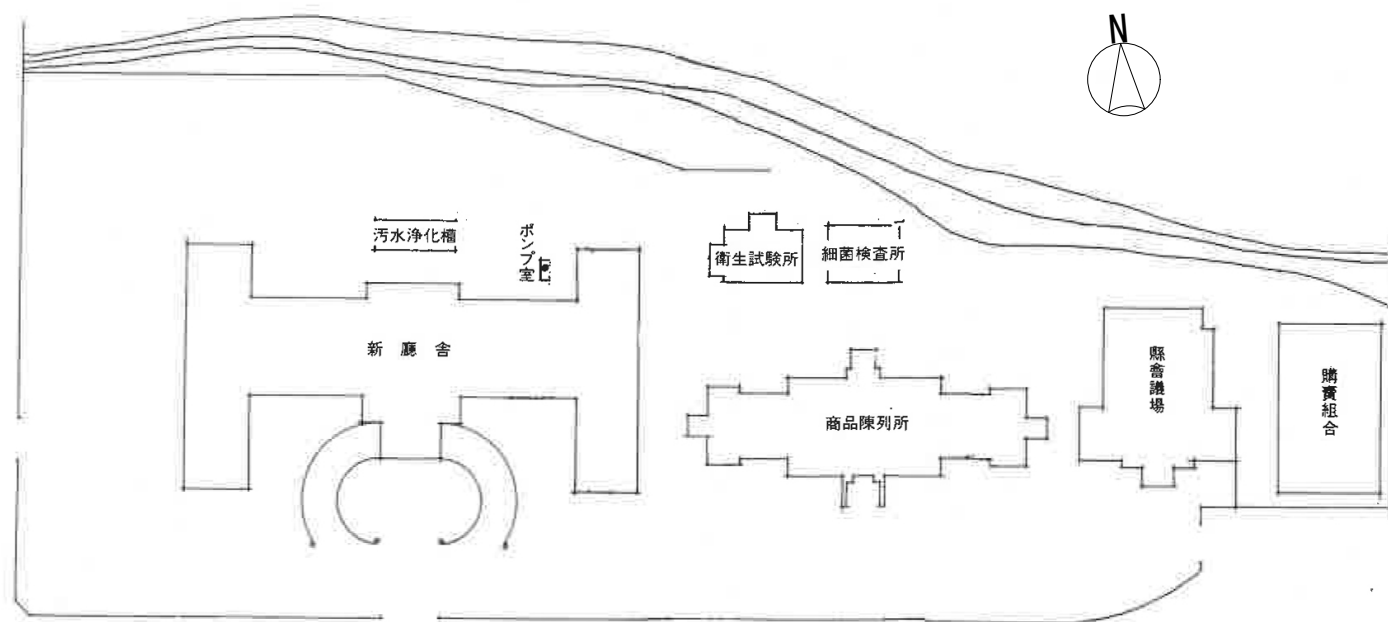
No.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
74	有	S46	県庁舎本館その他冷暖房設備工事	四国電気工事株式会社愛媛支店	昭和46年12月 8日 昭和47年 3月31日	52, 040, 000	本館のファンコンユニット、議事堂の薄形エアコン、附属舎のパッケージ形エアコンの据付配管工事	完成写真（各執務室、廊下、玄関）一部外観の写真、本館の配置図、平面図（1234R）	貴賓室 知事会議室 正庁 ドーム会議室玄関 廊下各執務室 廊下 玄関 設備
75	有	S46	県庁舎冷暖房に伴う電気設備工事	四国電気工事株式会社愛媛支店	昭和46年12月 8日 昭和47年 3月31日	48, 900, 000	冷暖房に伴う電源配線、制御および監視設備、および受電設備工事一式		設備
76	有	S46	県庁舎機械室増改築その他工事	株式会社 野間 工務店	昭和46年11月21日 昭和47年 3月31日	24, 000, 000	RC構造、2階建工事、第二別館、本館、議会棟改修工事 本館各執務室窓際カウンター切断 補修 総務課 県民談話室 天井クロス改修	本館を含めた配置図 一部外観写真 各階平面図（1234）	1階 総務課 2階 給与課 出納事務 局 県民談話室 婦人児童課 3階 審判クラブ 税務課 地方課 財政課別室 4階 農政課 農業改良課ならび別室
77	有	S 47	本館電算室改造工事	二名組	昭和47年 9月15日 昭和47年11月23日	12, 380, 000	本館RC造4階建の1階の一部を改造（図示各室に改造）	配置図 電算室平面図 工事前写真 施工写真	電算室(1F東側南)
78	有	S 47	本館電算室改造電気設備工事 本館電算室改造空調設備工事	四国電気工業株式会社愛媛支店	昭和47年 9月17日 昭和47年11月23日	8, 800, 000 11, 200, 000	本館電算室改造に伴う電気設備工事、新設一式 本館電算室改造に伴う空調設備工事、新設一式	配置図 電算室平面図 工事写真	電算室(1F東側南) 設備
	有	S 47	(上にまとめ)本館電算室改造空調設備工事	四国電気工事株式会社愛媛支店	昭和47年 9月17日 昭和47年11月23日	11, 200, 000	電算室空調工事	配置図 電算室平面図 工事写真	電算室(1F東側南) 設備
79	有	S 47	知事室改修工事	株式会社 野間 工務店	昭和47年10月17日 昭和47年10月28日	1, 300, 000	知事室の改造(トイレ設置)	完成写真、設計内訳書	知事室 外観 (設備配管)
80	無	S 48	県庁舎本館外窓一部改修工事	二名組	昭和49年 2月26日 昭和49年 3月27日	5, 000, 000	不明		外観
81	有	S 49	県庁舎本館番町クラブ模様替工事	有限会社 中野 工務店	昭和49年12月11日 昭和49年12月31日	495, 000	番町クラブ模様替工事一式 建具に換気扇取付 一部床OIC貼り	内観写真 部屋平面図	外観 番町クラブ(3 F南側西)
82	有	S 49	県庁舎玄関内壁修繕工事	鹿島建設株式会社	昭和50年 3月17日 昭和50年 3月31日	380, 000	庁舎玄関内部内壁テラゾー板が老朽化し、一部剥落のため貼り替え	完成写真	玄関
83	無	S 50	愛媛県庁貴賓室冷暖房工事	四国電気工事株式会社	昭和50年 6月13日 昭和50年 7月19日	2, 870, 000	不明		貴賓室 設備
84	無	S 50	本庁舎ポール時計設備工事	株式会社いよてつそごう	昭和50年11月27日 昭和50年12月19日	730, 000	不明		ホール
85	有	S 52	県庁本館窓建具取替	株式会社 野間 工務店	昭和52年 5月20日 昭和52年 8月27日	69, 000, 000	窓スチールサッシをアルミサッシに取替	各階平面図(1～R)、建具表	外観
86	無	S 52	県庁本館2階便所改造縦樋樋取替え及びその他工事	株式会社 野間 工務店	昭和52年12月 1日 昭和53年 1月29日	4, 750, 000	不明		外観 便所 (2 階)
87	無	S 52	本館玄関ポーチ改修	株式会社 大林 組	昭和52年12月 1日 昭和53年 1月14日	3, 950, 000	不明		外観 ポーチ
88	有	S 52	県庁電算室空調設備工事	四国電気工業株式会社	昭和50年 6月30日 昭和52年 8月13日	3, 500, 000	パッケージ型エアコン・クーリングタワー等設置	完成写真、部分詳細図	電算室(1 階東側南) 設備

No.	原議 有無	年度	工事名	請負人	工期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場所
89	無	S 53	本庁舎電気設備工事	三和電設株式会社	昭和52年 9月13日 昭和53年 9月27日	1,250,000	不明		設備
90	有	S 54	県庁第一別館渡り廊下新築及びその他工事	株式会社 大林組	昭和55年 1月25日 昭和55年 5月27日	81,500,000	渡り廊下、RC造、3F、延87.44㎡、防災鉄塔H=12m、在来渡り廊下改造、第二別館改造（一部網入りガラスに取替）等 本館東南の旧渡り廊下接続部分を、2、3、4階のドアを取り除き周りの意匠に合わせて壁、窓新設	配置図、改造部分の東立面図、矩計図（本館東南の旧渡り廊下接続部分を、2、3、4階の庇、ドアを取り除き周りの意匠に合わせて壁、窓新設）	外観 2、3、4階旧渡り廊下接続部分（東側南）内部
91	有	S 54	県庁本館及び第2別館空調設備改修工事	重松兄弟設備株式会社	昭和55年 3月28日 昭和55年 6月20日	36,000,000	本館及び第2別館の空調熱源変更による空調設備改修工事 本館1階空調機械室の改修	機械室 平面図	設備
92	有	S 55	庁舎本館模様替工事	有限会社 麓工務店	昭和55年 8月10日 昭和55年 9月 2日	6,300,000	本館（統計調査課、地方課、会議室、自転車置き場、用務員の床、壁等模様替工事等	平面図(1階4階)	統計調査課(4F南側東) 地方課(4F西側南) 会議室(4F北側西側) 自転車置き場(1F南側中) 倉庫→用務員(1F北側中)
93	有	S 55	議事堂新築工事	株式会社 野間工務店	昭和55年10月 4日 昭和57年 1月20日	1,450,000,000	渡り廊下? 鉄骨鉄筋コンクリート造、地下1階、地上4階一部5階、延床面積8179.66㎡ 本館西側の旧議事堂への渡り廊下の解体、解体後の補修、現議事堂への渡り廊下の新設	配置図 改造部分平面図、建具表 本館西側の図面は無し 完成写真、施工前写真	外観 西側北新接続部分 西側旧接続部分の補修 3F 4F 西側北の通路新設
94	有	S 55	県庁舎本館3階その他一部模様替工事	株式会社 野間工務店	昭和55年10月 7日 昭和55年11月26日	26,703,000	県庁舎本館、出納長室、企業長室、軽食堂、便所、内科診療室、歯科診療室、模様替工事	1階3階平面図	出納長室(3F西側北) 企業長室(3F北側西) 軽食堂(1F北側東) 便所(1F北側東) 内科診療室、歯科診療室、(1F西側南)
95	有	S 55	県庁舎電算室模様替工事	株式会社 野間工務店	昭和55年12月 6日 昭和55年12月25日	6,500,000	本館一階旧電話交換室をパンチャーマー室に模様替え	改修部分平面図 仕上表	電算室(1F東側南)
96	有	S 57	本庁舎改修工事	二名組	昭和58年 3月 8日 昭和58年 3月25日	7,100,000	本館便所5ヶ所(2F 3F 4F)、改修工事及び県民談話室内装改修、他 3F 西側北便所については、S 57. 2に改修済みとの記載	平面図(1～4F)各階配置部分詳細図	便所(2F 3F 4F 5ヶ所) 県民談話室(2F 北側東)
97	無	S 58	県庁本館給水設備改修工事	瀬戸内工業株式会社	昭和58年12月29日 昭和59年 3月21日	10,000,000	不明		設備
98	有	S 61	県庁舎改修工事	株式会社 野間工務店	昭和62年 3月24日 昭和62年 3月29日	12,575,000	2F(出納局長室→出納室別室)3F(広報文書課)その他第一別館等改修工事	部分詳細図、3階平面図	2F(出納室別室) 3F(広報文書課)
99	有	S 62	知事会議室改修工事	株式会社 野間工務店	昭和62年 5月22日 昭和62年 6月10日	7,790,000	・間仕切り取り除き・木造床張替(カーペット共)・内部塗装・カーテン・電気工事	部分詳細図、展開図	知事会議室

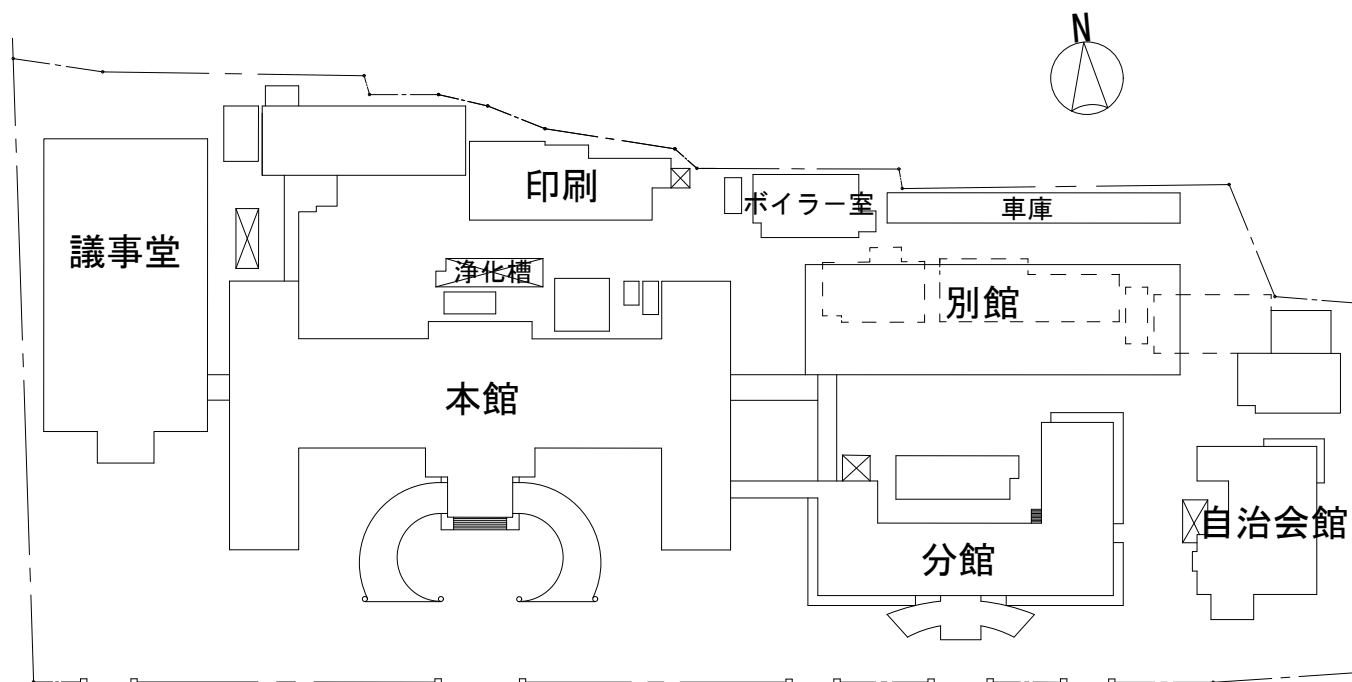
N0.	原議 有無	年度	工 事 名	請 負 人	工 期	請負金額(円)	工事概要	付属資料	場 所
100	有	S62	県庁本館内壁等修繕工事	大野建設株式会社	昭和62年 9月 8日 昭和63年 3月 5日	42,150,000	壁、天井等の内壁全般（床除く）の修繕 一部外壁改修	完成写真、平面図（1 ～4階各課配置あり）	外観、玄関ホール、中央 階段、3階廊下、4階廊 下、知事室 2 F（調整振興部長室、 出納事務局・会計課） 3 F（公営企業管理者 室、総務部長室、知事公 室） 4 F（）
101	有	S62	県庁舎エレベーター運転制御改善工事	三菱電機株式会社	昭和62年 8月25日 昭和63年11月 2日	35,800,000	本館EV運転制御改善 耐震対策、自動着床装置、地震時管理運転、火 災時管理運転	E V詳細図	E V
102	有	S63	県庁舎防災設備工事	四国電気工事株 式会社	昭和63年12月28日 平成元年 3月25日	41,650,000	本館 自動火災報知設備 誘導灯設備		
103	有	H元	県庁本館便所改修工事	大野建設株式会 社	平成元年 7月 5日 平成元年 8月13日	5,253,000	本館便所（2階西、3階東、4階東、4階 西）、間仕切り壁新設等改修工事（女子トイレ 新設）	完成写真、便所詳細 図、 平面図上の位置図	便所（2階西、3階東、 4階東、4階西）
104	有	H元	県庁本館ドーム夜間照明設備工事	三信電設株式会 社	平成元年 9月28日 平成元年10月25日	3,540,000	電気室から幹線引き込み 投光器設置工事	完成写真、平面図（R 階）	外観
105	無	H2	県庁電子計算機室改修電気設備工事	三徳電機株式会 社	平成2年6月26日 平成2年8月31日	2,266,000	空調設備工事に伴う電源工事一式		電子計算室 設備
106	無	H2	県庁電子計算機室改修空調設備工事	愛媛冷暖房株式 会社	平成 2年 6月26日 平成 2年 8月31日	27,604,000	空調設備一式		電子計算室 設備
107	有	H3	県庁本館空調設備改修工事	第一重工業株式 会社	平成 4年 2月26日 平成 4年 6月30日	274,119,000	空調機器設備、配管設備、計装設備		設備
108	有	H3	県庁本館外空調改修建築工事	株式会社野間工 務店	平成 4年 2月26日 平成 4年 6月30日	108,975,000	防水改修（鳩小屋設置）、木、金属、木製建具、 塗装、内装、家具	完成写真、工事中的写 真、 平面図、内部仕上げ 表	外観、貴賓室、知事会議 室、正庁、第2応接室、 等
109	有	H3	県庁本館外空調改修電気設備工事	愛光設備工業株 式会社	平成 4年 2月26日 平成 4年 6月30日	65,995,000	受変電設備 幹線設備		設備
110	有	H4	県庁本館外壁改修工事	株式会社 大林 組	平成 4年10月 3日 平成 5年 9月10日	340,930,000	外壁人造石洗い出し一式 外壁織型、四角飾り、窓回り洗い出し一式 石張り一部張替他	完成写真、立面図、詳 細図	外観
111	有	H9	本庁舎昇降機改修工事	三菱電機株式会 社	平成 9年 8月21日 平成10年 2月16日	21,735,000	エレベーターを視察随時者仕様へ改修 （本館E V 9号機の改修も含む）	平面図 1 F・詳細図	E V
112	有	H11	本庁NOC施設設置建築工事	有限会社麓建設	平成12年3月29日 平成12年9月25日	18,879,000	1階へのNOC（ネットワークパレージンセンター）施設設置に 伴う改修工事 工事写真より既存1F土間confは無筋と思われる。 （ t =150～200程度）	完成写真、工事写真、 配置図、平面図、仕上 表	1Fせん孔室（西ウイング 北）

資料 8

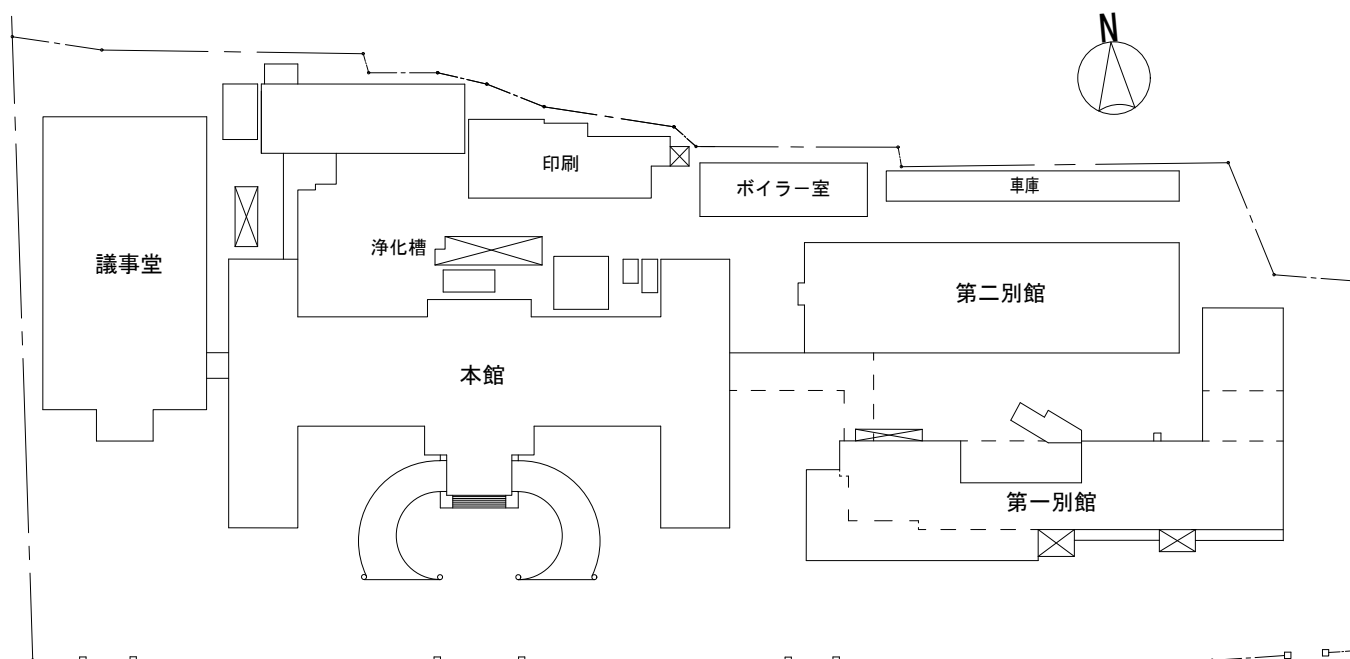
愛媛県本庁舎配置の変遷



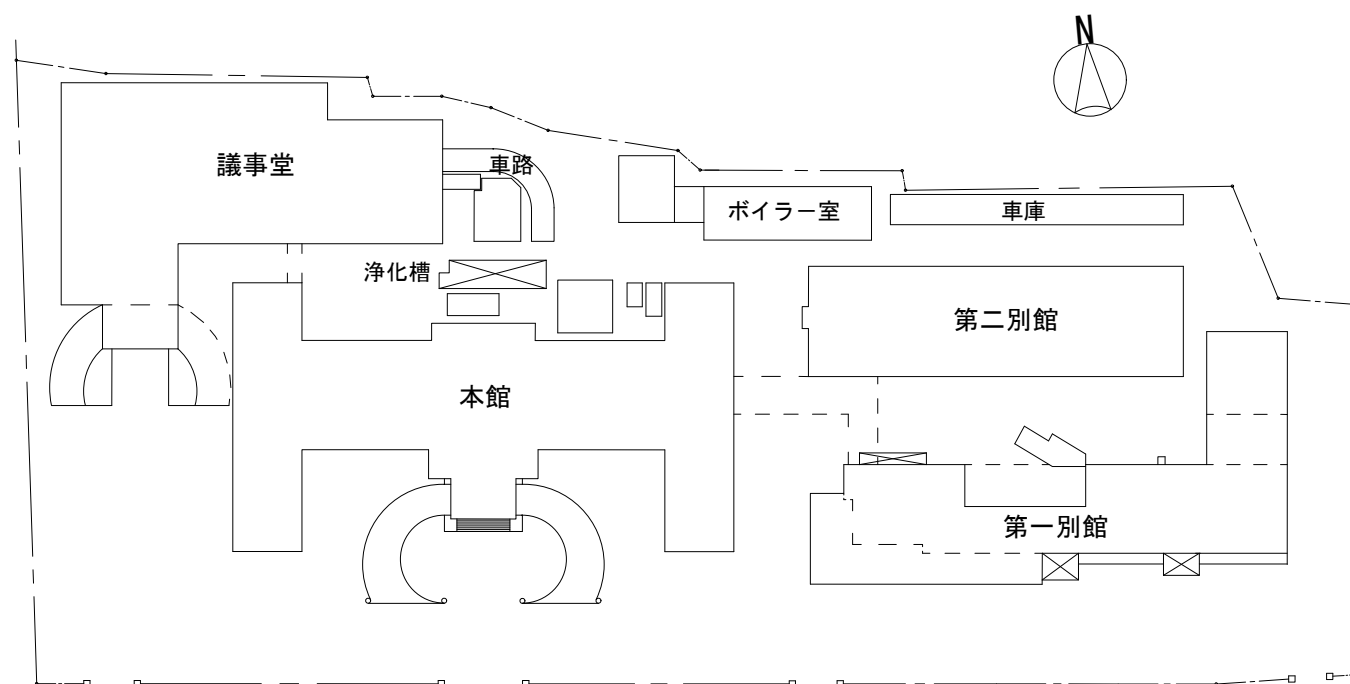
本館新築時（S4年）配置図 S=1/1200



第二別館新築時（S26年）配置図 S=1/1200



第一別館新築時（S55年）配置図 S=1/1200



議事堂新築時（S57年）配置図 S=1/1200

改-1 外観 (その1)

出典(設計時仕上表)

	保存資料	懸懸舎建築工事(設計書類契約書共)三級ノ内式 土木課 常務係 自 昭和二年度 至 昭和四年度	改修履歴 (その1)
	資料名称	愛媛懸懸舎新築工事材料内訳明細書 ※表紙に「図面へ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず	
	工事名称	愛媛懸懸舎新築工事	
	図面等名称	愛媛懸懸舎新築工事材料内訳明細書	
	年代	昭和2年 月	
	部屋名	外観	

その2へつづく

改修工事番号	11	12	13	14	15	19
改修工事名称	防空用暗幕設備工事	防空用暗幕木枠設置工事	県庁舎屋上天窓改造工事	県庁塔屋根防水及び第一会議室模様替工事	県庁舎防空設備工事	県庁舎窓日陰取付工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	無	無	無	無
改修工事年度	S18	S18	S19	S19	S19	S23
工期	昭和18年10月18日～ 昭和18年12月25日	昭和18年10月18日～ 昭和18年12月15日	昭和19年 6月22日～ 昭和19年 7月15日	昭和19年 6月22日～ 昭和19年 7月31日	昭和19年 7月 6日～ 昭和19年 8月 5日	昭和23年 7月21日～ 昭和23年 8月10日
請負人	石山	永井銀次	愛媛土建株式会社	愛媛土建株式会社	門屋留一郎	越智高太郎
請負金額(円)	¥3,516	¥1,035	¥1,150	¥4,750	¥15,000	¥266,280
工事概要	不明	不明	不明	不明	迷彩塗装ではないか？	不明
参考図面	なし	なし	なし	なし	なし	なし
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)
床						
巾木						
腰						
壁						
天井・梁						
木材面仕上げ						
鉄材面仕上げ						
天井線型彫刻 または その他仕上げ						
照明						
建具						
その他				塔屋7面上防水		

設計時仕上表

	部位	仕様	特記なき長さ単位は「寸」
1	床		
2	巾木		
3	腰(1階部分)	本縣産(大島石)花崗石張り出し仕上	
4	腰(2～4階部分)	人造縹石塗り洗い出し仕上げ	
5	天井・梁		
6	木材面仕上げ		
7	鉄材面仕上げ		
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ		
9	照明		
10	建具		
11	その他		

改修履歴
(その2)

改修工事番号	20	21	22	30	31	34
改修工事名称	県庁舎種補修及びびべ ンキ塗工事	県庁舎窓改修工事	県庁舎外部塗装工事	県庁分館新築追加工事	県庁舎ストーブ取付工 事	愛媛県議会議事堂並び に公営事業局庁舎新築 本体建築工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	無	無	有	無
改修工事 年度	S23	S24	S24	S26	S31	S32
工期	昭和24年 1月10日～ 昭和24年 2月15日	昭和24年12月20日～ 昭和25年 2月10日	昭和24年12月20日～ 昭和25年 2月17日	昭和27年 2月 1日～ 昭和27年 3月31日	昭和31年11月16日～ 昭和31年11月30日	昭和32年10月3日～ 昭和33年3月31日
請負人	青木利助	越智高三部	大成建設	清水建設松山出張所	丸居板金工業所	野間工務店幹
請負金額(円)	¥79,520	¥125,000	¥2,029,700	¥581,000	¥50,000	¥87,000,000
工事概要	不明	不明	戦争中の迷彩模様のから 塗装改修と思われる。	廊下新設ツナギ ニ～四階 この工事にて、本館東面南側 と接続が行われた。	暖房用ストーブ及び煙突 (新調)の取付工事 各部屋から煙突が外部に 出ていたと思われる。	本館とは2,3階渡り廊下にて 接続
参考図面	なし	なし	なし	なし	平面図(1～R階)	なし
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容(詳細不明)
床						
巾木						
腰						
壁						
天井・梁						
木材面仕上げ						
鉄材面仕上げ						
天井線型彫刻 または その他仕上げ						
照明						
建具					各部屋の窓から煙突	
その他						西側階段廊下場と接続

その3へつづく

竣工時仕上表

仕様		特記なき長さ単位は「寸」
1	床	
2	巾木	
3	腰(1階部分)	本縣産(大島石)花崗石張り出し仕上
4	腰(2～4階部 分)	人造縹石塗り洗い出し仕上げ
5	天井・梁	
6	木材面仕上げ	
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	
9	照明	
10	建具	
11	その他	

改-1 外観（その3）

改修履歴
（その3）

その4へつづく

改修工事番号	37	40	43	44	49	52
改修工事名称	本庁上下水道引込工事	県庁舎裏増築工事	庁舎屋上防水補修工事	県庁舎外柵新築工事	県庁舎外装補修工事	本館玄関屋上防水工事
資料名称 （原義の有無）	有	無	無	無	有	無
改修工事 年度	S33	S34	S35	S35	S36	S37
工期	昭和33年 9月24日～ 昭和33年10月 1日	昭和34年 7月11日～ 昭和34年10月30日	昭和34年 7月 1日～ 昭和34年 7月30日	昭和35年12月17日～ 昭和36年 3月10日	昭和37年 3月15日～ 昭和37年 3月31日	昭和37年 8月21日～ 昭和37年 9月30日
請負人	東雲水道工事株式会社	旭建設㈱	正和商事㈱	有光宣一	鹿島建設㈱四国支店	鹿島建設㈱四国支店
請負金額(円)	¥163,000	¥4,350,000	¥290,000	¥800,000	¥8,009,000	¥270,000
工事概要	不足する水（特に飲料用）を 補うため上水道の引き込みを 行う。東側4階から引き込み	不明	不明	庁舎の前面に既設の石台 を利用して新設	外装工事、建具補修工 事、屋上補修工事 （スチールサッシ補修・トップ ライト補修）	防水工事
参考図面	本館平面図、別館の平面図 （各側配置図）	なし	なし	なし	完成写真、工事中の写真 平面図（各階）	なし
部位	改修内容	改修内容（詳細不明）	改修内容（詳細不明）	改修内容（詳細不明）	改修内容	改修内容（詳細不明）
床						
巾木						
腰					腰御影石 酸洗い 1763 ㎡	
壁					白セメント1回吹付 指定色エマルション2回 吹付 養生施工 5812㎡	
天井・梁						
木材面仕上げ						
鉄材面仕上げ						
天井線型彫刻 または その他仕上げ						
照明						
建具					ハンドル取替を、312か所 補修補修（スプリング取替 を、412か所）不足 260 か所、木口DIY 170か所、 サッシ、エポキシ樹脂ペキ 塗り 3760㎡ 本館出入 扉	
その他	東側4階から引込				屋上出入り口 木建をス チールに改修 屋上トップ ライトの改修	

竣工時仕上表		特記なき長さ単位は「寸」	
	部位	仕様	
1	床		
2	巾木		
3	腰(1階部分)	本縣産(大島石)花崗石張り露出し仕上	
4	壁(2～4階部分)	人造縹石塗り洗い出し仕上げ	
5	天井・梁		
6	木材面仕上げ		
7	鉄材面仕上げ		
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ		
9	照明		
10	建具		
11	その他		

改修履歴
(その4)

改修工事番号	57	63	80	85	86	87
改修工事名称	県庁舎別館新築工事	県庁本館屋上防水工事	県庁舎本館外窓一部改修工事	県庁本館窓建具取替	県庁本館2階便所改造縦樋取替及びその他の工事	本館玄関ポーチ改修
資料名称 (原義の有無)	有	無	無	有	無	無
改修工事 年度	S39	S42	S48	S52	S52	S52
工期	昭和39年12月26日～ 昭和41年2月26日	昭和42年11月19日～ 昭和43年2月16日	昭和49年2月26日～ 昭和49年3月27日	昭和52年5月20日～ 昭和52年8月27日	昭和52年12月1日～ 昭和53年1月29日	昭和52年12月1日～ 昭和53年1月14日
請負人	柳野間工務店	柳野間工務店	二名組	株式会社 野間工務店	株式会社 野間工務店	株式会社 大林組
請負金額(円)	¥217,224,300	¥8,600,000	¥5,000,000	¥69,000,000	¥4,750,000	¥3,950,000
工事概要	現在の第二別館新築工事。現在の渡り廊下RC造3F・5F・6F・44㎡。本館東面接続部分を階段踊り場	屋上防水2,150㎡	不明	窓スチールサッシをアルミサッシに取替	不明	不明
参考図面	配膳図、工事中写真、完成写真、渡り廊下の立面図	なし	なし	各階平面図(1～R)、建具表	なし	なし
部位	改修内容	改修内容 (詳細不明)	改修内容 (詳細不明)	改修内容	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)
床						
巾木						
腰	写真から接続部分の東面階段踊り場の腰壁撤去と思われるが詳細不明					
壁						
天井・梁						
木材面仕上げ						
鉄材面仕上げ						
天井線型彫刻 または その他仕上げ						
照明						
建具	写真から接続部分の東面階段踊り場の建具撤去と思われるが詳細不明			スチールサッシ撤去 アルミサッシ新設		
その他						

竣工時仕上表

特記なき長さ単位は「寸」

	部位	仕様
1	床	
2	巾木	
3	腰(1階部分)	本縣産(大島石)花崗石張り磨出し仕上
4	壁(2～4階部分)	人造凝石塗り焼い出し仕上げ
5	天井・梁	
6	木材面仕上げ	
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	
9	照明	
10	建具	
11	その他	

外観（その5）

改修履歴
（その5）

その6へつづく

改修工事番号	90	93	100	104	108
改修工事名称	県庁第一別館渡り廊下新築及びその他 工事	議事堂新築工事	県庁本館内壁等修繕 工事	県庁本館ドーム夜間 照明設備工事	県庁本館外空調改修建築 工事
資料名称 （原義の有無）	有	有	有	有	有
改修工事 年度	S54	S55	S62	H元	H3
工期	昭和55年 1月25日～ 昭和55年 5月27日	昭和55年10月 4日～ 昭和57年 1月20日	昭和62年 9月 8日～ 昭和63年 3月 5日	平成元年 9月28日～ 平成元年10月25日	平成 4年 2月26日～ 平成 4年 6月30日
請負人	株式会社 大林組	株式会社 野間工務店	大野建設株式会社	三信電設株式会社	株式会社野間工務店
請負金額(円)	¥81,500,000	¥1,450,000,000	¥42,150,000	¥3,540,000	¥108,975,000
工事概要	渡り廊下、RC造、3F、延87.44㎡、防臭銅塔 中=12m、在来渡り廊下改造、第二別館改造（一 部鋼入りガラスに取替）等 本館東側の旧渡り廊下後続部分を、2、3、4階の ドアを取り除き周りの意匠に合わせて壁、窓新 設	西側渡り廊下後続、鉄骨鉄筋コンクリート 造、地下1階、地上4階～5階、延床面積 8179.66㎡ 本館西側の旧議事堂への渡り廊下の解 体、解体後の補修、現議事堂への渡り廊 下の新設	壁、天井等の内壁全般 （床除く）の修繕 一部外壁改修	電気室から幹線引き込み 投光器設置工事	防水改修（湯入屋設置）、木、金 属、木製建具、塗装、内装、家 具
参考図面	配置図、改造部分の東立面図、鉅計図（本館 東側の旧渡り廊下後続部分を、2、3、4階の庇、 ドアを取り除き周りの意匠に合わせて壁、窓新 設）	配置図、改造部分平面図、建具表 本館西側の図面は無し 完成写真、施工前写真	完成写真、平面図（1～4 階各調配置あり）	完成写真、平面図（R階）	完成写真、工事中の写真 、平面図、内部仕上げ表
部位	改修内容	改修内容（詳細不明）	改修内容（詳細不明）	改修内容	改修内容（詳細不明）
床					
巾木					
腰					
壁	ホイルイン・鉄筋入りラス 下地モルタル塗 人造大理石洗い出し仕上げ	西側北渡り廊下新設箇所の撤去 と思われる。詳細不明			
天井・梁			ドーム防水補修		
木材面仕上げ					
鉄材面仕上げ					
天井線型彫刻 または その他仕上げ	石積み（在来模倣、大島石、江戸用 仕上げ、コブだし）				
照明				ドーム格闘部分のライト アップのための投光器設 置	
建具	アルミサッシ6か所 ガラストーマーフロート5mm	旧通路部分にアルミサッシ			
その他	4階在来庇 撤去 2、3、4階 在来ドア 去			本館北東に位置する電気 室から幹線引き込み	屋上防水改修1581㎡ 焼小瓦設置

特記なき長さ単位は「寸」

部位	仕様
床	
巾木	
腰(1階部分)	本縣産（大島石）花崗石張り磨出し仕上
壁(2～4階部分)	人造凝石塗り洗い出し仕上げ
天井・梁	
木材面仕上げ	
鉄材面仕上げ	
天井線型彫刻 または その他仕上げ	
照明	
建具	
その他	

改修履歴
(その6)

改修工事番号	110	120
改修工事名称	県庁本館外壁改修工事	県庁本館ポーチ外壁等改修工事
資料名称 (原義の有無)	有	有
改修工事 年度	H4	H16
工期	平成 4年10月 3日～ 平成 5年 9月10日	平成17年 1月21日～ 平成17年 3月28日
請負人	株式会社 大林組	株式会社大林組 四国支店
請負金額(円)	¥340,930,000	¥4,095,000
工事概要	外壁人造石洗い出し一式 外壁編型、四角飾切、窓回り洗い出し一式 石張り一部張替他	県庁本館ポーチ外壁および屋上防水改修
参考図面	完成写真、立面図、詳細図	完成写真、施工前写真、配置図、立面図、断面図、 詳細図
部位		外観(玄関ポーチ)
床		
巾木		
腰	1F 御影石貼り面は高圧水洗浄(1339㎡)の上一部劣化部分(41.5㎡)の花崗岩の張り 替え、目地の打ち替え(2849m)	
壁	2～4F 人造石面は浮いている箇所は撤去の上復旧(健全な面1948㎡(54%)、浮き かかっている面664㎡(18.4%)浮いている面996㎡(27.6%))、そのうえでJピンネット工 法により固定。そのうえに現状と同じ人造石洗い出し仕上げ(15mm)を行う。	目地シーール撤去、カッターにて目地切 目地シーール打ち(MS2) エフロレッセンス撤去・石面美装
天井・梁	ドーム塗装(銅版補修、高圧水洗、防汚防食塗料塗)	
木材面仕上げ		
鉄材面仕上げ		
天井線型彫刻 または その他仕上げ	くり型改修207㎡ 四角飾り改修67.5㎡ 形を取り外し、浮き下地モルタル撤去のうえモルタル塗のうえ、Jピンネットによる 固定、製作くり型の取り付け	窓石カッター切り、ステンレス水切り設置 窓石式端部水保護網張布
照明		
建具	窓廻り949㎡サッシュ廻りシーリング	
その他	屋上搭屋部分272㎡塩ビシート防水 ルーフトレイン取替え 網取付	屋上防水塩ビシート防水歩行用

特記なき長さ単位は「寸」

部位	仕様
床	
巾木	
腰(1階部分)	本縣産(大島石)花崗石張り磨出し仕上
腰(2～4階部 分)	人造縹石塗り洗い出し仕上げ
天井・梁	
木材面仕上げ	
鉄材面仕上げ	
天井線型彫刻 または その他仕上げ	
照明	
建具	
その他	

改-2 車寄

出典(設計時仕上表)

	保存資料	懸聴舎建築工事(設計書類契約書共)三級ノ内式 土木課登録係 自 昭和二年度 至 昭和四年度
	資料名称	愛媛懸聴舎新築工事材料内訳明細書 ※表紙に「図面ハ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
	工事名称	愛媛懸聴舎新築工事
	図面等名称	愛媛懸聴舎新築工事材料内訳明細書
	年代	昭和2年 月
	部屋名	車寄

設計時仕上表

	部位	仕様	特記なき長さ単位は「寸」
1	床	(車寄上リ口) 階段石・蹴放石・大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ (床) 四盤石 (玄関昇リ) 階段石・蹴放石 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ	
2	巾木	(車寄内部) 巾木石繰形付キ 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ	
3	腰		
4	壁	(玄関見付) 柱・壁張石 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ (玄関両脇) 壁張石 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ 窓台石・窓額縁 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ (車寄内部壁) 張石 目地入仕上ゲ (車寄外部) 張石 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ	
5	天井・梁	白漆喰塗りペンキ仕上ゲ	
6	木材面仕上げ		
7	鉄材面仕上げ		
8	天井繰型彫刻 または その他仕上げ	石膏模様張付ケ ペンキ塗り仕上ゲ 蛇腹モルデイング付キ 石膏彫刻張り ペンキ塗り仕上ゲ 中心飾 石膏薄肉彫刻付キ ペンキ塗り仕上ゲ	
9	照明		
10	建具		
11	その他	(スロープ) 丸柱・縁石 大島産花崗石三度小叩き仕上ゲ (馬車廻シ) 丸柱 大島産花崗石三度小叩き仕上ゲ 手摺石 (車寄上リ口) 電燈台 大島産花崗石五度小叩き仕上ゲ	

改修履歴

改修工事番号	52	87	120
改修工事名称	本館玄関屋上防水工事	本館玄関ポーチ改修	県庁本館ポーチ外壁等改修工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	有
改修工事 年度	S37	S52	H16
工期	昭和37年 8月21日～ 昭和37年 9月30日	昭和52年12月 1日～ 昭和53年 1月14日	平成17年 1月21日～ 平成17年 3月28日
請負人	鹿島建設㈱四国支店	株式会社 大林組	株式会社大林組 四国支店
請負金額(円)	¥270,000	¥3,950,000	¥4,095,000
工事概要	防水工事	不明	県庁本館ポーチ外壁および屋上防水改修
参考図面	なし	なし	完成写真、施工前写真、配置図、立面図、断面図、詳細図
			外観(玄関ポーチ)
	部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)
床			
巾木			
腰			
壁			目地シーール撤去、カッターにて目地切 目地シーール打ち(MS2) エフロレックス撤去・右面美装
天井・梁			
木材面仕上げ			
鉄材面仕上げ			
天井繰型彫刻 または その他仕上げ			笠石カッター切り、ステンレス水切り設置 笠石天端撥水保護剤塗布
照明			
建具			
その他			屋上防水塩ビシート防水歩行用

改-3 玄関

出典(設計時仕上表)

蛸懸舎建築工事(設計書類契約書共)三線ノ内式 土木課営繕係 自 昭和二年度 至 昭和四年度	
資料名称	蛸懸懸舎新築工事材料内訳明細書 ※表紙に「図面ハ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
工事名称	蛸懸懸舎新築工事
図面等名称	蛸懸懸舎新築工事材料内訳明細書
年代	昭和2年 月 年間
部屋名	

改修履歴

改修工事番号	50	53	67	74	82	100	119
改修工事名称	庁舎本館玄関及び階段廻り塗装その他工事	本館玄関扉及び欄間塗装工事	県庁本館内部塗装工事	県庁舎本館その他冷暖房設備工事	県庁舎玄関内壁修繕工事	県庁本館内壁等修繕工事	県庁舎(本館、第1・第2別館)内部改修工事
資料名称	無	無	無	有	有	有	有
改修工事年度	S37	S37	S44	S46	S49	S62	H13
工期	昭和37年6月15日～昭和37年7月25日	昭和37年10月27日～昭和37年11月15日	昭和44年9月30日～昭和45年1月27日	昭和46年12月8日～昭和47年3月31日	昭和50年3月17日～昭和50年3月31日	昭和62年9月8日～昭和63年3月5日	平成13年5月30日～平成13年9月6日
請負人	鹿島建設㈱四国支店	南大野塗装店	機野間工務店	四国電気工事業株式会社愛媛支店	鹿島建設株式会社	大野建設株式会社	大野建設株式会社
請負金額(円)	¥1,000,000	¥199,000	¥8,320,000	¥52,040,000	¥380,000	¥42,150,000	¥54,576,000
工事概要	玄関及び階段廻り塗装その他	扉及び欄間塗装	壁、天井、腰、木部、排水、電房パイプ	本館のファンコイルユニット、換気機の薄形エアコン、附属倉庫のバックステージエリアの廊下配管工事	庁舎玄関内部内壁セラミックタイルの剥離、一部剥離タイルの貼り替え	壁、天井等の内壁全段(床、一部外壁は修繕)	内装壁、天井等のクラック補修、窓ガラスの交換、一部外壁の修繕、部分床替木の改修工事
参考図面	なし	なし	なし	なし	なし	完成写真、平面図(1～4階、各階配置あり)	配置写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容	改修内容	改修内容
床	-	-	-	-	-	-	クラック補修 一部セラップ下地モルタルアクリル樹脂補修
巾木	-	-	-	-	-	大理石1200既存取り、磨し改修21.2m 階段サカラサ22小所改修	-
腰	-	-	-	-	壁大理石貼り MEMBRO,ROSATO 7㎡(張替) 出陣部補修4㎡ 下地モルタル磨り7㎡	大理石貼り 既存取りの磨し改修24.8㎡ ソラコート吹付1019㎡	ソラコート吹付 558㎡
壁	-	-	-	-	-	AP塗 プラスター下地 2723㎡	ベニヤ塗剥離替え 2mm 水性パテ下地補修とも 9280㎡
天井・梁	-	-	-	-	-	AP塗 2843㎡ 吊り下げダクト AP塗	クラック補修
木材面仕上げ	-	-	-	-	-	-	-
鉄材面仕上げ	-	-	-	-	-	壁見切りVOF磨713m	-
天井線型彫刻 または、その他仕上げ	-	-	-	-	-	壁見切り大理石30m 大理石窓台10の所 補修共	-
照明	-	-	-	-	-	-	-
建具	-	-	-	-	-	木製ドアOP磨25.3㎡ 階段室防火戸OP磨22㎡	-
その他	-	-	-	玄関扉、欄間の塗装 詳細不明	-	守衛室新築木工事修繕	-

設計時仕上表

特記なき長さ単位は「寸」

	部位	仕様
1	床	入口省欄 大島産花崗石五度叩き仕上ゲ <当初設計> 床:大理石(伊太利産) 階段 階面石、蹴込石:大理石 <変更設計> 床:花崗石 階段 階面石、蹴込石:花崗石 (玄関昇り) 階段、蹴放石 大島産花崗石五度叩き仕上ゲ
2	巾木	大理石溝形付キ (伊太利産、階段巾木共)
3	腰	腰羽目、責負:大理石(伊太利産)
4	壁	白漆喰塗り仕上ゲ 水性ペンキ塗り
5	天井・梁	白漆喰塗り仕上ゲ 水性ペンキ塗り
6	木材面仕上げ	
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻 または、その他仕上げ	蛇腹 モルディング付キ石膏彫刻張付ケ シャンデリア台 石膏模張付ケ
9	照明	
10	建具	
11	その他	玄関入口枠枠腰大理石 守衛室窓縁、同梯腰大理石 エレベーター入口枠・枠腰・○○・アーチ・楯 大理石

改-4 ホール(2階)

出典(設計時仕上表)

	保存資料	懸聴舎建築工事(設計書類契約書共)三綴ノ内式 土木職営繕係 自 昭和二年 度 至 昭和四年 度
	資料名称	愛媛懸聴舎新築工事材料内譯明細書 ※表紙に「図面ハ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
	工事名称	愛媛懸聴舎新築工事
	図面等名称	愛媛懸聴舎新築工事材料内譯明細書
	年代	昭和2年 月
	部屋名	ホール(2階)

改修履歴

改修工事番号	50	67	74	100	119
改修工事名称	庁舎本館玄関及び階段廻り塗装その他工事	県庁本館内部塗装工事	県庁舎本館その他各暖房設備工事	県庁本館内壁等修繕工事	県庁舎(本館、第1・第2別館)内部改修工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	有	有	有
改修工事年度	S37	S44	S46	S62	H13
工期	昭和37年 6月15日～ 昭和37年 7月25日	昭和44年 9月30日～ 昭和45年 1月27日	昭和46年12月 8日～ 昭和47年 3月31日	昭和62年 9月 8日～ 昭和63年 3月 5日	平成13年 5月30日～ 平成13年 9月 6日
計 負 人	鹿島建設㈱四国支店	榊野間工務店	四国電気工事株式会社愛媛支店	大野建設株式会社	大野建設株式会社
計負金額(円)	¥1,000,000	¥8,320,000	¥52,040,000	¥42,150,000	¥54,576,000
工事概要	玄関及び階段廻り塗装その他	壁、天井、腰、木部、排水、暖房パイプ	本館のファンユニット、議事室の薄形エアコン、附属舎のバットーレンジ形エアコンの据付配管工事	壁、天井等の内壁全般(床、床板、壁紙、天井等の修繕、塗装、撤去等及び壁タイル一部外壁改修	内部壁、天井等のクラック補修、壁紙、天井等の修繕、塗装撤去等及び壁タイル部分撤去等の改修工事
参考図面	なし	なし	完成写真(各執務室、廊下、玄関)一部外観の写真、本館の配置図、平面図(1234R)	完成写真、設計内訳書	配置図、平面図(1～4階)、完成写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容※	改修内容※
床	-	-	-		クラック補修 一部スラブ下部モルタルアンカーベネニング補修
巾木	-	-	-		
腰	-	-	-		大理石H2000既存取り壊し改修21.2㎡ 階段サカラ2ヵ所改修
壁	-	-	-		大理石貼り 既存取り壊し改修24.8㎡ ソラコート吹付1019㎡
天井・梁	-	-	-		ペンキ塗装剥がし 2mm水性ペンキ下地補修とも9280㎡
木材面仕上げ	-	-	-		クラック補修
鉄材面仕上げ	-	-	-		
天井線型彫刻またはその他仕上げ	-	-	-		壁見切り大理石30mm 大理石窓台10ヵ所 補修共
照明	-	-	-		
建具	-	-	-		木製ドアOP塗25.3㎡ 階段室防火戸OP塗2ヵ所
その他	-	-	-		守衛室幕板木工事修繕

設計時仕上表

特記なき長さ単位は「寸」

	部位	仕様
1	床	床四盤・大理石(伊太利産)見本品通り (階段2階～3階) 踏面石、蹴込石 大理石
2	巾木	大理石(伊太利産)
3	腰	腰羽目 大理石(伊太利産、實負共)
4	壁	白漆喰塗り仕上 水性ペンキ塗り
5	天井・梁	白漆喰塗り仕上 水性ペンキ塗り
6	木材面仕上げ	
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻またはその他仕上げ	蛇腹モルデイング付キ 石膏彫刻張り シャンデリア台 石膏彫刻張り 入口アーチ 石膏彫刻張り
9	照明	
10	建具	
11	その他	

改-5 貴賓室 (その1)

出典(設計時仕上表)

	懇親舎建築工事(設計書類契約書共)三級/内式土木取寄関係 目 昭和二年度 至 昭和四年度 ※表紙に「図面へ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
保存資料	
資料名称	愛媛県懇親舎新築工事材料内訳明細書
工事名称	愛媛県懇親舎新築工事
図面等名称	愛媛県懇親舎新築工事材料内訳明細書
年代	昭和2年 月
部屋名	貴賓室

改修履歴
(その1)

改修工事番号	27	58	59	74	83	108	119
改修工事名称	県庁舎内部水性ペンキ塗工事	県庁舎貴賓室その他修繕改良工事	県庁舎貴賓室改造電気設備工事	県庁舎本館その他冷暖房設備工事	愛媛県庁貴賓室冷暖房工事	県庁本館外空調改修建築工事	県庁舎(本館、第1、第2別館)内部改修工事
資料名称 (原義の有無)	無し	無し	無し	有	無し	有	有
改修工事年度	S26	S40	S40	S46	S50	H3	H13
工期	昭和26年8月17日 昭和26年9月24日	昭和41年2月23日 昭和41年3月31日	昭和41年2月23日 昭和41年3月31日	昭和46年12月8日～ 昭和47年3月31日	昭和50年6月13日 昭和50年7月19日	平成4年2月26日～ 平成4年6月30日	平成13年5月30日～ 平成13年9月6日
請負人	東西企業㈱	神野間工務店	山陽電気工事㈱	四国電気工事株式会社 愛媛支店	四国電気工事株式会社	株式会社野間工務店	大野建設株式会社
請負金額(円)	¥490,000	¥2,500,000	¥480,000	¥52,040,000	¥2,870,000	¥105,975,000	¥54,376,000
工事概要	庁舎内部三、四階塗装工事	3階貴賓室、4階会議室、階段	電気設備、受電室改造	本館のファンコイルユニット、義事室の薄形エアコン、附属金のペンキ塗り、アノコの据付配管工事	不明	防水改修(婦小屋設置)、木、金属、木製建具、窓装、内装、家具	内部壁、天井等のクラック補修 塗装剥離及び壁紙タイル剥離剥離等の改修工事
参考図面	なし	なし	なし	完成写真(各執務室、廊下、玄関)一部外観の写真、本館の配置図、平面図(1234R)	なし	完成写真、工事中の写真、平面図、内部仕上げ表	配置図、平面図(1～4階)、完成写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容※
床						絨毯張替	クラック補修 一部スラブ下部モルタルアンカーピンニング補修
巾木							
腰							ソラコート吹付 558㎡
壁							ペンキ塗装塗替え 2mm水性ペタ下地補修とも、9280㎡
天井・梁							クラック補修
木材面仕上げ							
鉄材面仕上げ							
天井線型彫刻 または 石膏彫刻貼付 その他仕上げ							
照明							
建具							
その他				冷暖房設備	冷暖房設備	ファンコイル用裝飾棚(マホガニー)	

設計時仕上表

	部位	仕様
1	床	樟根太組、床板杉又ハ輪 青木貼 チーク、オーク、コクタン
2	巾木	チーク
3	腰	付仲チーク高サ7尺6分 ハネル漆喰特種ペンキ塗り
4	壁	白漆喰塗り (腰パネル上部線壁共、ペンキ下地) 特種ペンキ塗り
5	天井・梁	白漆喰(モルディング付キ)
6	木材面仕上げ	ワニス5回塗り 艶消磨き出シ
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻 または 石膏彫刻貼付 その他仕上げ	梁下石膏彫刻垂付(5寸丸) 落天井石膏彫刻貼付(巾2.3尺) 石膏彫刻貼付(巾1尺) 石膏シャンテリア台1.5尺×1.5尺
9	照明	
10	建具	同開チークベニア板7尺×5尺、欄間チーク木彫5尺×1.6尺
11	その他	入口枠、寄摺、無目、枠腰、額縁、膳板、長押:チーク 大理石製ストープ

改-6 知事室・応接室（その1）

出典(設計時仕上表)

	保存資料	懇議舎建築工事(設計書類契約書共)三級ノ内式 土木 課記録係 自 昭和二年度 至 昭和四年度
	資料名称	愛媛懇議舎新築工事材料内訳明細書 ※表裏に「図面へ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
	工事名称	愛媛懇議舎新築工事
	図面等名称	愛媛懇議舎新築工事材料内訳明細書
	年代	昭和2年 月
	部屋名	知事室・應接室

改修履歴
(その1)

改修工事番号	24	36	39	72	74	79
改修工事名称	知事室カーテン新設工 事	愛媛県庁舎知事室冷房 設備工事	愛媛県庁舎知事室他暖 房設備工事	庁内知事室、副知事室 その他機換替え工事	県庁舎本館その他冷暖 房設備工事	知事室改修工事
資料名称 (原簿の有無)	無	無	無	無	有	有
改修工事 年度	S24	S33	S33	S46	S46	S47
工期	昭和25年 3月14日～ 昭和25年 3月17日	昭和33年 7月16日～ 昭和33年 7月19日	昭和33年11月14日～ 昭和33年12月 7日	昭和46年 8月 28日～ 昭和46年 9月 16日	昭和46年12月 8日～ 昭和47年 3月31日	昭和47年10月17日～ 昭和47年10月28日
請負人	大成建設	三菱電機株式会社営業所	愛媛設備工業㈱	株式会社 野間工務店	西国電気株式会社愛 媛支店	株式会社 野間工務店
請負金額(円)	¥200,000	¥1,545,000	¥1,000,000	¥4,530,000	¥52,040,000	¥1,300,000
工事概要	不明	不明	不明	不明	本館のファンコイルユニット、 議事室の薄形エアコン・附 属舎のファンクション形エアコ ンの据付配管工事	知事室の改造(トイレ設置)
参考図面	なし	なし	なし	なし	落成写真(各執務室、廊 下、玄関)一部外観の写真、 裏、本館の配置図、平面図 (1234R)	完成写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容
床						(トイレ部分)モルタル押さえ 一部OIC貼り2.6㎡
巾木						
腰						(トイレ部分)タイル貼り7.5 ㎡
壁						
天井・梁						木毛板
木材面仕上げ						
鉄材面仕上げ						
天井線型彫刻 または その他仕上げ						
照明						
建具						トイレ入り口新設
その他	カーテン	冷房設備	暖房設備、		冷暖房設備	洋式大便器

その2へつづく

設計時仕上表

	部位	仕様	特記なき長さ単位は「寸」
1	床	桧根太組、杉板下地 常木貼 チーク、オーク混合、黒樺ノ筋入レ	
2	巾木	チーク高サ7寸、モルディング付キ	
3	腰	腰羽目チーク高サ3尺5寸 枠組玉縁モルディング付キ、 上端實負チーク ベニヤ板・チーク又はマホガニー<特許 新田式5枚刻3 分厚>	
4	壁	白漆喰塗り(パネル及上部蟻壁共、ペンキ下地) 特種ペンキ(水性叩き仕上ク)	
5	天井・梁	白漆喰塗り	
6	木材面仕上げ	ワニス5回塗り 艶消磨き出シ	
7	鉄材面仕上げ		
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	(天井) 天井蛇腹 モルディング石膏彫刻張付ケ シャンデリアア台 石膏彫刻模倣入リ	
9	照明		
10	建具	両開9尺×5尺チーク、片開7尺×3尺チーク ワニス5回塗り	
11	その他	入口枠、舞目、番摺、杵腰、額縁:チーク・ワニス5回塗り	

改修履歴
(その2)

改修工事番号	100	102	119
改修工事名称	県庁本館内壁等修繕工事	県庁舎防災設備工事	県庁舎(本館、第1・第2別館)内部改修工事
資料名称 (原義の有無)	有	有	有
改修工事 年度	S62	S63	H13
工期	昭和62年 9月 8日～ 昭和63年 3月 5日	昭和63年12月28日～ 平成元年 3月25日	平成13年 5月30日～ 平成13年 9月 6日
請負人	大野建設株式会社	四国電気工事株式会社	大野建設株式会社
請負金額(円)	¥12,150,000	¥11,650,000	¥54,576,000
工事概要	壁、天井等の内壁全般(床 除く)の修繕 一部外壁改修	本館、自動火災報知設備 誘導灯設備、 正庁カーベント遮替	内部壁、天井等のクラック補 修 塗装塗替え及び壁タイル部 分塗装外の改修工事
参考図面	落成写真、平面図(1～4階 各階配置あり)	平面図1～R階	配置図、平面図(1～4階)、 完成写真、設計内訳書
部位	改修内容	改修内容	改修内容※
床	カーベント敷き71.1㎡ 下地フェルト共		クラック補修 一部ス ラブ下部モルタルアン カーベントニシグ補修
巾木			
腰	CL塗3㎡		ゾラコート吹付 558 ㎡
壁	内装用リシン113㎡ 壁紙OP塗52㎡		ペンキ塗装塗替え 2 mm水性ペン下地補 修とも 9280㎡
天井・梁	AP塗235㎡		クラック補修
木材面仕上げ	窓台CL塗10m		
鉄材面仕上げ			
天井線型彫刻 または その他仕上げ			
照明			
建具			
その他	木工事修繕 カーテン取付	自火報装置設置	

竣工時仕上表 特記なき長さ単位は「寸」

	部位	仕様
1	床	松根太組、杉板下地 薪木貼 チーク、オーク混合、黒檀ノ筋入レ
2	巾木	チーク高サ7寸、モルディング付キ
3	腰	腰羽目チーク高サ3尺5寸 枠組玉縁モルディング付キ、上端貫 負チーク ベニヤ板:チーク又はマホガニー<特許 新田式5枚割3分厚 >
4	壁	白漆喰塗り(バスル及上部蟻壁共、ベニキ下地) 特種ベニキ(水性叩キ仕上ケ)
5	天井・梁	白漆喰塗り
6	木材面仕上げ	ワニス5回塗り 艶消磨き出シ
7	鉄材面仕上げ	
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	(天井) 天井蛇腹 モルディング石膏彫刻張付ケ シャンデリア台 石膏彫刻模倣入リ
9	照明	
10	建具	間開9尺×5尺チーク、片開7尺×3尺チーク ワニス5回塗り
11	その他	入口枠、舞目、番提、杵腰、額縁:チーク・ワニス5回塗り

改-7 知事会議室 (旧参事會室)

出典(設計時仕上表)

保存資料	愛媛県建築工事(設計書類契約書共)三級ノ内式 土木課営繕係 自 昭和二年度 至 昭和四年度
資料名称	愛媛縣廳舍新築工事材料内譯明細書 ※表紙に「図面ハ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
工事名称	愛媛縣廳舍新築工事
図面等名称	愛媛縣廳舍新築工事材料内譯明細書
年代	昭和2年 月
部屋名	参事會室

改修履歴

改修工事番号	8	9	28	74	102	108	119
改修工事名称	参事官室改造工事	参事官室レースカーテン新調其他工事	県庁舎内部水性ペンキ塗工事	知事会議室改修工事	県庁舎防災設備工事	県庁本館外空調改修建築工事	県庁舎(本館、第1、第2別館)内部改修工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	無	有	有	有	有
改修工事 年度	S18	S18	S26	S62	S63	H3	H13
工期	昭和18年 7月10日～ 昭和18年 8月10日	昭和18年 7月17日～ 昭和18年 8月15日	昭和26年 8月17日 昭和26年 9月24日	昭和62年 5月22日～ 昭和62年 6月10日	昭和63年12月28日～ 平成元年 3月25日	平成4年 2月26日～ 平成13年 6月30日	平成13年 5月30日～ 平成13年 9月 6日
請負人	永井銀次	石山	東西企業㈱	株式会社野間工務店	四国電気工事株式会社	株式会社野間工務店	大野建設株式会社
請負金額(円)	¥5,530	¥1,380	¥490,000	¥7,790,000	¥41,650,000	¥108,975,000	¥54,576,000
工事概要	不明	不明	庁舎内部三、四階塗装工事	・間仕切り取り除き・木造床張替(カーペット共)・内部塗装・カーテン・電気工事	本館 自動火災報知設備・誘導灯設備・正庁カーペット張替	防水改修(湯小屋設置、木、金属、木製建具、塗装、内装、家具)	内部機、天井等のクラック補修 塗装塗替え及び磁タイル部分張替外の改修工事
参考図面	なし	なし	なし	部分詳細図、展開図	平面図1～R階	完成写真、工事中の写真、平面図、内部仕上げ表	配置図、平面図(1～4階)、完成写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容	改修内容	改修内容※
床				フローリング不陸調整の後、合板9貼 アンダーフェルトカーペット	カーペット敷き178㎡		クラック補修 一部スラブ下部モルタルアカペニング補修
巾木							
腰							ソラコート吹付 558㎡
壁				板張撤去ののち脚縁合板12貼の撤去 木枠(9型付)取付(OSCL)、枠内クロス及び鏡板張り		EP補修塗替え	ペンキ塗装塗替え 2mm水性パテ下地補修とも 9280㎡
天井・梁						EP補修塗替え	クラック補修
木材面仕上げ				AP塗			
鉄材面仕上げ							
天井線型彫刻 または その他仕上げ				くわ型直線補修か所 文様補修1か所			
照明							
建具				木建新調(OSCL塗2か所)			
その他		カーテン新調		間仕切り壁撤去 カーテン新調 ついたて3台(図面有)	自火報装置設置	ファンコイル用裝飾棚 (マホカニー)	

設計時仕上表

	部位	仕様	特記なき長さ単位は「寸」
1	床	根太: 檜 床板: 樺「オークボード」市松組合セ	
2	巾木	米櫨	
3	腰	脚羽目 上部長押: 米櫨・柃; 米櫨 高さ8尺 板脚縁 ベニヤ板(編) 特許新田式五枚割三分厚	
4	壁	白漆喰塗り (パネ尔及蟻壁・ペンキ下地) 特種・ペンキ塗り	
5	天井・梁	白漆喰塗り 特種・ペンキ塗り	
6	木材面仕上げ	ワニス5回塗り 艶消磨き出し	
7	鉄材面仕上げ		
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	蛇腹 モルデ・ベング彫刻付キ シヤンデリアア台径 石膏彫刻張り	
9	照明		
10	建具	両開・柃9尺×5尺	
11	その他	入口柃、無目、枳腰、額縁(縁形付キ); 米櫨	

出典(設計時仕上表)

	保存資料	懇聴舎建築工事(設計書類契約書共)三級/内式 土木経営関係 自 昭和二年度 至 昭和四年度
	資料名称	愛媛県懇舎新築工事材料内訳明細書 ※表紙に「図面へ別途保存」の文字あり ※図面は現存せず
	工事名称	愛媛県懇舎新築工事
	図面等名称	愛媛県懇舎新築工事材料内訳明細書
	年代	昭和2年 月
	部屋名	三郎長室・應接室

改修履歴

改修工事番号	1	28	74	100	119
改修工事名称	経済部長室模様替工事	県庁舎内部水性ペンキ塗工事	県庁舎本館その他冷暖房設備工事	県庁本館内壁等修繕工事	県庁舎(本館、第1・第2別館)内部改修工事
資料名称 (原義の有無)	無	無	有	有	有
改修工事 年度	S9	S26	S46	S62	H13
工期	昭和10年 2月22日～ 昭和10年 3月31日	昭和26年 8月17日 昭和26年 9月24日	昭和46年12月 8日～ 昭和47年 3月31日	昭和62年 9月 8日～ 昭和63年 3月 5日	平成13年 5月30日～ 平成13年 9月 6日
請負人	御手洗伸治	東西企業㈱	四国電気工事株式会社愛媛支店	大野建設株式会社	大野建設株式会社
請負金額(円)	¥950	¥490,000	¥62,040,000	¥42,150,000	¥54,576,000
工事概要	不明	庁舎内部三、四階塗装工事	本館のファンコイルユニット、議事室の薄形エアコン、附風金のパッケージ形エアコンの据付配管工事	壁、天井等の内壁全般(床除く)の修繕 一部外壁改修	内部壁、天井等のクラック補修 壁塗装替え及び壁タイル部分抵替外の改修工事
参考図面	なし	なし		完成写真、平面図(1～4階) 図(1234R)	配膳図、平面図(1～4階)、 完成写真、設計内訳書
部位	改修内容(詳細不明)	改修内容(詳細不明)	改修内容	改修内容※	改修内容※
床					クラック補修 一部スラブ下部モルタルフィリング補修
巾木				ＡＥＰ塗214mm ＣＬ塗48.5mm ソフト巾木21mm	
腰				ＡＥＰ塗229㎡ ＣＬ塗55.1㎡ 布クロス貼り25.5㎡	ソラコート吹付 558㎡
壁				ＡＰ塗1112㎡ ビニールクロス貼り 71.4㎡ 壁枠部ＯＰ塗52㎡	ペンキ塗装塗替え 2mm水性ペテ下地補修とも 9280㎡
天井・梁					クラック補修
木材面仕上げ				ＡＰ塗1384㎡ 石綿板張り53.4㎡	
鉄材面仕上げ				壁見切りＯＰ塗1697㎡ ＣＬ塗 58.6㎡	
天井線型彫刻 または その他仕上げ					
照明					
建具				木製ドアＯＰ塗193㎡	
その他			冷暖房設備	企業管理者室カーペット敷き 内部露出配管ＡＰ塗 ガラスクリエーション 家具塗装 木製ドアＣＬ塗26.8㎡	

設計時仕上表

	部位	仕様	特記なき長さ単位は「寸」
1	床	根太：檜、床板：オーク本実知隠釘止メ	
2	巾木	米繪上端線形付キ	
3	腰	腰羽目・米繪高き4尺5寸縦横框 パネル：樺 周囲小穴嵌メ	
4	壁	白漆喰塗り 水性ペンキ塗り	
5	天井・梁	白漆喰塗り 水性ペンキ塗り	
6	木材面仕上げ	ワニス5回塗り 艶消磨き出シ	
7	鉄材面仕上げ		
8	天井線型彫刻 または その他仕上げ	天井蛇腹線形 シャンデリア台 石膏彫刻張り	
9	照明		
10	建具	両開9尺×5尺(2か所)、片開9尺×3尺(1か所) パネルドア 框：○	
11	その他	入口枠、無目、枳腰、額縁、膳板、實負：米繪	

資料10 愛媛県庁本館新築工事関係等年表

年 月 日	出 来 事 等	備考 (掲載綴り)
【本館新築工事 関連含む】		
大正15年12月19日	愛媛県会臨時会開催	【県庁舎及び警察庁舎建築に関する件】 県庁本館等の建築に必要な予算案等5議案を議決 ＜本館＞ ・規模等 : RC-4 延1,840坪 250円/坪 (460,000円) ・事業年度: 大正15年度～17年度(T15・S1～S3年度)
昭和2年1月21日	県会議場新築工事契約	・県会議場408.6坪 (RC地下1階、W地上3階) の新築工事。 契約金: 47,600円 完成日: 昭和2年6月30日 施工者: 野間保太郎 (今治市) 見積誤りによる契約取消しの嘆願書が提出される(1月28日)
昭和2年2月12日	県会議場新築工事契約 (契約解除による再入札 と思われる)	・県会議場□坪の新築工事。 契約金: 53,000円 完成日: 昭和2年7月31日 施工者: 近藤徳太郎 (新居郡西条町)
昭和2年3月22日	臨時建築部設置規程	・臨時建築部設置規程策定 ”第4条 部に顧問又は嘱託を置くことを得”
昭和2年3月25日	県職員の人事	・建築技師「戸村秀雄」 臨時建築部主事を命ず 庶務課兼工務課勤務を命ず 外数名の記載あり 別メモに「木子」「内藤」の嘱託に関する記載あり ・工学博士 内藤多仲 臨時建築部顧問を嘱託す ・工学士 木子七郎 臨時建築部設計??を嘱託す
昭和2年5月7日	県庁舎建築中仮事務室 に関する件	・県庁舎建築中の仮事務室移転に関する文書 ・6月末までに商品陳列所は温泉郡役所に移転 ・7月1日より一時仮議事堂の2回に知事室等を移転 ・営繕係、臨時建築部は現在の食堂
昭和2年6月18日	県会議事堂補強工事完成	・議事堂3階部分の耐震性に関する補強工事? 契約金: 184円 契約日: 昭和2年6月3日 施工者: 近藤徳太郎 (新居郡西条町)
昭和2年6月30日	県庁舎建物競売公告	・売却物件 ・内務部庶務課 2階建 189坪 ・内務部物置 平屋建 17坪 ・警察部保安課 平屋建 88坪

年 月 日	出 来 事 等	備考 (掲載綴り)
昭和2年7月9日	元本館及び廊下移転修繕工事契約	・本館97坪、廊下5.5坪外の移転修繕工事 契約金：2,850円 完成日：昭和2年9月？日 施工者：坂本栄蔵 (松山市新玉町)
昭和2年7月11日	蚕業取締所移転及び土木課増築工事契約	・蚕業取締所移転46坪、土木課増築16坪の工事。 請負金：995円 完成日：2年8月30日 請負者 安岡卯口助 (松山市花園町)
昭和2年7月11日	仮庁舎付属便所並びに廊下及び各間仕切り新設工事契約	・便所新設2.5坪、廊下増築5.36坪外の工事。 請負金：908円 完成日：2年8月15日 請負者 夷子留蔵 (松山市木屋町)
昭和2年7月11日	仮自動車置場新設工事契約	・仮自動車置場24.5坪の工事。 請負金：534円 完成日：2年8月20日 請負者 夷子留蔵 (松山市木屋町)
昭和2年7月11日	県庁舎旧建物払下げ契約	・物置 (浴室共) 17坪を温泉郡潮見村に払い下げ。 払下げ金：172円、取除き期限：2年8月30日 ・警察部倉庫28坪を温泉郡潮見村に払い下げ。 払下げ金：420円、取除き期限：2年8月30日 ・自動車庫9坪を温泉郡潮見村に払い下げ。 払下げ金：72円、取除き期限：2年8月15日
昭和2年7月13日	県庁舎旧建物払下げ契約	・フィルム検査室？33坪を菊間町？に払い下げ。 払下げ金：142円、取除き期限：2年8月30日 ・警察部倉庫28坪を温泉郡潮見村に払い下げ。 払下げ金：420円、取除き期限：2年8月30日
昭和2年8月18日	湯沸場薪炭庫移築等工事契約	・湯沸場薪炭庫12.6坪の新築工事他。 請負金：460円 完成：2年8月29日 請負者 夷子留蔵 (松山市木屋町)
昭和2年8月20日	自動車庫土間コンクリート工事契約	・自動車庫土間コンクリートの工事。 請負金：140円 完成：2年8月25日 請負者 夷子留蔵 (松山市木屋町)
昭和2年9月5日	県庁舎旧建物払下げ	・警察部保安課建物88？坪を温泉郡久米村へ払い下げ。 払下げ金：565円、取除き期限：2年9月30日
昭和2年10月7日	県庁舎旧建物払下げ	・内務部庶務課2階建1棟 (延189坪) を三津浜町へ払い下げ。 払下げ金：2,400円、取除き期限：2年10月15日
		松山高等商業学校破約となり、三津浜町に決定。 ＜建築関係雑書＞

年 月 日	出 来 事 等	備 考 (掲載綴り)
昭和2年10月12日	設計並びに監督報酬費支払 払い 内容 ・県庁舎設計等に関する支払いの伺い。 県庁舎設計は先に「木子七郎氏」に嘱託中のところ、設計図書出来 候に付報酬として18,000円支出することとし、内1,000円は嘱託「内 藤博士」に、17,000円を「木子氏」に贈与する・・・ (参考：木子七郎氏⇒尾崎知事 引受証 昭和2年10月12日) 拙者儀嘱託中の御県庁舎建築工事設計並びに監督の偽は工事着手後に於 いて万一設計上の瑕疵 (かきん：きず、欠点の意) を発見したる時は何時に てもこれが適当なる変更の口には勿論工事中といえども必要に応じ現場監 督に従事し責任を持ち申すべく候 ・本館建築中に仮事務室として使用するための移転工事。 請負金：1,205円 完成日：2年11月15日 請負者 安岡卯口助 (松山市花園町)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年10月28日	元衛生課建物移転工事契 約 ・新庁舎建築工事の契約書。 請負金：562,000円 (設計変更の結果1,564,544円のメモもあり) 完成期限：昭和4年1月10日 (2月9日まで延期許可のメモあり) 請負者 榎安藤組 (大阪市北区)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年11月11日	愛媛県庁舎新築工事契 約 書 ・その他建物の工事期間> ・仮議事堂 (S2.2.12～S2.7.31) ・衛生試験場 (本館に同じ) ・健康保険所? 移転模様替 (S4.11.8～S5.1.30) ・倉庫 (S4.12.28～S5.4.30)	<県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和2年11月11日	本館着工 ・本館建築用のセメント格納倉庫35坪の新築工事。 請負金：875円 完成日：2年12月2日 請負者 安岡卯口助 (松山市花園町)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年11月22日	セメント格納倉庫新築工 事契 約 ・県庁舎建築工事用セメント12,000樽 (増減あり) の供給代金。 契約金：46,680円 請負者 浅野セメント (福岡県門司市)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年11月30日	セメント供給契約書 ・薬品庫□坪の設置工事。 請負金：119円 完成：2年12月16日 請負者 安岡卯口助 (松山市花園町)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年12月11日	衛生課仮設薬品庫設置工 事契 約 ・連絡廊下□坪の建設工事。 請負金：398円 完成：2年12月21日 請負者 安岡卯口助 (松山市花園町)	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年12月15日	赤十字支部、土木課外連 絡廊下建設工事契 約 ・地鎮祭招待人名を記入した用紙に「内藤博士」「木子七郎」の名の 記載あり。 ・概算金額：985円	<県庁舎建築概要> <県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和2年12月16日	地鎮祭	

年 月 日	出 来 事 等	備考（掲載綴り）
昭和2年12月18日	セメント空樽払下げ契約	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊1
昭和3年1月30日	議案第9号	議案提出 ＜建築関係雑書＞
昭和3年2月15日	県庁舎基礎工事変更について（伺）	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊2
昭和3年2月16日	愛媛県庁新築庁舎電気設備工事契約書	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊2
昭和3年2月28日	愛媛県庁新築庁舎衛生設備工事契約書	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊3
昭和3年5月15日	議案第25号	議案提出 ＜建築関係雑書＞
昭和3年5月25日	県庁舎旧建物払下げ契約書	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊1
昭和3年5月26日	庁舎建築工事の一部設計変更について（伺）	＜県庁舎建築工事＞ 3分冊2
昭和3年10月9日	県庁舎旧建物払下げ	＜建築関係雑書＞
昭和3年11月5日	議案第？号	議案提出 ＜建築関係雑書＞

年 月 日	出 来 事 等	備 考 (掲載綴り)
昭和4年2月9日	愛媛県庁舎竣工検査報告 木子七郎⇒知事	・新庁舎建築に係る完了検査の報告。 (内容) 県庁舎建築工事安藤組請負に係る部分2月3日、4日両日に涉り検査致し設計の如く完了した事を報告候也 但し命令を以て竣工延期を求めたる塗装工事は3月31日迄に終了に付再び検査を致すべく候 昭和4年2月9日 庁舎設計監督嘱託 木子七郎 印 愛媛県知事 市村慶三殿 <県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和4年2月12日	県庁舎建築追加工事契約	・新庁舎建築に係る追加工事の変更契約。 追加工事費：5,910円 完成期限：昭和4年3月15日 請負者 ㈱安藤組 (大阪市北区) (追加工事内容) 1 階宿直室間仕切り新設、2階刑事課間仕切り変更、屋上リフト塔屋増設、貴賓室出入口増設、2階中央正面親時計台 (大理石)、赤十字社会議室中心飾り 他 <県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和4年2月25日	県庁舎引込み用電線路工事 (随意契約：請書の提出)	・新庁舎建築に係る電線路工事 (架空配線路外) の契約。 請負金：3,175円 完成日：昭和4年4月30日 請負者 伊予鉄道電気㈱ (松山市湊町) <県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和4年3月1日	新庁舎昇降機用ガイドレール取付け工事契約	・新庁舎昇降機用ガイドレール外の取付け工事の契約。 請負金：2,156円 完成日：昭和4年3月31日 請負者 日本エレベーター製造㈱ (大阪市東区) 工事内容：昇降機用ガイドレール、出入口用伸縮扉 他 <県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和4年3月7日	議案第18号	議案提出 <建築関係雑書>
昭和4年3月8日	新庁舎装飾工事契約	・新庁舎に係る窓掛、敷物、家具等の契約。 請負金：26,857円 完成期限：昭和4年3月31日 請負者 ㈱高島屋呉服店 (大阪市南区) 工事内容：正庁・貴賓室等窓掛、ブラインド、知事室等敷物、デスク (チーク)、衝立 他 <県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和4年3月10日	完成	当初完成予定 S4.1.10 ⇒ S4.2.9 (業者からの要望) ⇒ S4.3.10 (県からの命令：ペンキ乾燥のため) 違う資料有S4.4.30 <県庁舎建築概要> <県庁舎建築工事> 3分冊2

年 月 日	出 来 事 等	備 考 (掲載綴り)
昭和4年3月10日	県庁舎電灯器具取付け工事契約 請負金：10,000円 完成期限：昭和4年3月31日 請負者 内田商事(株)大阪支店 (大阪市東区) (工事内容) 正庁・貴賓室・知事室等シャンデリア、玄関ブラケット、玄関シーリング、正面入りロスタンド、貴賓室ブラケット 他	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和4年3月14日	県庁舎家具設備工事契約 ・新庁舎建築に係る家具工事の契約。 請負金：18,609円 完成日：昭和4年3月31日 請負者 合資会社清水製作所 (大阪市西淀川区) (工事内容) 貴賓室・応接室・会議室 (赤十字)・参事会室・部長室の大・小衝立、卓子、書机、肘掛け椅子、安楽椅子 他	図面あり。 所々に戸村氏の押印あり。 <県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和4年3月15日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・小使室平屋建廊下共外を池田到一 (温泉郡余土村) へ 払下げ金160円、除却期限：4年4月15日	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和4年3月15日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・正門門石、扉、警察部玄関柱石を夷子留蔵 (松山市木屋町) へ 払下げ金133円、除却期限：4年3月31日	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和4年3月15日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・門衛詰所平屋建8.5坪を夷子留蔵 (松山市木屋町) へ 払下げ金85円、除却期限：4年3月31日	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和4年3月25日	県庁舎正門及び外柵その他工事契約 ・新庁舎正門 (石門) 及び石柵工事の契約。 請負金：5,000円 完成期限：昭和4年3月31日 請負者 榎安藤組 (大阪市北区) 工事内容：正門 (石)、門燈 (ブロンズ)、鎖 他	<県庁舎建築工事> 3分冊1
昭和4年4月18日	議案第29号 【県庁舎建築費67,184円の臨時追加】 内部設備費、門工事、自動車庫、倉庫、移転費、雑費	議案提出 <建築関係雑書>
昭和4年4月19日	落成式典 本館屋上西側バルコニーで神式による祭典等	<愛媛県史>
昭和4年4月20日	庁員祝賀会 本館屋上会場 (690人程度を予定) 出席者名簿に、・建築技師 戸村秀雄、田原政見・建築技手 小野司一、河井久雄、乗本利三郎、山中大九郎、高木市太郎、佐々木俊一郎の名前あり。	昭和4年土第8号 永年保存 「建築工事」綴り
昭和4年4月21日	一般公開 21日～23日の3日間 (県勢展覧会等)	<愛媛県史>
昭和4年4月30日	県庁舎石門及び石柵その他工事契約 (随意契約) ・新庁舎石門及び石柵工事の契約。 請負金：5,283円 完成日：昭和4年5月13日 請負者 榎安藤組 (大阪市北区) 工事内容：通用門柱 (花崗岩)、石橋移転、鎖 他	<県庁舎建築工事> 3分冊1

年 月 日	出 来 事 等	備考（掲載綴り）
昭和44年5月25日	新庁舎エレベーター取付け工事契約 ・ 県庁舎新築に伴うエレベーター取付け工事の契約。 請負金：6,763.6円 完成日：昭和44年8月5日 請負者 日本エレベーター製造(株)（大阪市東区） その他 見積書に運転方式、指示装置等の仕様記載あり	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年6月1日	庁舎屋上写真室内部設備工事契約（随意契約） ・ 新庁舎建築に係る写真室（東西2か所）の内部工事の契約。 請負金：480円 完成日：昭和44年6月20日 請負者 安岡卯口助（松山市柳井町）	<県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和44年7月10日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・ 食堂2階建56坪を岡田産業へ（伊予郡岡田村） 払下げ金290円、除却期限：44年8月10日	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年7月13日	県庁舎給水排水管保温その他工事の契約（随意契約） ・ 新庁舎建築に係る給排水管の保温保冷工事の契約。 請負金：650円 完成日：昭和44年7月27日 請負者 世良然次郎（松山市湊町）	<県庁舎建築工事> 3分冊2
昭和44年8月20日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・ 本庁舎2階建付属廊下共189坪を愛媛県仏教会へ（松山市東雲町） 払下げ金2,000円、除却期限：44年9月30日 払下げ願いには、松山市持田元県立農業学校跡地へ移転建築の上愛媛県仏教会館として永遠に保存致したく候・・・との記載あり。	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年10月15日	県庁舎旧建物払下げ契約書 ・ 土木課及び付属舎108坪を温泉郡三内村へ（村役場へ改造） 払下げ金400円、除却期限：44年11月10日	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年10月25日	県庁舎自動車庫新築工事契約書 ・ 自動車庫2棟49坪の新築工事の契約書。 請負金：3,360円 完成日：昭和44年1月22日 請負者 白方米五郎（松山市萱町）	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年11月1日	元本館外敷地均し工事に関する起案 ・ 旧庁舎（本館・食堂）跡地の地均し工事に関する起案書。 請負金：52円 完成日：昭和44年11月15日（竣工日より） 請負者 安岡卯口助（松山市柳井町）	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年11月8日	元耕地整備課を警察部保険課事務室に改造する工事の契約書 ・ 県耕地整備課を移転し警察本部保険課の事務室として使用するため に改造する工事の契約書。 請負金：1,268円 完成日：昭和44年1月30日（竣工日より） 請負者 安岡卯口助（松山市柳井町）	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年12月28日	県庁内倉庫新築工事契約書 ・ 倉庫(RC)180坪、渡り廊下外の新築工事の契約。 請負金：19,750円 完成日：昭和44年4月30日 請負者 野間保太郎（今治市）	<県庁舎建築工事> 3分冊3
昭和44年2月14日	県庁舎庭園工事並びに西側コンクリート堀外の契約書 ・ 芝生、コンクリート門柱、鉄扉等工事の契約。 請負金：1,100円 完成日：昭和44年5月21日 請負者 野間保太郎（今治市）	<県庁舎建築工事> 3分冊3

年 月 日	出 来 事 等	備 考 (掲載綴り)
【その他】		
昭和4年4月23日	記念品 (絵葉書・灰皿) 配布簿	県庁各課に配布されている。(土木課 1 3 3。内営繕係 2 2 2 となっており、その当時の県庁職員の家族が当時の絵葉書を持っている可能性がある。)
昭和 4 年 4 月 末 日	県庁新築落成祝典写真の見積	・新庁舎落成式典の写真 (四切形 4 組) の請求書。 請求金額：48円 請求者 オクダ写真館 (松山市南京町 4 3 大街道有楽座東へ上る 5 軒目)
昭和4年7月20日	郵便発送伝票	同上 (後ろの方)

資料11 新築時新聞(本編掲載分以外)



1.



2.



3.



4.



5.

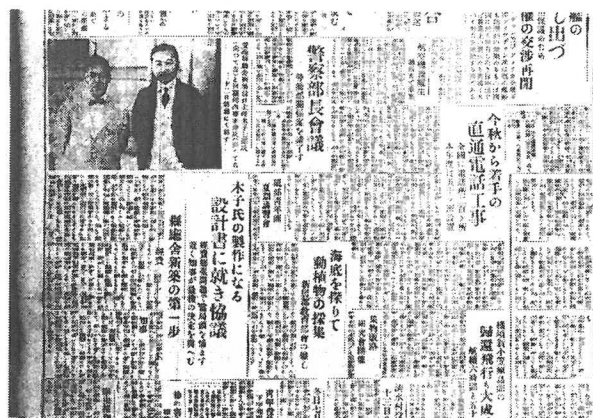


6.

No.	名称	分類	所蔵	備考
1.	海南新聞 大正15年12月8日	臨時県会	愛媛県立図書館	-
2.	海南新聞 大正15年12月14日	臨時県会	愛媛県立図書館	-
3.	海南新聞 大正15年12月16日	臨時県会	愛媛県立図書館	-
4.	海南新聞 大正15年12月20日	臨時県会	愛媛県立図書館	-
5.	海南新聞 大正15年12月21日	臨時県会	愛媛県立図書館	-
6.	海南新聞 大正15年12月25日	臨時県会	愛媛県立図書館	-



7.



8.



9.



10.



11.



12.

No.	名称	分類	所蔵	備考
7.	海南新聞 昭和2年7月6日	設計・施工	愛媛県立図書館	-
8.	海南新聞 昭和2年7月13日	設計・施工	愛媛県立図書館	-
9.	海南新聞 昭和2年8月12日	設計・施工	愛媛県立図書館	-
10.	海南新聞 昭和4年3月3日	落成式	愛媛県立図書館	-
11.	海南新聞 昭和4年4月6日	落成式	愛媛県立図書館	-
12.	海南新聞 昭和4年4月12日	落成式	愛媛県立図書館	-



13.



14.



15.



16.



17.



18.

No.	名称	分類	所蔵	備考
13.	海南新聞 昭和4年4月18日	落成式	愛媛県立図書館	-
14.	海南新聞 昭和4年4月19日	落成式	愛媛県立図書館	-
15.	海南新聞 昭和4年4月20日	落成式	愛媛県立図書館	-
16.	海南新聞 昭和4年4月20日	落成式	愛媛県立図書館	-
17.	海南新聞 昭和4年4月21日	落成式	愛媛県立図書館	-
18.	海南新聞 昭和4年4月22日	落成式	愛媛県立図書館	-



19.



20.



21.



22.



23.



24.

No.	名称	分類	所蔵	備考
19.	海南新聞 昭和4年4月23日	落成式	愛媛県立図書館	-
20.	海南新聞 昭和4年4月24日	落成式	愛媛県立図書館	-
21.	海南新聞 昭和4年4月26日	落成式	愛媛県立図書館	-
22.	愛媛新聞 昭和25年3月19日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
23.	愛媛新聞 昭和25年3月19日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
24.	愛媛新聞 昭和25年3月19日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-



25.



26.



27.



28.



29.

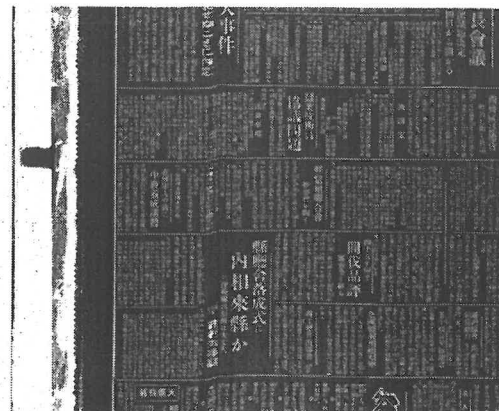


30.

No.	名称	分類	所蔵	備考
25.	愛媛新聞 昭和28年10月21日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
26.	愛媛新聞 昭和28年10月22日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
27.	愛媛新聞 昭和28年10月22日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
28.	愛媛新聞 昭和28年10月23日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
29.	愛媛新聞 昭和28年10月23日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-
30.	愛媛新聞 昭和28年10月23日	天皇陛下行幸	愛媛県立図書館	-



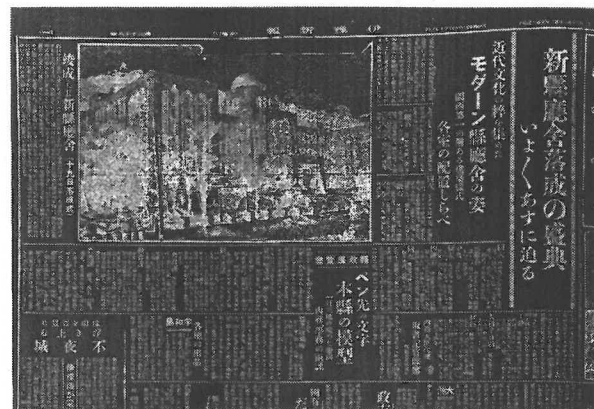
31.



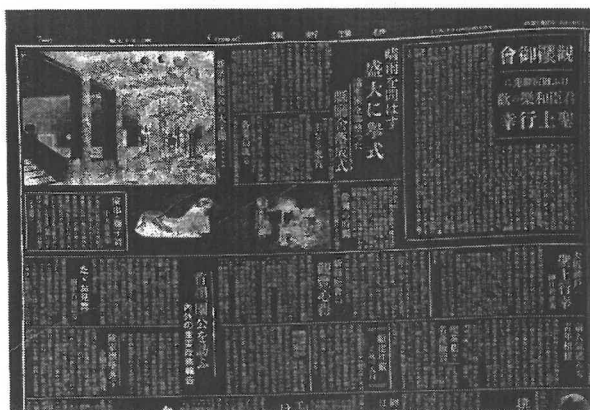
32.



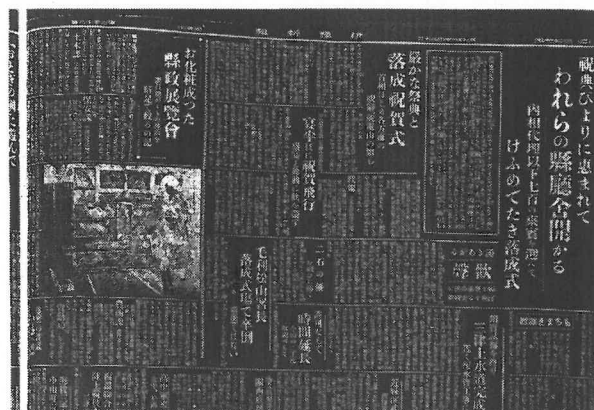
33.



34.

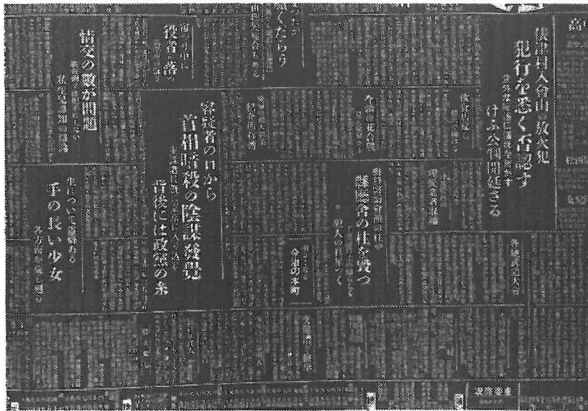


35.

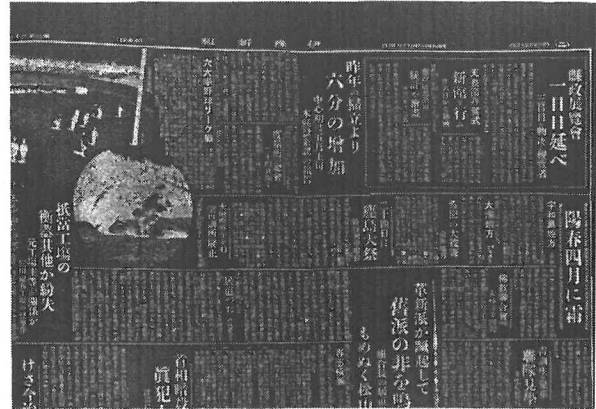


36.

No.	名称	分類	所蔵	備考
31.	伊予新報 昭和4年3月9日	落成式	愛媛県立図書館	-
32.	伊予新報 昭和4年4月4日	落成式	愛媛県立図書館	-
33.	伊予新報 昭和4年4月7日	落成式	愛媛県立図書館	-
34.	伊予新報 昭和4年4月18日	落成式	愛媛県立図書館	-
35.	伊予新報 昭和4年4月19日	落成式	愛媛県立図書館	-
36.	伊予新報 昭和4年4月20日	落成式	愛媛県立図書館	-



37.



38.

No.	名称	分類	所蔵	備考
37.	伊予新報 昭和4年4月21日	落成式	愛媛県立図書館	-
38.	伊予新報 昭和4年4月24日	落成式	愛媛県立図書館	-



JE判定広第10010号
平成22年6月19日

判 定 書

(申込者) 愛媛県知事 加戸 守行 様

件名 「 愛媛県庁 本館 」 耐震診断判定

平成22年5月14日付けで申込みのあった標記の件について、当社建築物耐震診断・耐震改修計画判定委員会（委員長 菅野俊介 広島大学名誉教授）において慎重審議の結果、本件耐震診断は、建築技術上の見地から適切であり、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に準拠し、適切に行われていると認めます。

株式会社ジェイ・イー・サポ
代表取締役 石 山 講



記

1. 建物名称 愛媛県庁 本館
2. 所在地 愛媛県松山市一番町

様式 7



JE判定広第10010号

株式会社ジェイ・イー・サポート
代表取締役 石山 講 様

「愛媛県庁 本館」に係る耐震診断について（通知）

平成22年5月14日 付けで申込みのあった標記の件について、提出された耐震診断の判定用図書を慎重に審議した結果、本件既存建築物の耐震診断は、建築技術上の見地から適切であり、「建築物の耐震改修の促進に関する法律（平成7年法律第123号）」及び同法第4条の規定に基づく「建築物の耐震診断及び耐震改修の促進を図るための基本的方針（平成18年国土交通省告示第184号）」の「（別添）建築物の耐震診断及び耐震改修の実施について技術上の指針となるべき事項」に準拠し、適切に行われていると認めます。



平成22年6月19日

株式会社ジェイ・イー・サポート
建築物耐震診断・耐震改修計画判定委員

委員長 菅野 俊介

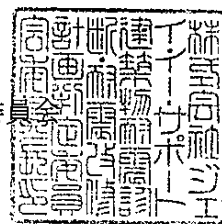
副委員長 北川 良和

委員 福原 安洋

委員 中山 昭夫

委員 小倉 憲昭

委員 佐藤 正孝



判 定 概 要 書

1 対象建物概要

- (1) 名 称 愛媛県庁 本館
- (2) 所 在 地 愛媛県松山市 1 番町
- (3) 構造規模 鉄筋コンクリート造
地上 4 階、地下 0 階、PH 1 階
延べ床面積 8,404m²
- (4) 用 途 庁舎
- (5) 建 築 年 昭和 4 年

2 構造概要

本建物は、地上 4 階、桁行 (X) 方向 79.56m、張間 (Y) 方向 42.69m、軒高 17.22m の庁舎である。平面形状は H 型であり、立面形状は整形である。

X 方向は 19 スパンの耐震壁付きラーメン構造、Y 方向は 11 スパンの耐震壁付ラーメン構造で、代表的なスパンは桁で 3.66m、梁間で 8.23m となっている。基礎は布基礎による直接基礎となっている。

3 判定内容

判定内容は、基礎・地盤に関する事項を除く建築物の耐震診断である。

(1) 現地調査

現地調査は、図面照合、採寸調査、劣化調査、不同沈下調査およびコンクリート強度・中性化試験・鉄筋の強度試験が行われており、調査事項・調査方法・データの整理は、本建物に適用される耐震診断基準に基づいて適切に行われている。

調査内容は以下の通りである。

①設計図書との照合及び被災履歴

設計図書と現地を照合した結果、一部議会棟との通路部分で梁の断面減があるが、その他相違点は見られない。また、火災、水害の被災歴はなく、地震によると思われる亀裂等の痕跡は見られないとしている。

②コンクリートのひび割れ

一部の壁に幅の広いひび割れが見られるものの、概ね乾燥収縮によると思われる軽微なひび割れで、構造的に問題となるひび割れは生じていない。これらは経年指標に



反映されている。

③コンクリート強度及び中性化

コンクリートコアを各階3本ずつ採取し圧縮試験を行った結果、設計基準強度（建設年代による推定値） $F_c=13.5\text{N/mm}^2$ に対し、各階で推定強度 σ_B が設計基準強度を上回るので、診断時採用強度は、各階 13.5N/mm^2 を採用している。

コンクリートコアによる中性化試験の結果は、実測値が0～45mm、平均値は23mm、となっており鉄筋位置までコンクリート中性化が進行している箇所もある。平均値に標準偏差の1/2を加えた計算値は31mmで、建物年数から求める中性化の基準値の34mmは下回っている。鉄筋抜き取りにおいて錆は認められないとなっている。

④鉄筋引張強度

$\Phi 9$ の鉄筋を1階壁で6本・4階壁で3本採取し、引張試験を行った結果、上位降伏点が、 $296\sim 349\text{ N/mm}^2$ であり、SR24 相当の鉄筋が使用されているものとして、診断採用強度は 294 N/mm^2 としている。

⑤不同沈下調査

レベル調査結果に有意なレベル差はなく、不同沈下に起因すると思われるひび割れも認められないことから、有害な不同沈下は生じていないとしている。

⑥エキスパンションジョイント

建物北側の議事棟と接続する渡り廊下・東側の第2別館と接続する渡り廊下とは、有効なエキスパンションジョイントが設けられていない。

(2) 耐震診断方法

耐震診断は、(財)日本建築防災協会発行の「2001年改訂版 既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準・同解説」に準拠して適切に行われている。

主な内容は以下の通りである。

①荷重計算等の準備計算は、ユニオンシステム（株）「SuperBuild/SS3 Ver1.1.1.8」、診断計算はユニオンシステム（株）「SuperBuild/RC 診断 Ver2.14」により行われている。

②平面形状はH形であり、建物の弱点を平面的に把握するために、一体で挙動すると想定される3つにゾーニングしゾーン毎に診断を行っている。

③解析に用いた材料強度には、以下の値が採用されている。

コンクリート	$F_c=13.5\text{N/mm}^2$
鉄筋 SR24 相当	$\sigma_y=294\text{N/mm}^2$



(3) 耐震診断結果

判定に用いた耐震性能の目標値は、 $I_{so}=0.70$ かつ $C_{TU} \cdot S_D \geq 0.34$ である。

診断結果は下表に示す通りである。

方向	階	ゾーン	I_s 値	$C_{TU} \cdot S_D$ 値	採用 F 値	判定
X 方向	PH	PH1	0.29	0.19	1.0	NG
	4	ゾーン A	0.59	0.64	1.0	NG
	3	ゾーン A	0.43	0.48	1.0	NG
	2	ゾーン B	0.36	0.38	1.0	NG
	1	ゾーン C	0.34	0.35	1.0	NG
Y 方向	PH	PH1	0.29	0.19	1.0	NG
	4	全体	0.63	0.79	1.0	NG
	3	全体	0.41	0.46	1.0	NG
	2	ゾーン C	0.35	0.49	1.0	NG
	1	ゾーン A	0.37	0.42	1.0	NG

(注) 診断値は正加力時、負加力時、各ゾーンの小さな値を示す。

(4) 耐震診断所見

診断者の所見は、以下の通りである。

X、Y方向ともに、耐力壁は少なく、壁梁のある架構で柱の帯筋は $9\Phi @ 400$ と靱性 F 値が小さく、強度も高いことで所要の耐震性能を下回っており、「想定する地震動に対して耐震性に疑問あり。」としている。

下階壁抜け柱の検討で第2種構造要素があり補強の必要な柱がある。

塔屋階は目標値を満足していない。ドーム屋根は水平震度 1.0 に対して所要の耐震性能を有しない。(現状強度は 0.64G 程度)

なお、隣接する渡り廊下とは十分な離隔寸法が確保されておらず、地震時に衝突破損の恐れがある、壁モルタルの浮き部分があり、壁材の落下の危険性があるとなっている。

(5) 総合所見

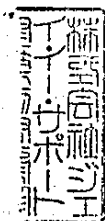
本委員会は、提出された耐震診断判定用図書に基づいて検討を行った。その結果、本耐震診断は、適切な現地調査・診断方法に基づいて適切に行われていると判断する。

(6) 判定経過

平成 22 年 5 月 21 日 第 1 回ワーキング委員会

平成 22 年 6 月 8 日 第 2 回ワーキング委員会

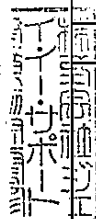
平成 22 年 6 月 19 日 第 1 回判定委員会



様式5(非木造)

耐震診断結果の概要書(非木造)

診断者	事務所名	株式会社 佐藤総合計画				TEL	092-287-9470								
	担当者	福ヶ迫 道真	資格	一級建築士 第339064号		FAX	092-287-9471								
建物概要	(1)建物名称	愛媛県庁 本館													
	(2)所在地	愛媛県松山市1番町					(3)用途	庁舎							
	(4)構造・規模	鉄筋コンクリート造					地上4階、地下なし、塔屋1階								
		特徴: 平面形状がH形である。													
	(5)建設後年数	81年 竣工 昭和4年													
	(6)面積	建築面積 2,132 m ²		延面積 8404 m ²		診断対象		8404 m ²							
	(7)階高・軒高	階高(1階から) 3.81, 4.57, 4.27, 4.27m 軒高 17.22 m													
	(8)桁行全長×梁間全長	79.56 m× 42.69 m					(桁行)		(梁間)						
	(桁行スパン×梁間スパン)	代表スパン 3.66 m× 8.23 m		スパン数 19		×		11							
	(9)地盤	表層	不明		支持層	不明		基礎底 GL-		1.52 m					
(10)基礎	杭基礎: ---					直接基礎: 布基礎									
現地調査結果 及び材料強度	(1)コンクリート	年代による推定設計基準強度 $F_c =$ 13.5 N/mm ²													
		各階の圧縮試験強度平均値 $\sigma_B =$ 16.2 ~ 23.9 N/mm ²													
		標準偏差 $\sigma =$ 1.56 ~ 8.28 N/mm ²													
		診断時強度 $F_c =$ 13.5 N/mm ²													
	(2)鉄筋	主筋 丸鋼 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ 294 N/mm ²													
		帯筋 丸鋼 9φ @200 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ 294 N/mm ²													
	(3)鉄骨	SRC柱 弦材 山形鋼 診断時降伏点強度 $\sigma_y =$ 294 N/mm ²													
	(4)中性化深さ	平均(2.3)cm 最大(4.5)cm													
判定指標	(1)Iso	0.70		(2) $C_{TU} \cdot S_D$			$0.3 \cdot Z \cdot G \cdot U = 0.3 \times 0.9 \times 1.0 \times 1.25 = 0.34$								
Is指標値 $q(C_{TU} \cdot S_D)$ 値	経年指標 $T = 0.91$														
		X方向							Y方向						
	階	E0	S_D	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	F値	判定	備考	E0	S_D	I_s	$C_{TU} \cdot S_D$	F値	判定	備考
	PH	0.19	1.00	0.29	0.19	1.00	NG	PH1	0.19	1.00	0.29	0.19	1.00	NG	PH1
	4	0.72	0.90	0.59	0.64	1.00	NG	ゾーンA	0.76	0.90	0.63	0.79	1.00	NG	全体
	3	0.52	0.90	0.43	0.48	1.00	NG	ゾーンA	0.50	0.90	0.41	0.46	1.00	NG	全体
	2	0.65	0.60	0.36	0.38	1.00	NG	ゾーンB	0.43	0.90	0.35	0.49	1.00	NG	ゾーンC
	1	0.62	0.60	0.34	0.35	1.00	NG	ゾーンC	0.45	0.90	0.37	0.42	1.00	NG	ゾーンA
(注) 診断値は正加力値、負加力値及び各ゾーンの最小値 ・S造では $C_{TU} \cdot S_D$ 欄はq値とする。															
電算ソフト	ユニオンシステム㈱ Super Build/SS3 Ver1.1.1.8 ユニオンシステム㈱「SuperBuild/RC診断2001Ver2.14」														
所見	(1)建物の構造的特徴 平面形状がH形である。 形状指標は、「くびれ」「EXP.J」による減点と、偏心率の減点がある。 (2)診断で判明した耐震性能上の問題点 桁架構は、壁梁のある架構で靱性F値が小さく、有効な耐力壁も少なく強度も高くない架構である。 張間架構は、耐力壁によって強度は高くなるが、X方向のゾーンBとゾーンCでは、偏心率が0.3を超え結果、1階と2階で耐力壁の少ないゾーンAより低いIs値となる。 下階壁抜け柱で、圧壊の危険性がある。														
その他	塔屋階は、目標値を満足していない。 議事堂と第2別館のEXP.Jは離隔距離が十分でないため大地震時に損傷の可能性がある。 改修設計時には、コンクリートコア強度の低い結果のある3階の追加調査と、ハツリ調査等による帯筋フック形状の確認が望ましい。 壁モルタルの浮き部分があり、壁材など落下の危険性がある。 ドーム屋根は水平震度0.64Gまでの強度で、水平震度1.0Gに対して所要の耐震性能を有していない。														



愛媛県庁舎本館
常時微動計測報告書

平成 28 年 11 月

香川大学工学部安全システム建設工学科
宮本研究室

愛媛県庁舎本館常時微動計測報告書

目次

1. 概要	
1. 1 調査建物概要	1
1. 2 調査目的	1
2. 常時微動計測	
2. 1 計測概要	2
2. 2 計測結果	15
3. まとめ	21
謝辞	21

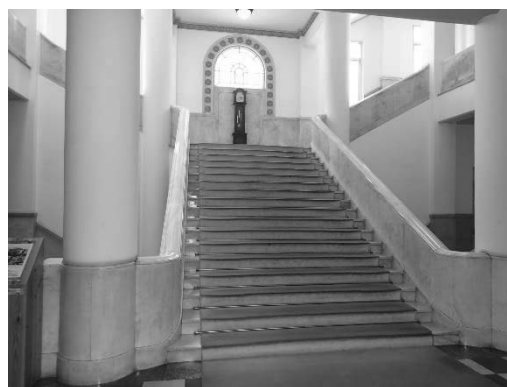
1. 概要

1.1 調査建物概要

調査対象建物は図 1 に示す愛媛県庁舎本館である。所在地は愛媛県松山市一番町、竣工は昭和 4 年である。平面形状が H 型の鉄筋コンクリート造（一部鉄骨鉄筋コンクリート造）である。



(a) 外観



(b) 内観

図 1 建物の概要

1.2 調査目的

建物の耐震性能の検討を行うための基礎データを得ることを目的として、建物および周辺地盤の常時微動計測を実施する。計測結果から建物や地盤の基本的な振動特性である固有振動数や振動モードを把握する。

2. 常時微動計測

2.1 計測概要

常時微動とは振動源から伝搬された原因が特定できない入力による建物の微小振動である。常時微動の時刻歴波形を計測し解析することにより、建物の振動特性を評価できる。常時微動計測は非破壊で実建物のデータが得られるという利点がある。計測には図 2 に示す携帯型高感度振動計（SPC51）、センサーとしてサーボ型速度計（VSE-15D）7 台、スイッチボックス（JP-616C-5）を用いた。ノートパソコンに接続された SPC51 に 7 台の VSE-15D をそれぞれ接続する。設置位置や方向を変えて計 4 パターンの計測を行った。

各ケースにおける速度計の設置位置と設置状況を図 3～14 に示す。CASE-1,4,5 は建物の長手方向（東西方向）、CASE-2,3,6 は短手方向（南北）を計測し、Ch1 を地盤面、Ch2～7 を各階の床にそれぞれ設置した。CASE-1,2 では中央棟、CASE-3,4 では東棟、CASE-5,6 では西棟の各階に設置した。

計測時間は 500 秒、サンプリング間隔は 200Hz とした。計測した計測記録を 40.96 秒間ずつ分割し、交通振動などのノイズが少ない部分を選択しアンサンブル平均を行うとともに、平滑化处理（Hanning Window:50）を施した。得られた記録をフーリエ変換し、地盤面に対する建物内の各計測点のフーリエスペクトル比から建物の固有振動数や振動モードを求めた。



(a) 携帯型高感度振動計



(b) サーボ型速度計

図 2 計測機器

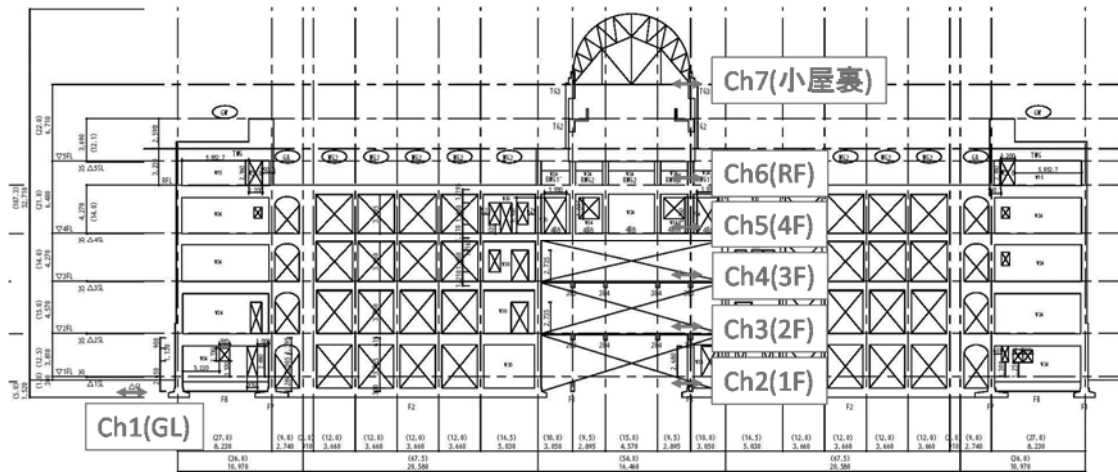
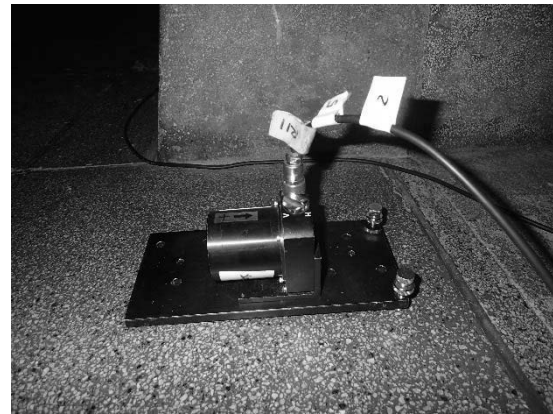


図 3 設置位置 (CASE-1)



(a) Ch1



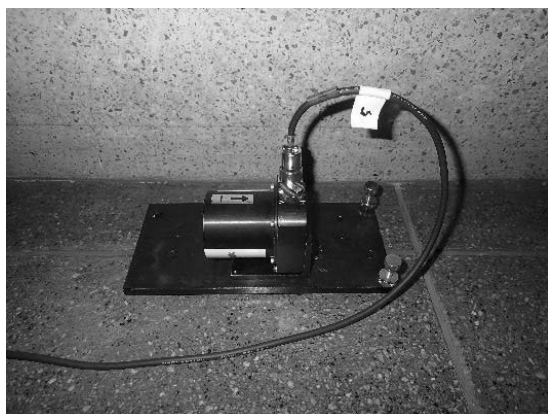
(b) Ch2



(c) Ch3



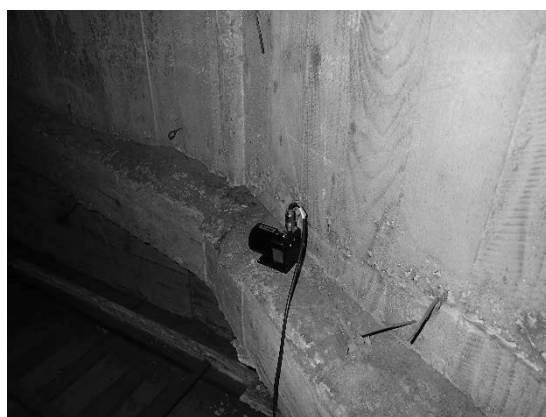
(d) Ch4



(e) Ch5



(f) Ch6



(g) Ch7

図4 設置状況 (CASE-1)

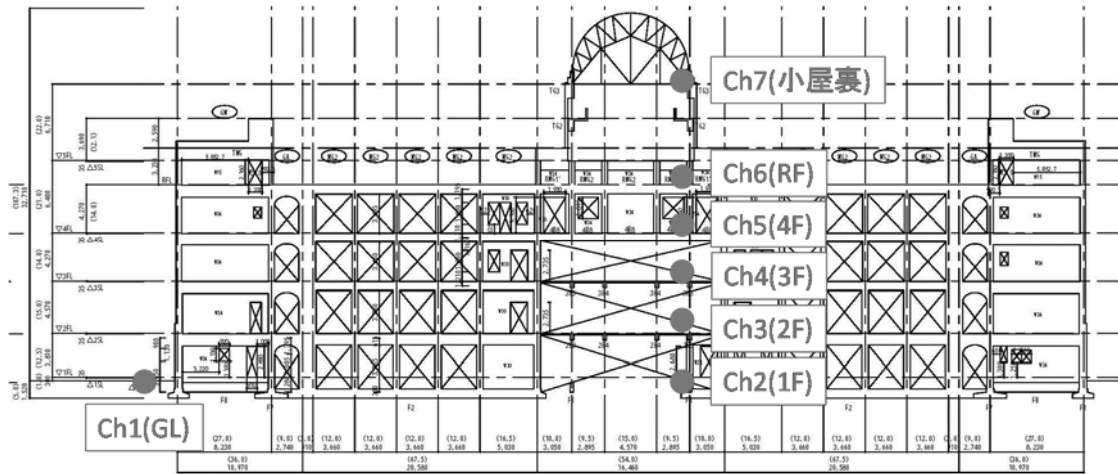
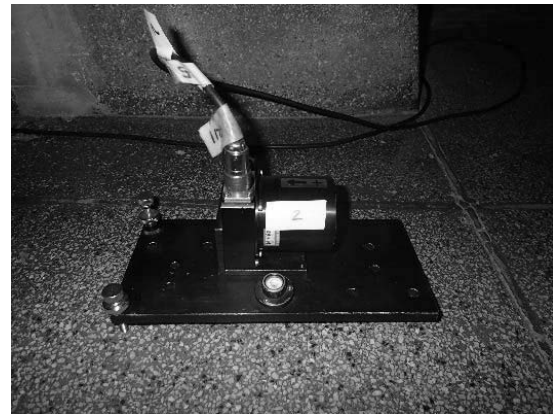


図 5 設置位置 (CASE-2)



(a) Ch1



(b) Ch2



(c) Ch3



(d) Ch4



(e) Ch5



(f) Ch6



(g) Ch7

図 6 設置状況 (CASE-2)

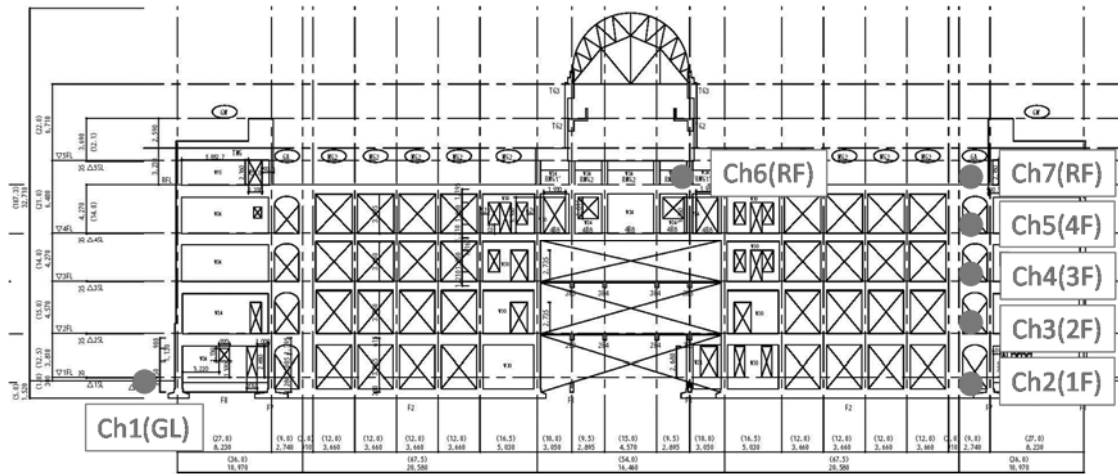


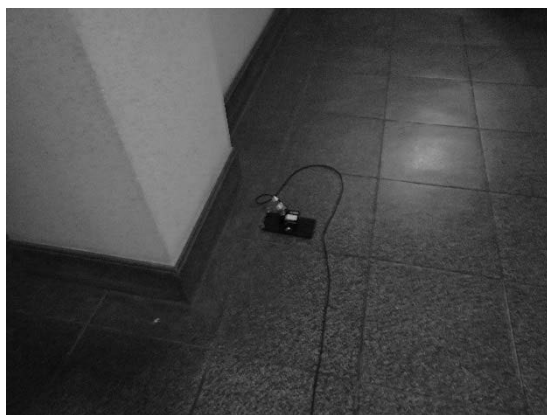
図 7 設置位置 (CASE-3)



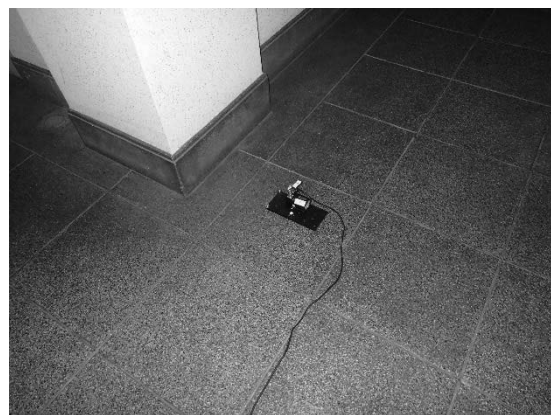
(a) Ch1



(b) Ch2



(c) Ch3



(d) Ch4



(e) Ch5



(f) Ch6

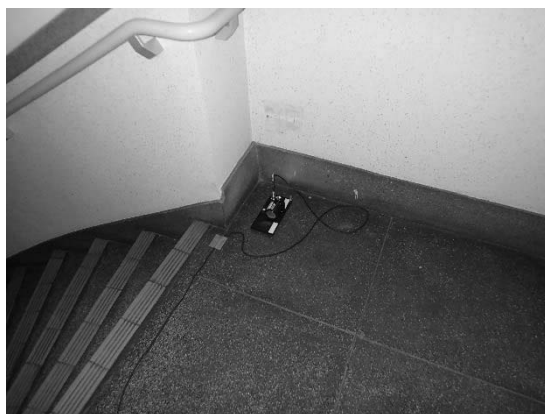


(g) Ch7

図 8 設置状況 (CASE-3)



(e) Ch5



(f) Ch6



(g) Ch7

図 10 設置状況 (CASE-4)

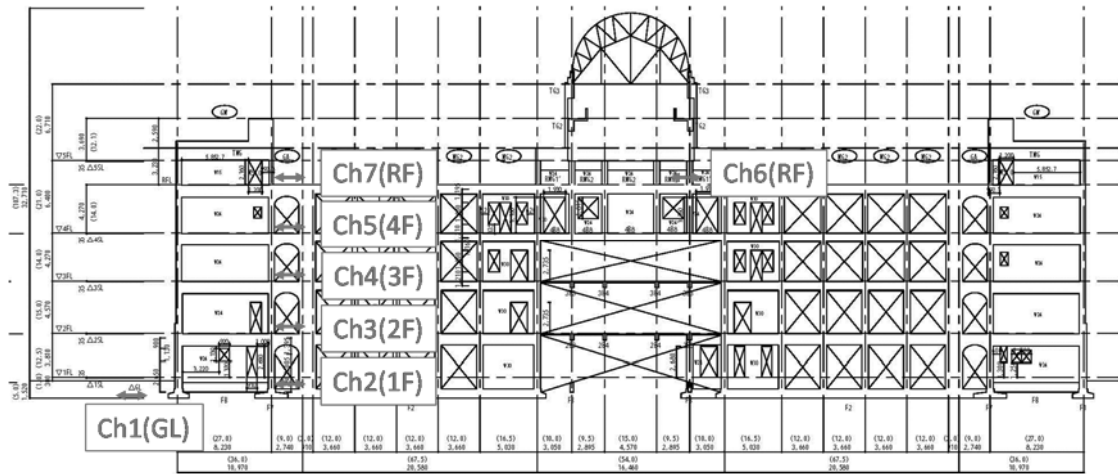


図 11 設置位置 (CASE-5)



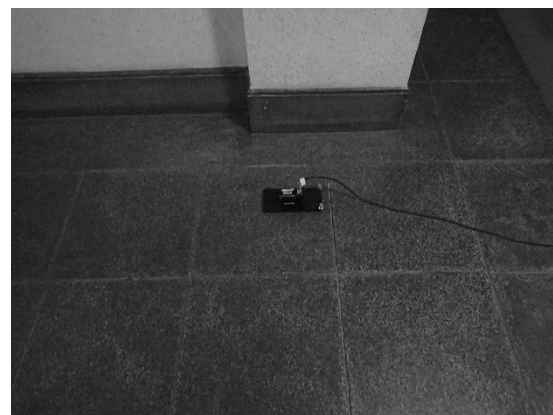
(a) Ch1



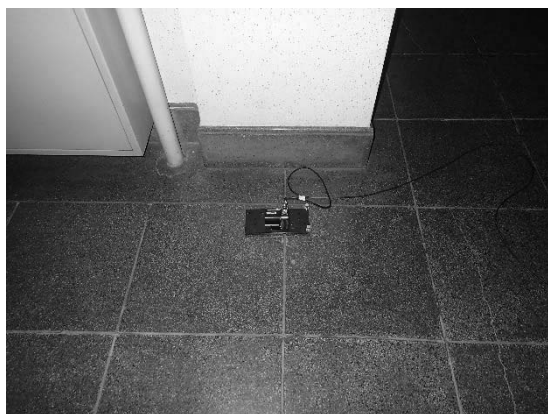
(b) Ch2



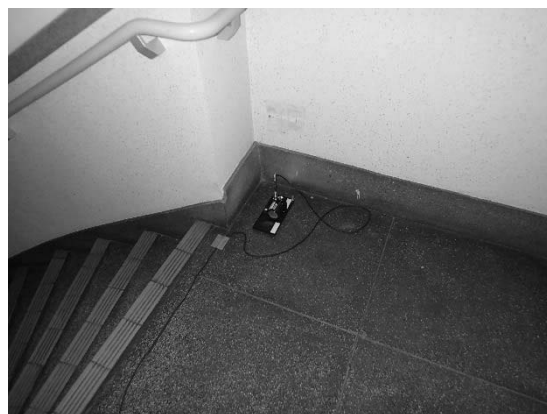
(c) Ch3



(d) Ch4



(e) Ch5



(f) Ch6



(g) Ch7

図 12 設置状況 (CASE-5)

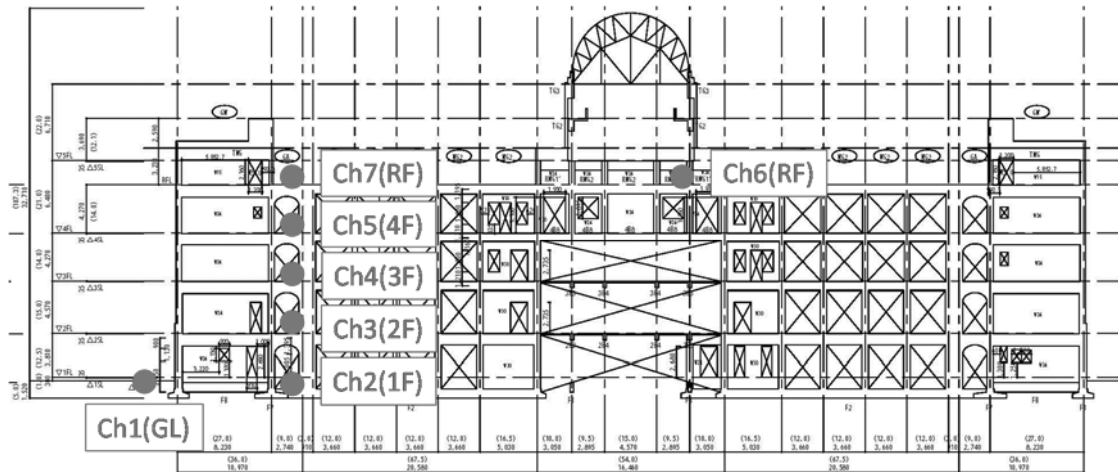


図 13 設置位置 (CASE-6)



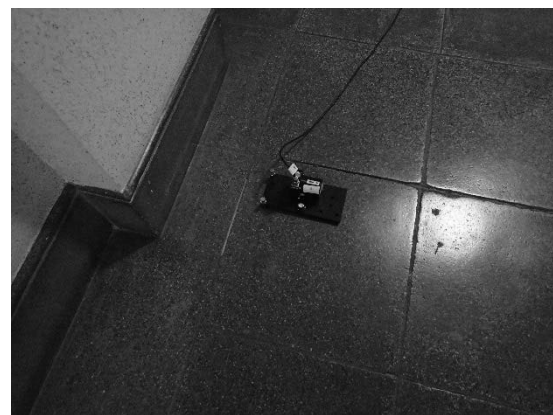
(a) Ch1



(b) Ch2



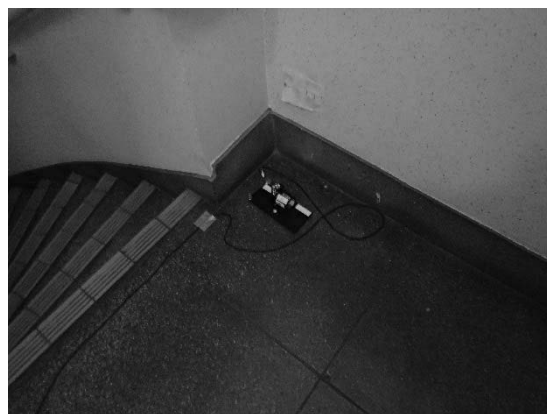
(c) Ch3



(d) Ch4



(e) Ch5



(f) Ch6



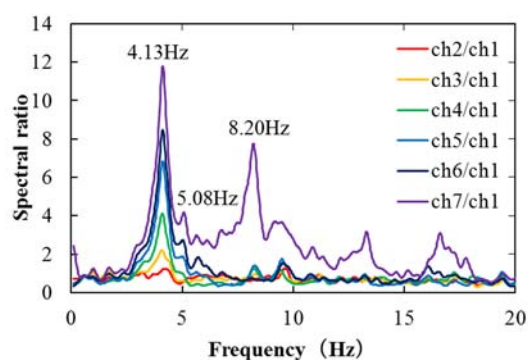
(g) Ch7

図 14 設置状況 (CASE-6)

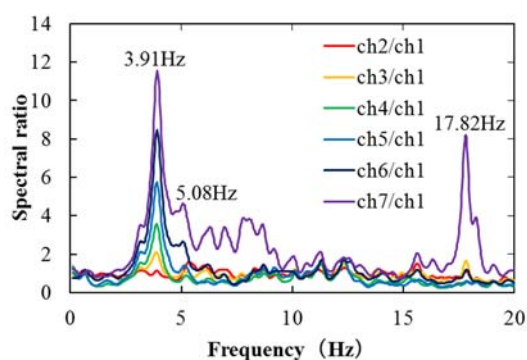
2.2 計測結果

各ケースの計測結果を図 15 に示す。CASE-1,4,5 ではそれぞれ 4.13Hz、4.00Hz、4.05Hz、CASE-2,3,6 ではそれぞれ 3.91Hz、3.86Hz、3.86Hz にピークがあり、中央棟、東棟、西棟ともに 1 次固有振動数は概ね等しく、一体となって挙動していることがわかる。また、各棟とも両方向の 1 次固有振動数が概ね等しいことがわかる。

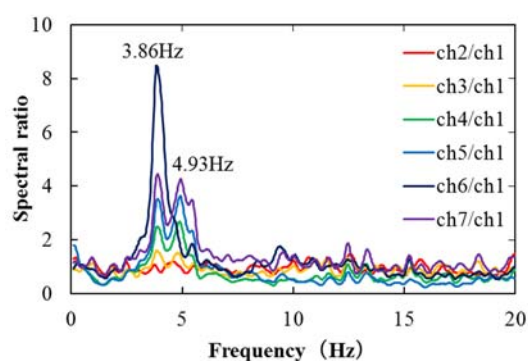
CASE-1～6 の 1 次固有振動数における振動モードを図 16～22 に示す。1 次振動モードは概ね逆三角形の形状となっており、中央棟のドーム部も含めて極端に剛性の低い層はないと考えられる。CASE-2,3,6 における 1 次振動モードを合成して作成した各階の平面の振動モードを見ると、各階ともに東棟と西棟に比べて中央棟の振幅が大きく、H 型の平面形状の影響と考えられる。



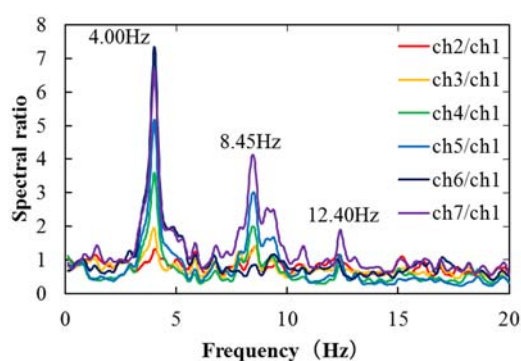
(a) CASE-1



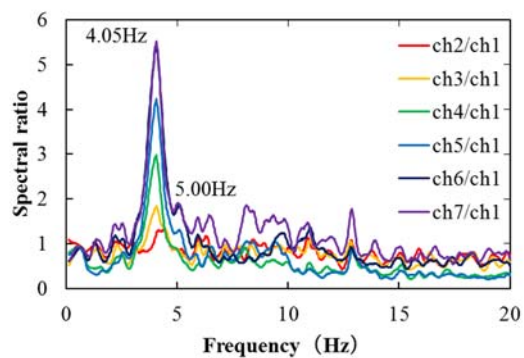
(b) CASE-2



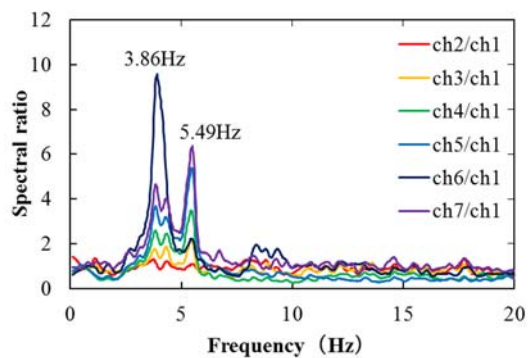
(c) CASE-3



(d) CASE-4



(e) CASE-5



(f) CASE-6

図 15 計測結果

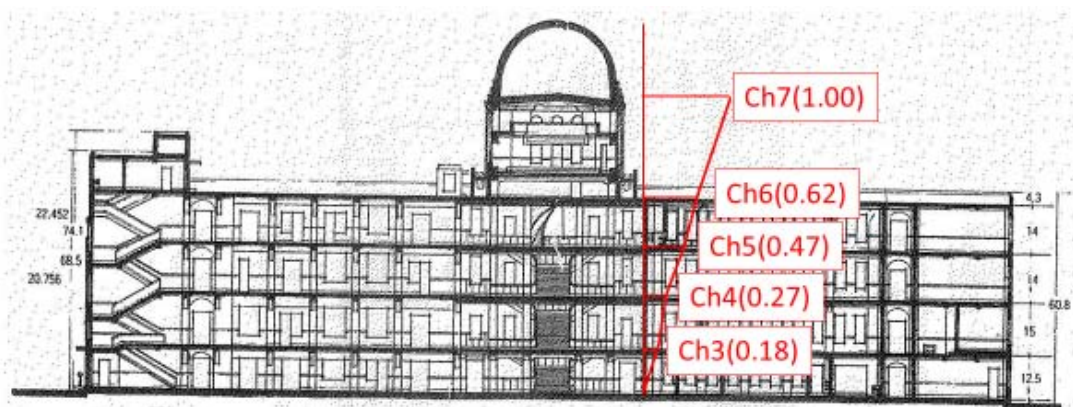


図 16 振動モード (CASE-1、4.13Hz)

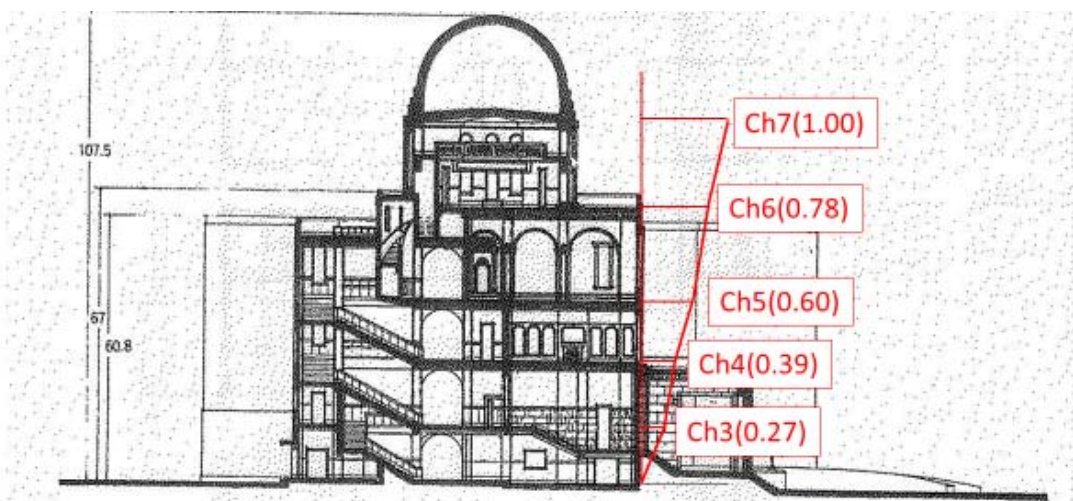


図 17 振動モード (CASE-2、3.91Hz)

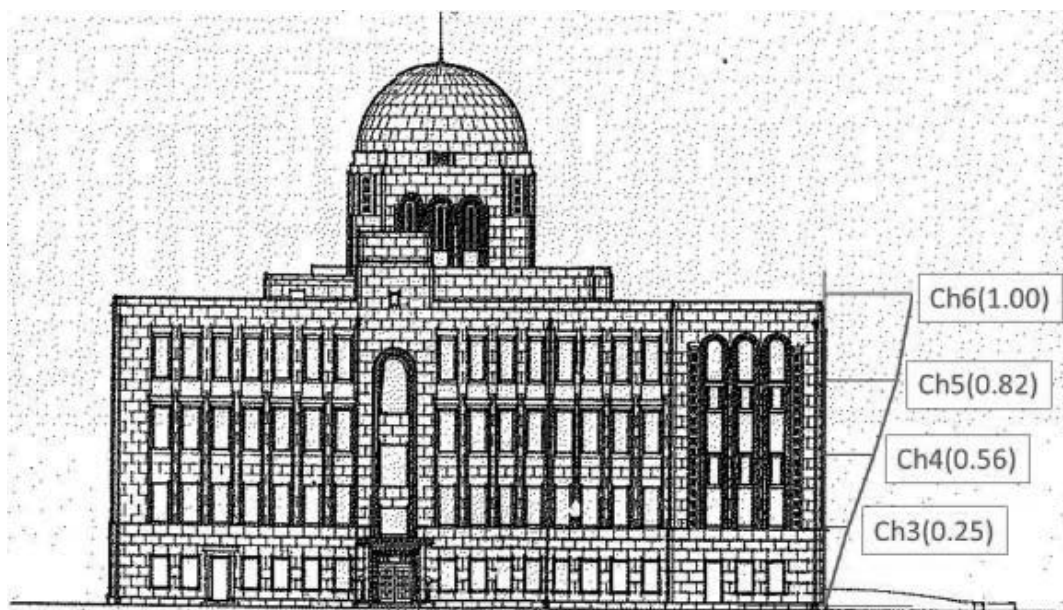


図 18 振動モード (CASE-3、3.86Hz)

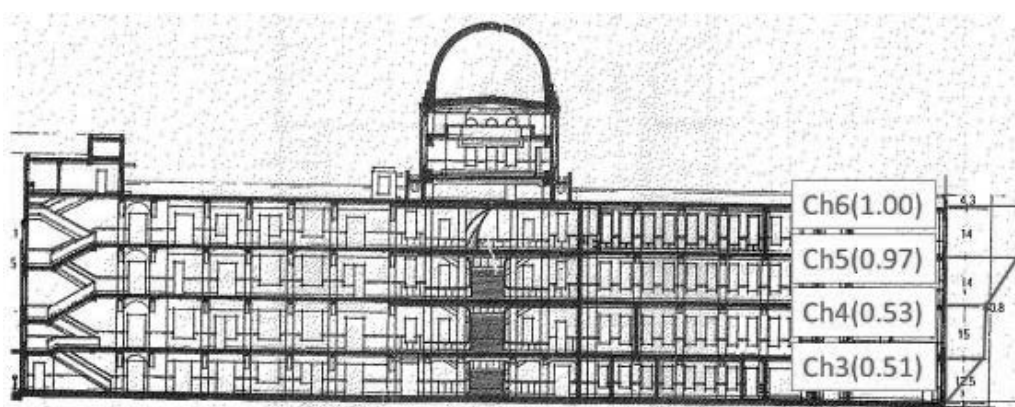


図 19 振動モード (CASE-4、4.00Hz)

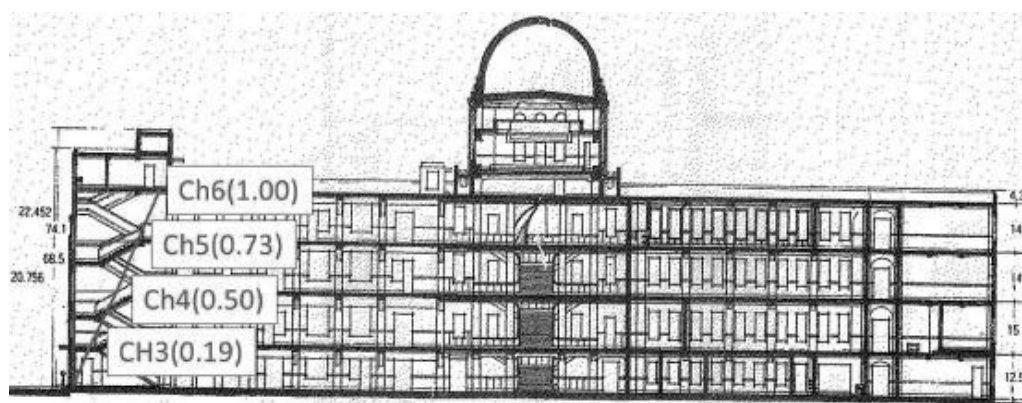


図 20 振動モード (CASE-5、4.05Hz)

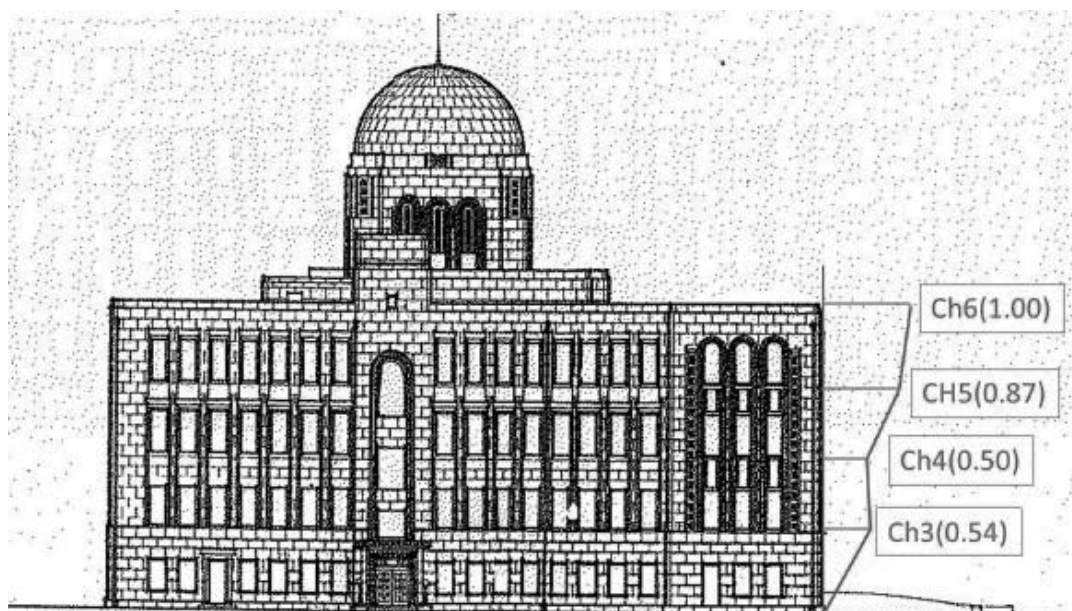
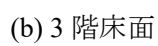
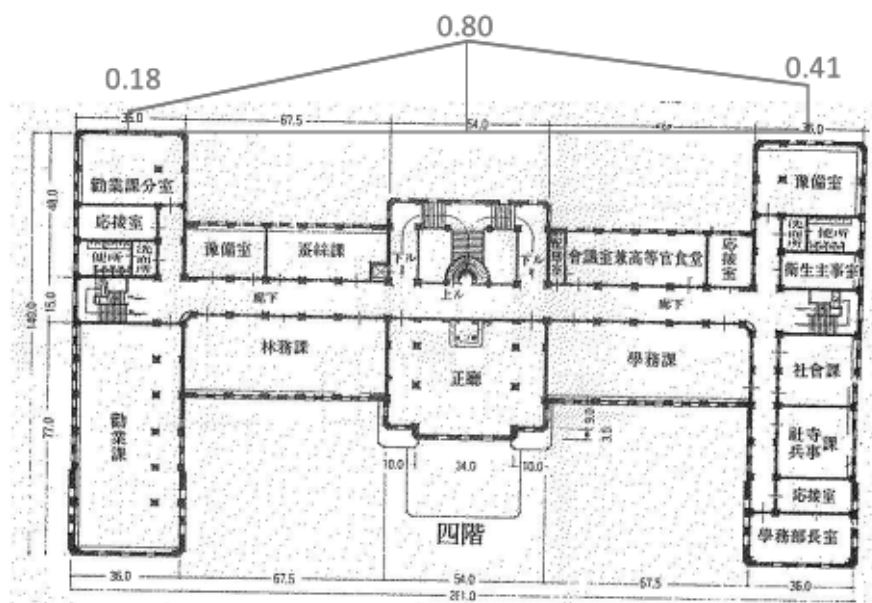
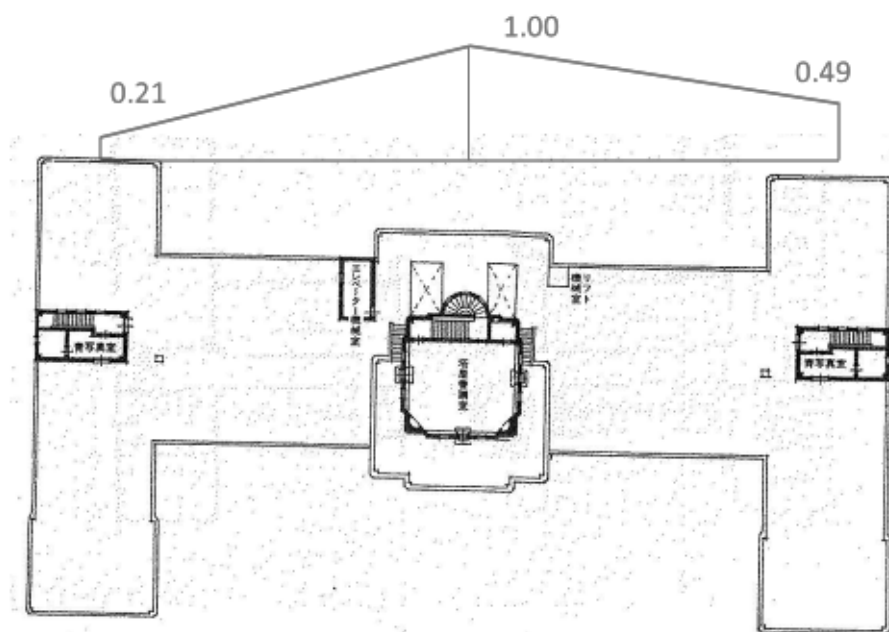


図 21 振動モード (CASE-6、3.86Hz)





(c) 4階床面



(d) 屋上面

図 22 平面の振動モード (3.86Hz)

3. まとめ

愛媛県庁舎本館の常時微動計測を行い、以下のことが明らかとなった。

- 1) 計測結果から推定される愛媛県庁舎本館の1次固有振動数は、中央棟、東棟、西棟の各方面ともに概ね3.9~4.1Hzとなり、一体となって挙動していることがわかる。
- 2) 中央棟、東棟、西棟の各方面の1次振動モードは、概ね逆三角形の形状となっており、中央棟のドーム部も含めて極端に剛性の低い層はないと考えられる。
- 3) 平面の振動モードは各階ともに東棟と西棟に比べて中央棟の振幅が大きく、H型の平面形状の影響が見られる。

謝辞

計測の実施と報告書の作成にあたっては、首都大学東京都市環境学部建築都市コースの多幾山法子准教授、香川大学大学院工学研究科安全システム建設工学専攻修士1年の奥廣晴香さん、森藤祥裕くん、香川大学工学部安全システム建設工学科4年の西本諒くんの協力を得ました。

愛媛県庁舎柱部調査

非破壊検査報告書

平成 28年 10月



有限会社SXR 松山支店

〒791-2112 愛媛県伊予郡砥部町重光389番地2

TEL 089-907-2580

FAX 089-907-2581

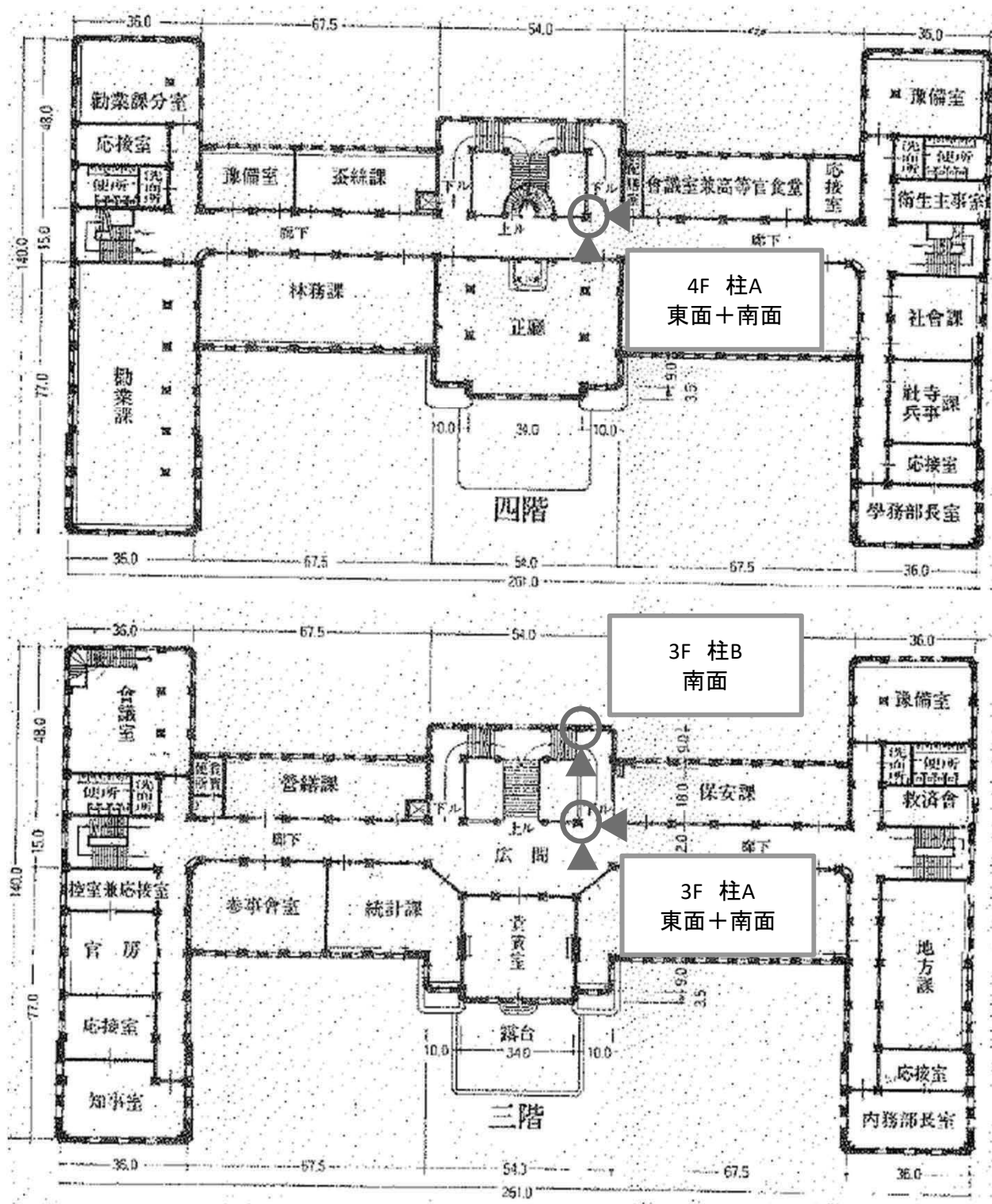
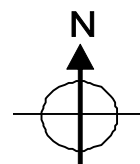
承認	照査	担当

目 次

1.	調査概要		1
2.	調査位置図		2
3.	調査方法		4
4.	調査結果		7
	調査記録		8
	イメージ画像		13
5.	考察		23
添付資料			
	資格証明の写し		24
	使用機器資料		25

1. 調査概要

- 1). 調査名 愛媛県庁内部鉄骨調査
- 2). 調査場所 愛媛県庁 本館（愛媛県松山市一番町）
- 3). 調査日 平成28年10月22日
- 4). 調査箇所 SRC造柱
- 5). 調査内容 柱内部鉄骨調査
- 6). 測定者 兵頭 貞治 （配筋探査技術者、コンクリート診断士）
鵜久森 瑛一郎（配筋探査技術者）
- 7). 使用機器 電磁波レーダー 日本ヒルティ X-Scan PS1000
製造番号:192110006



○ : 調査位置

▲ : 調査面

3. 調査方法

1). 使用機器

機器名	名称・型式	仕様	メーカー名
電磁波レーダー	X-Scan PS1000	探査深度 最大300mm	日本ヒルティ(株)



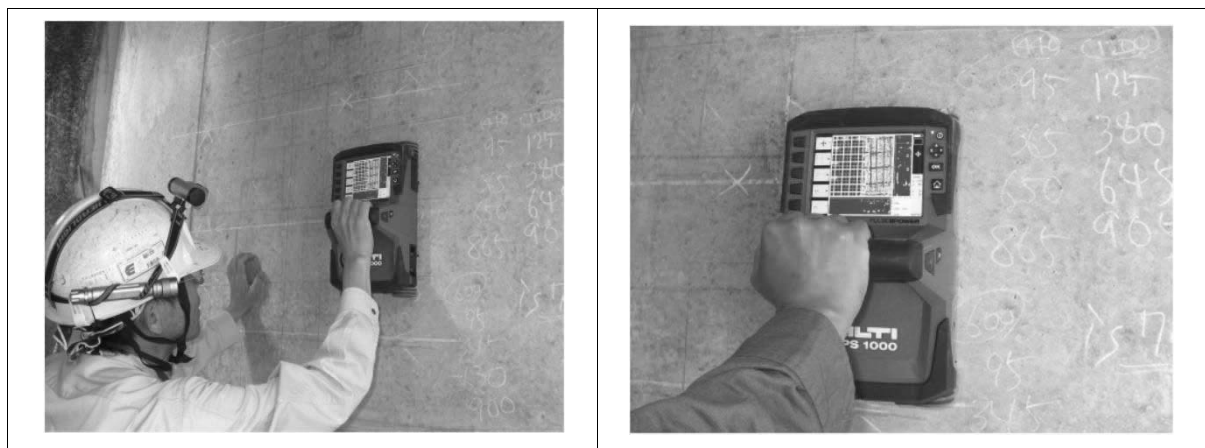
X-Scan PS 1000

X-Scan PS 1000仕様	
探 査 深 さ	最大300mm
鉄 筋 位 置 探 査 精 度	±5mm
か ぶ り 厚 探 査 精 度	±5mm(かぶり厚50～200mm)
探 査 距 離 精 度 (エ ン コ ー ダ)	移動距離500mmの範囲で±5mm以下で、かつ移動距離に対しての誤差は±1%以内
鉄 筋 間 隔 (ピ ッ チ) の 識 別 能 力 (捜 査 方 向 の 分 解 能)	かぶり厚さが75mm未満の場合: 75mm以下の鉄筋を測定可能 かぶり厚さが75mm以上の場合: かぶり厚さの距離以下の鉄筋を測定可能
耐 候 性	IP54
使 用 温 度 範 囲	-10℃ ～ +50℃
バ ッ テ リ ー 寿 命	4h
外 形 寸 法 / 重 量	318×190×143mm/2.5kg

表－1. 機器仕様

2). 探査

3Dスキャン探査は、150mmピッチのグリッドをけがき、そのグリッド上を図3の写真のように適切なスピード(人が歩くスピード程度)を保つようにコンクリート面に押し当てながら走査させる。アンテナ部にはエンコーダーが装着されており、反射データと同時に距離データも取得する。

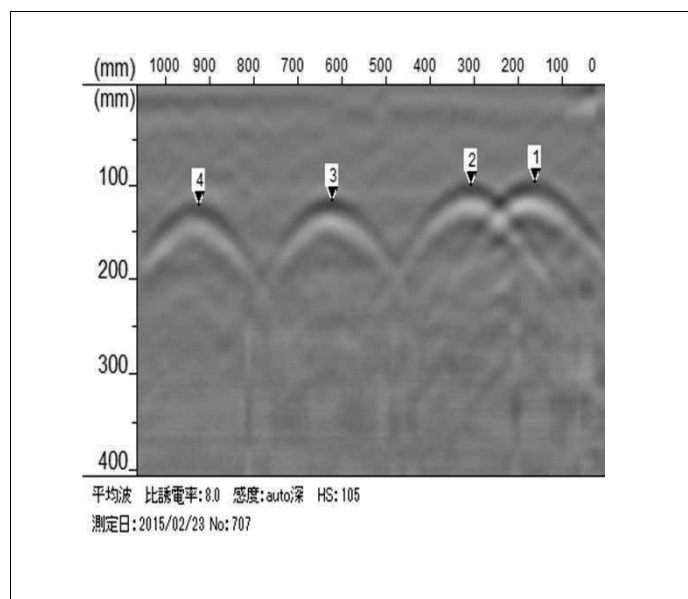


図－3. レーダー探査状況

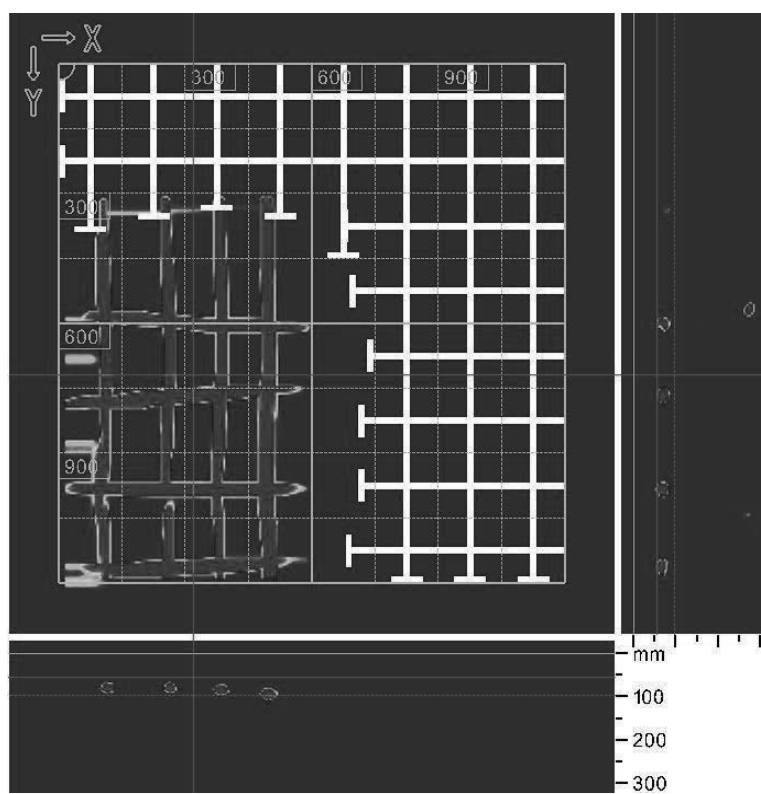
3). 結果表示

一般的な探査レーダーの結果は、図4に示すように電磁波の反射波形の振幅強弱及び極性に応じてカラー又は白黒に色分けされ表示される。

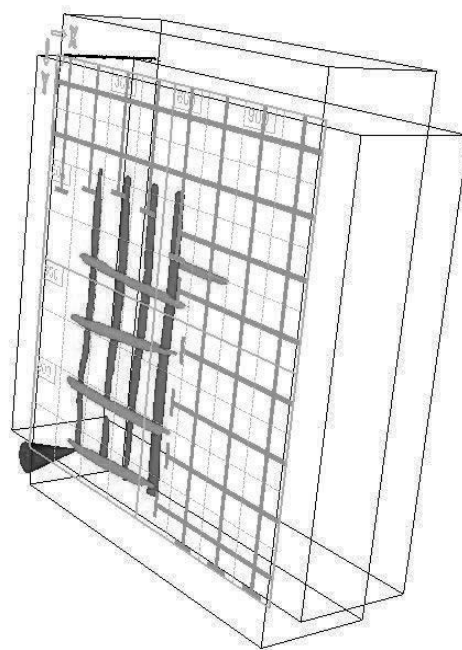
また、PS1000では3つのレーダーアンテナにより図5に示すように測定範囲の内部状況を2D・3D表示することが可能である。



図－4. 一般的な電磁波レーダー結果画像



イメージスキャン画像(2D表示)



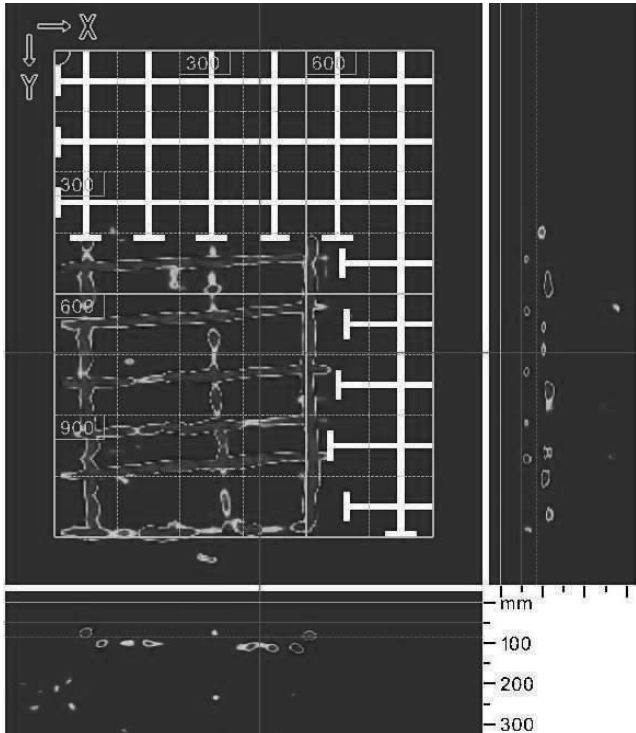
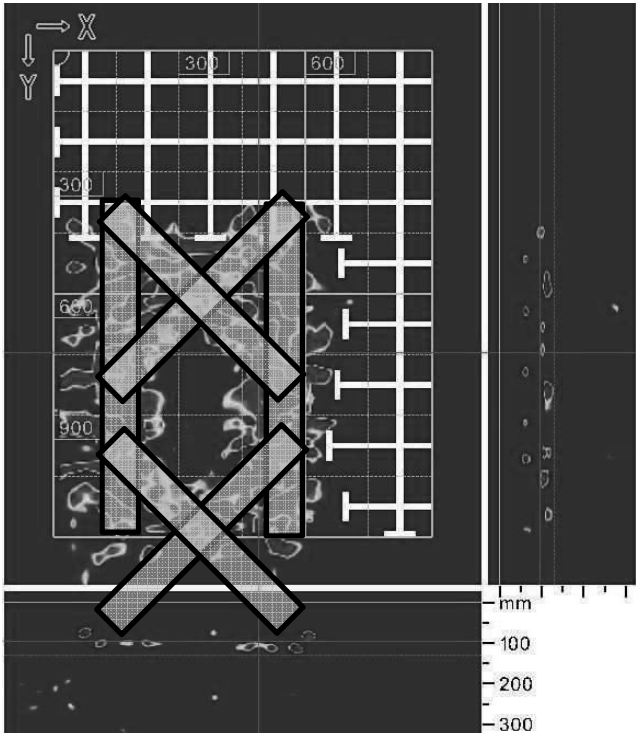
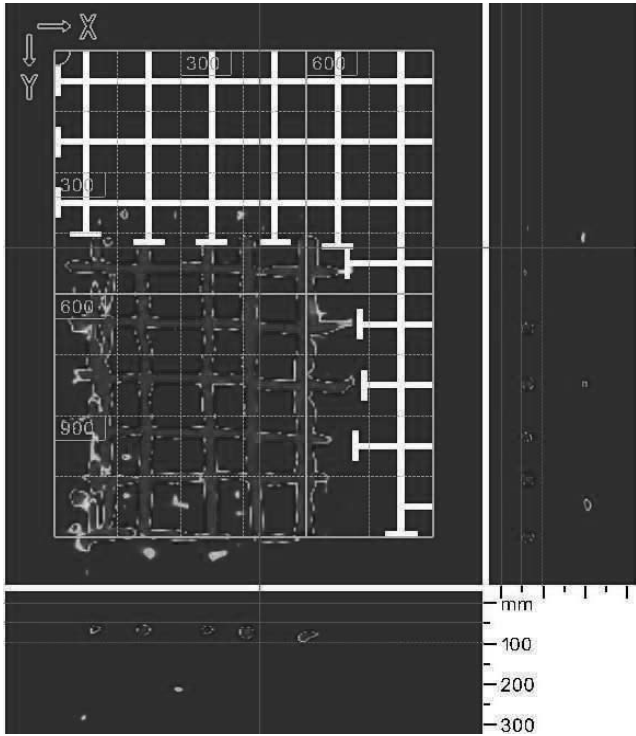
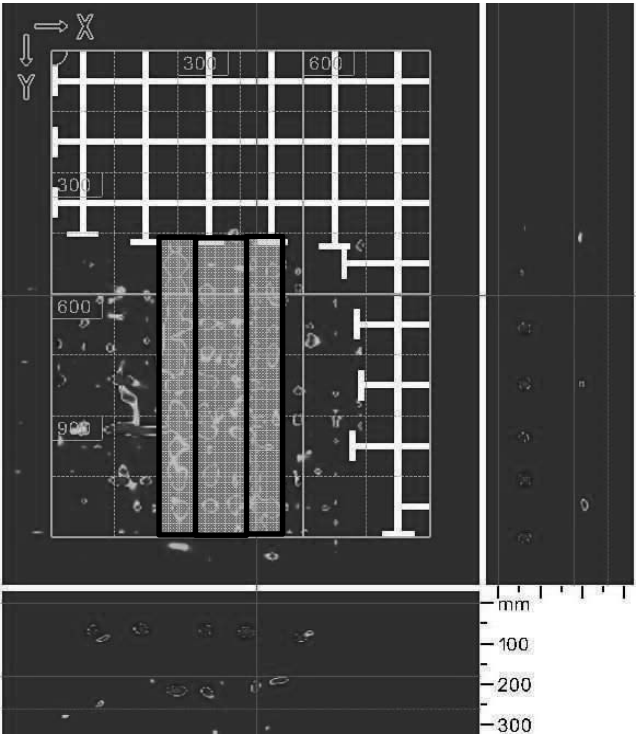
イメージスキャン画像(3D表示)

図－5. X-Scan PS1000画像

4. 調査結果

柱 構 造 調 査 記 録

(単位:mm)

建物名		愛媛県庁 本館		構造		SRC構造				主筋		X		3本				
										フープ		Y		5本				
												6本						
測定位置	階	1		ピッチ	縦筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均		
	位置	A				X	311	222										267
	部位	柱			横筋	Y	122	142	104	133								125
						X	132	148	120	101	155						131	
						Y	135	139	131	108	148						132	
南側面 (X)	鉄筋層																	
																		
	鉄骨層																	
																		
西側面 (Y)	鉄筋層																	
																		
	鉄骨層																	
																		

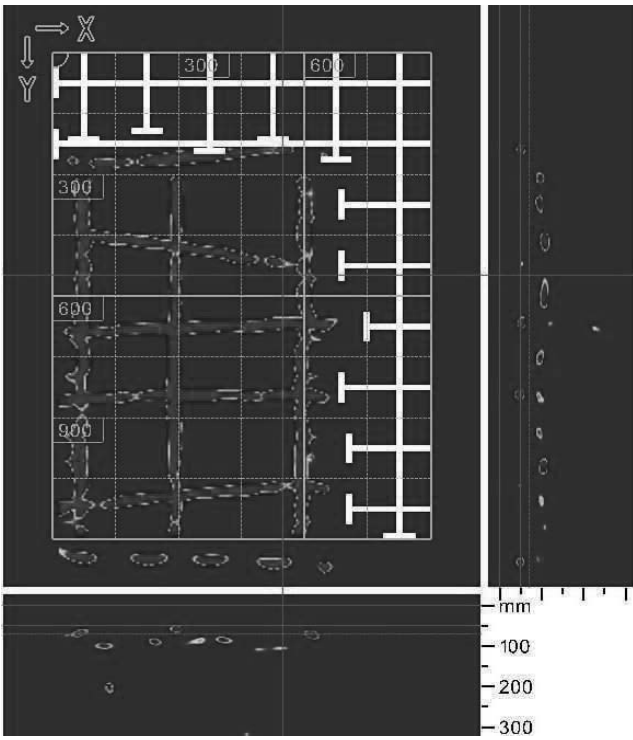
柱 構 造 調 査 記 録

(単位: mm)

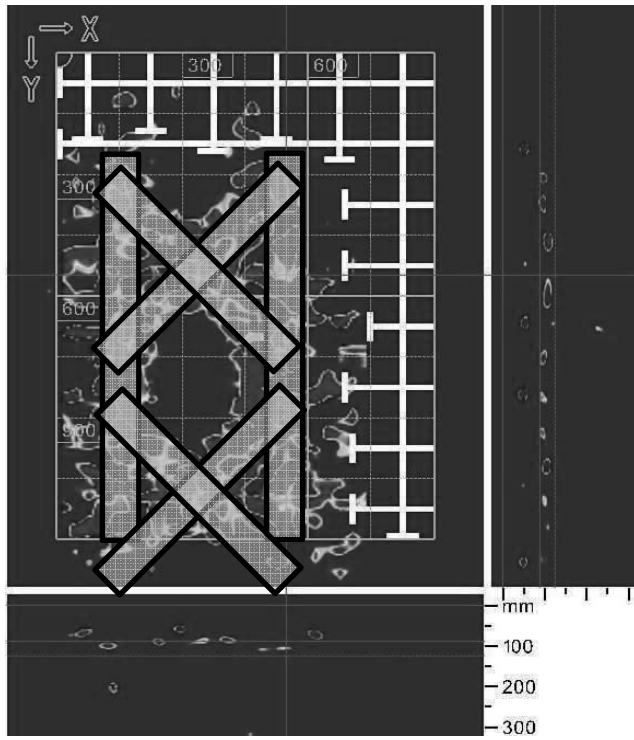
建物名		愛媛県庁 本館	構造		SRC構造				主筋		3本					
									フープ	X	Y	4本				
										5本						
測定位置	階	2	ピッチ	縦筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均	
	位置	A			X	226	306									266
	部位	柱		横筋	Y	157	171	152								160
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均	
					X	190	222	164	258						209	
Y	277	151	196	219									211			

南側面 (X)

鉄筋層

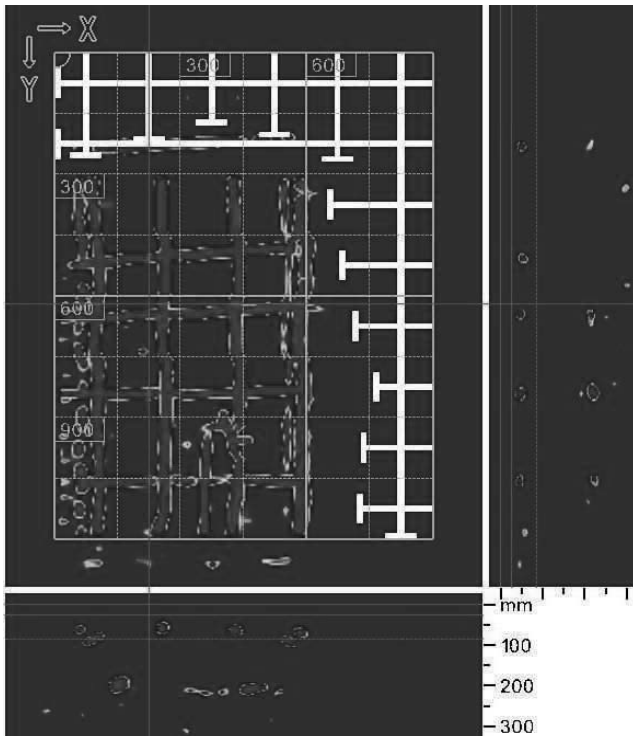


鉄骨層

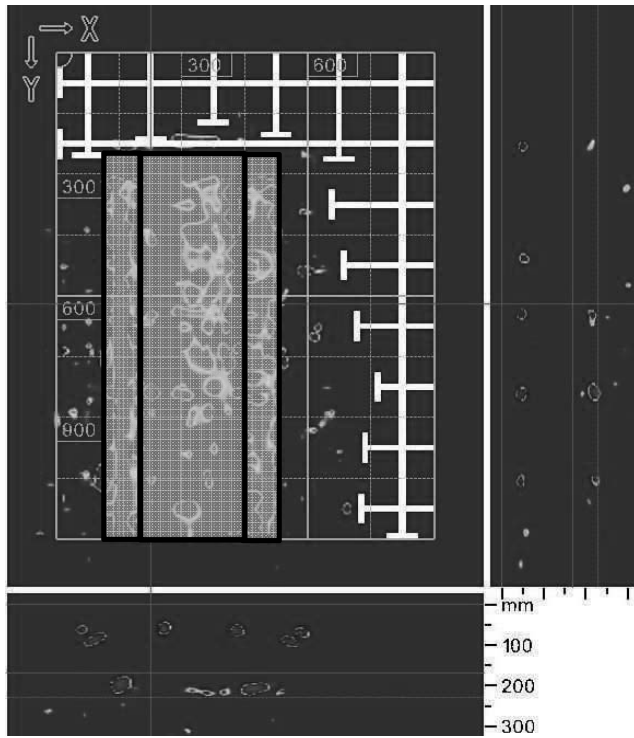


西側面 (Y)

鉄筋層



鉄骨層



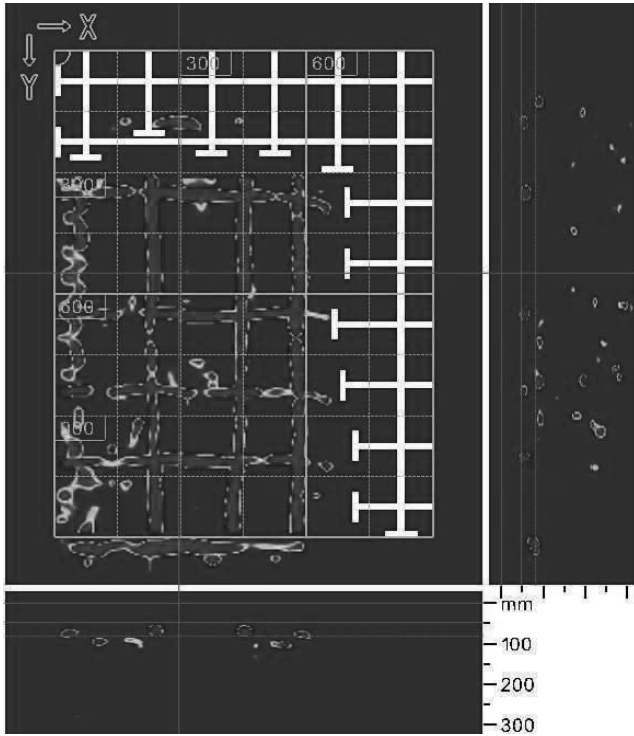
柱構造調査記録

(単位:mm)

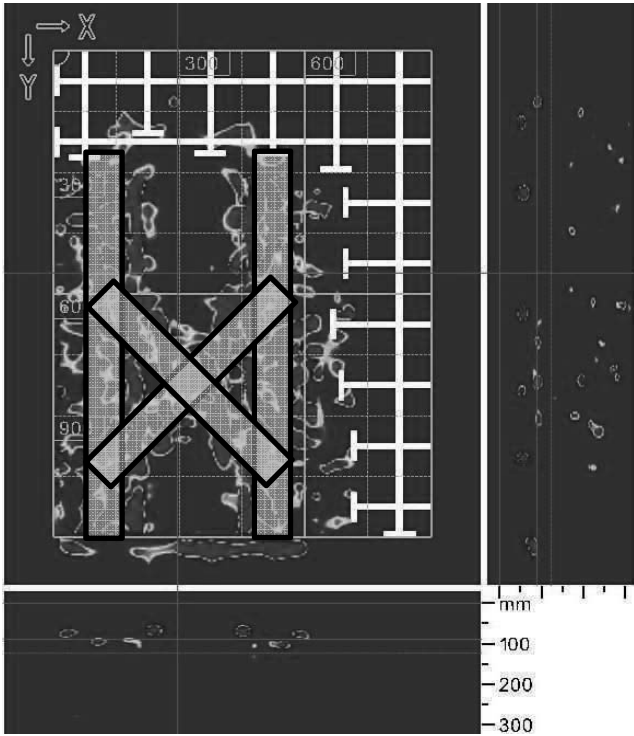
建物名		愛媛県庁 本館		構造		SRC構造				主筋		X		4本				
										フープ		Y		6本				
												5本						
測定位置	階	3		ピッチ	縦筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均		
	位置	A				X	175	216	131									174
	部位	柱			横筋	Y	120	94	104	89	94							100
						X	295	188	169	219								218
						Y	264	193	177	230						216		

南側面 (X)

鉄筋層

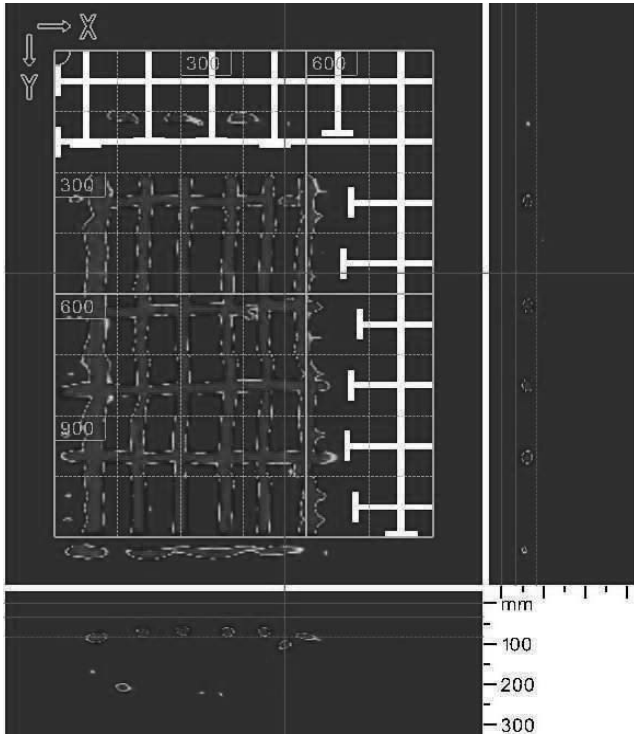


鉄骨層

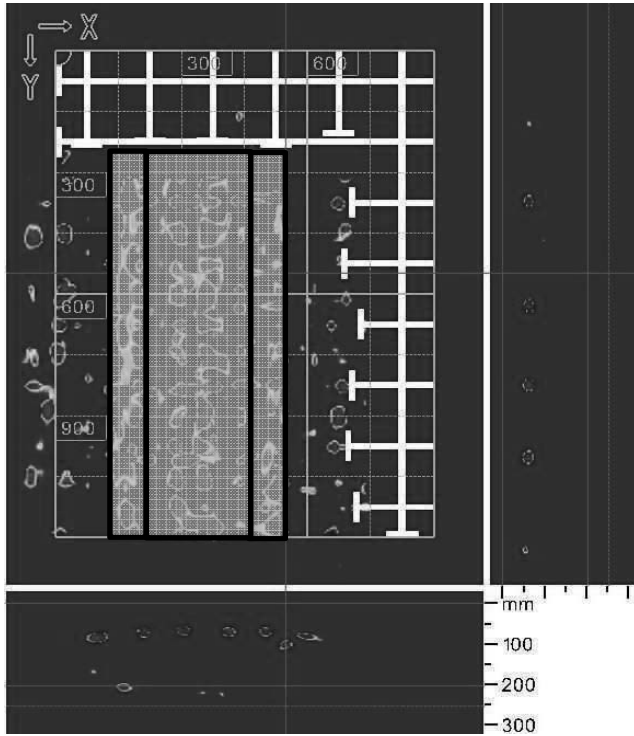


西側面 (Y)

鉄筋層



鉄骨層



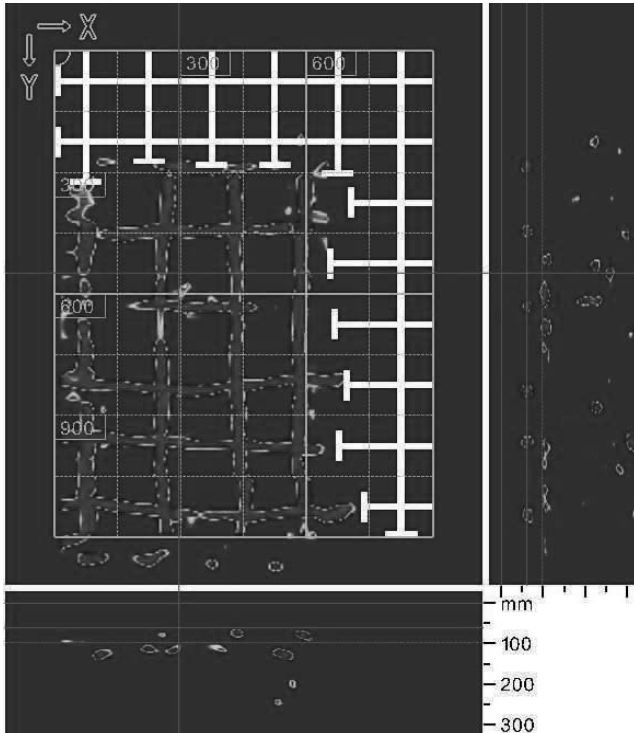
柱 構 造 調 査 記 録

(単位: mm)

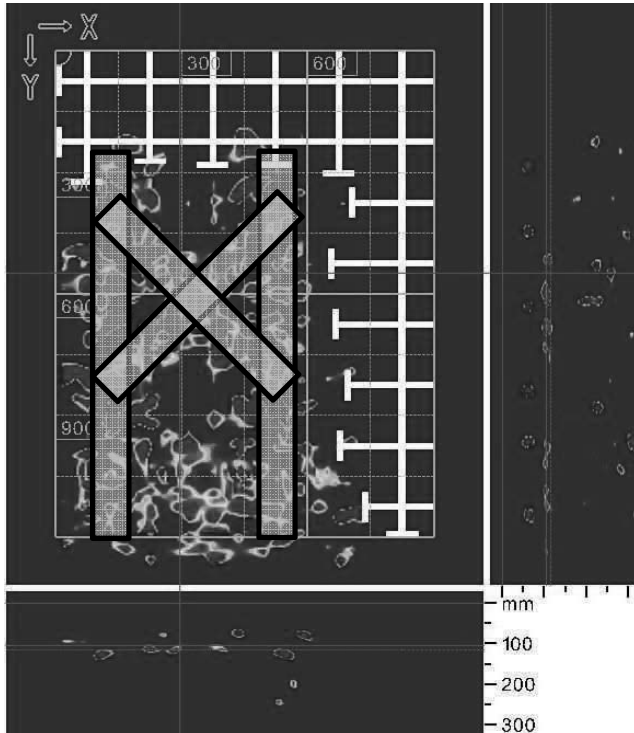
建物名		愛媛県庁 本館	構造	SRC構造					主筋	X	4本				
									フープ	Y	4本				
測定位置	階	4	ピッチ	縦筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均
	位置	A			X	188	177	149							
	部位	柱		横筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均
					X	151	183	209	133	180					
						Y	175	196	182	165	148				

南側面 (X)

鉄筋層

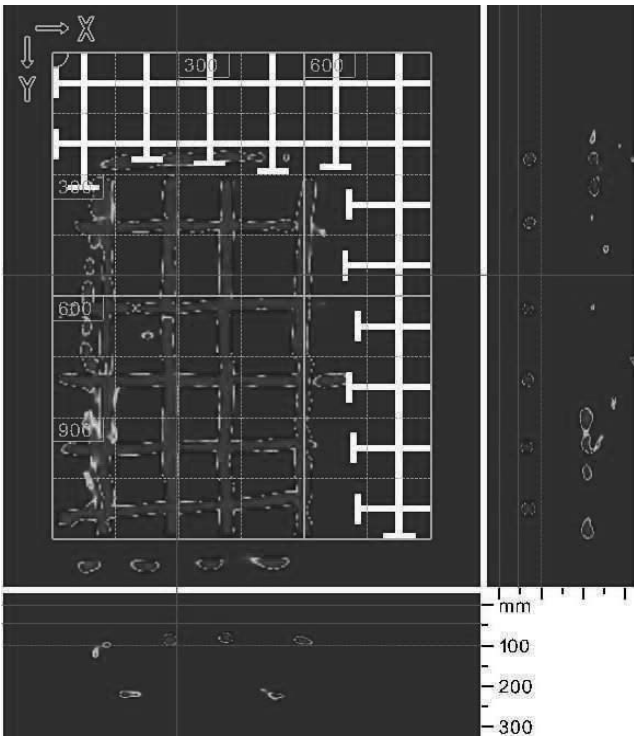


鉄骨層

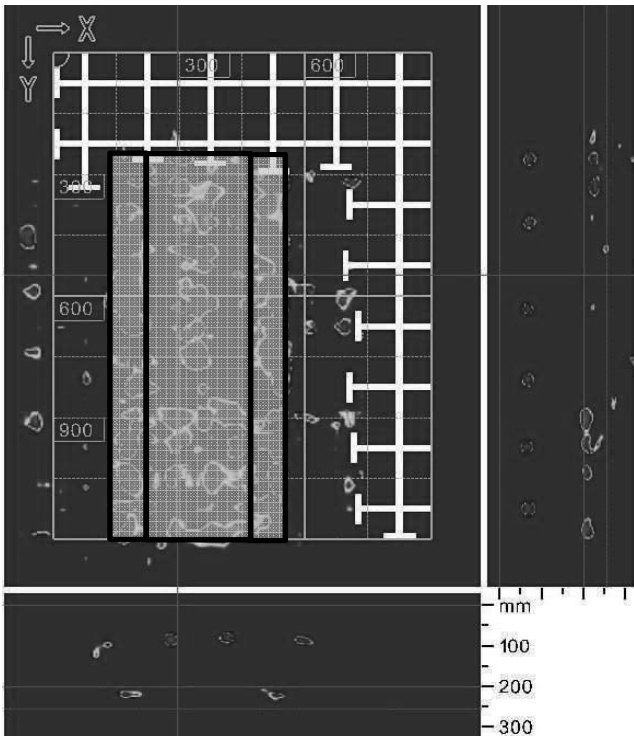


西側面 (Y)

鉄筋層



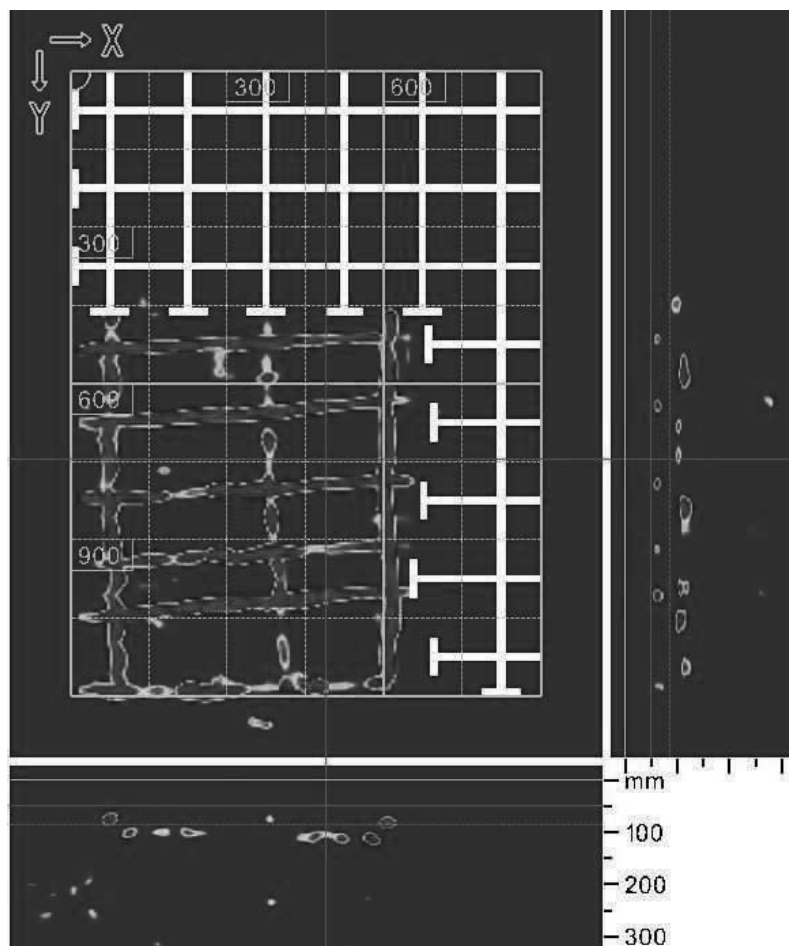
鉄骨層



柱 構 造 調 査 記 録

(単位: mm)

建物名		愛媛県庁 本館	構造		RC構造					主筋	X	4本						
										フープ	Y	-						
										5本								
測定位置	階	3	ピッチ	縦筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均			
	位置	B			X	149	121	116								129		
	部位	柱		横筋		1	2	3	4	5	6	7	8	9	平均			
					X	269	169	219	180						209			
				Y														
	南側面 (X)																	
鉄筋層 深層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		
鉄筋層 鉄骨層																		

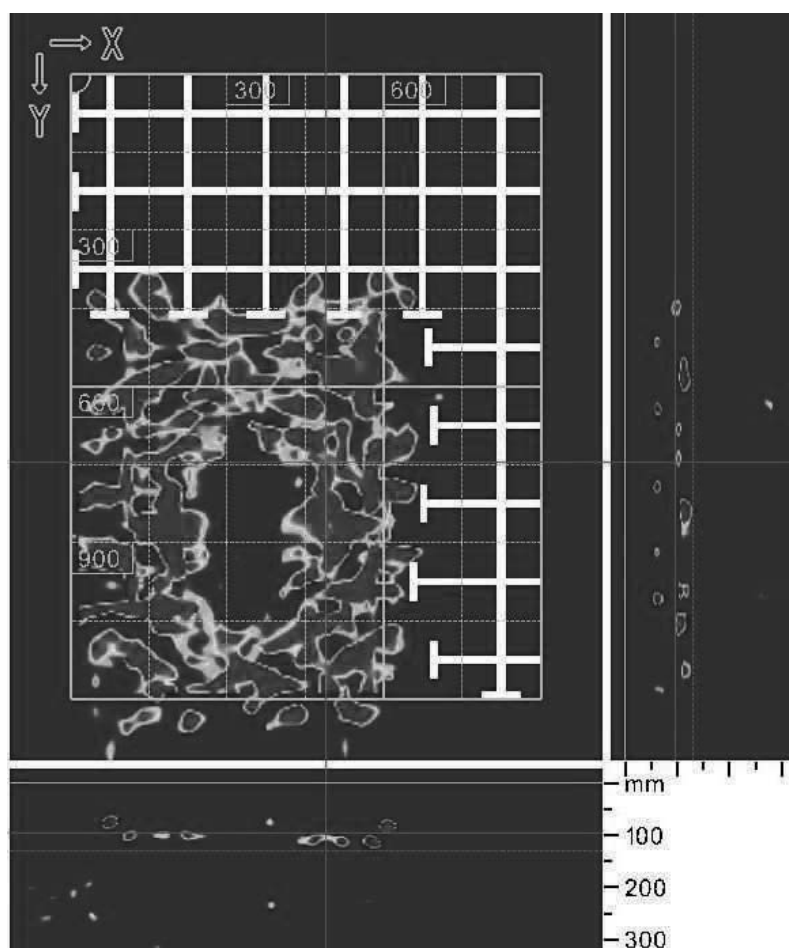


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

1F柱-南側面(X)

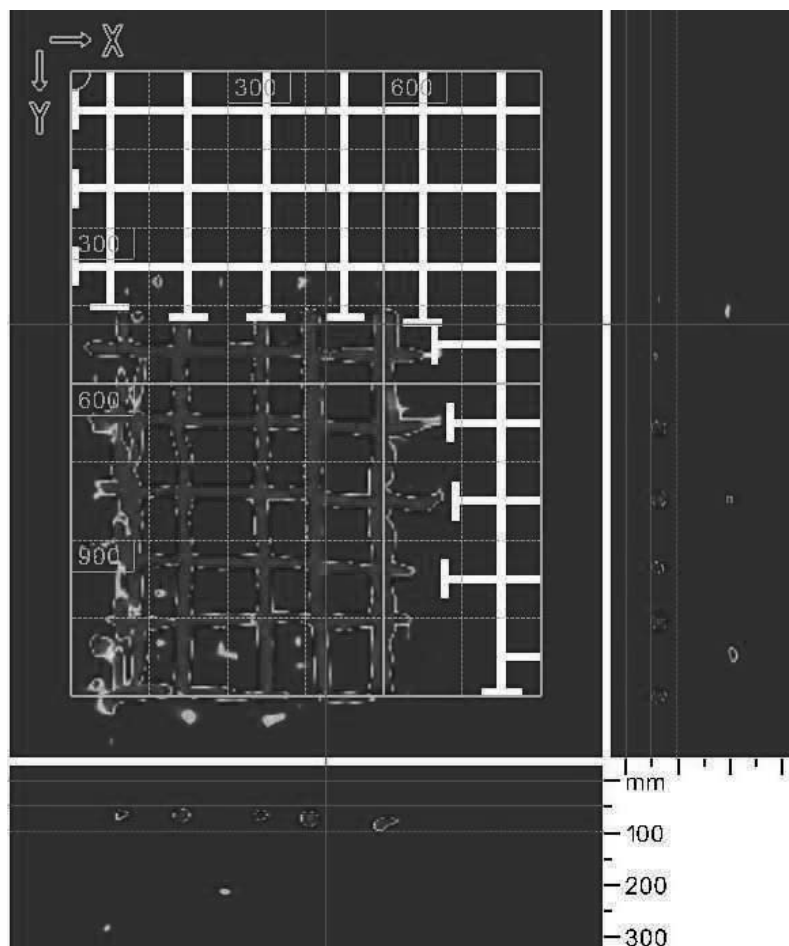


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

1F柱-南側面(X)

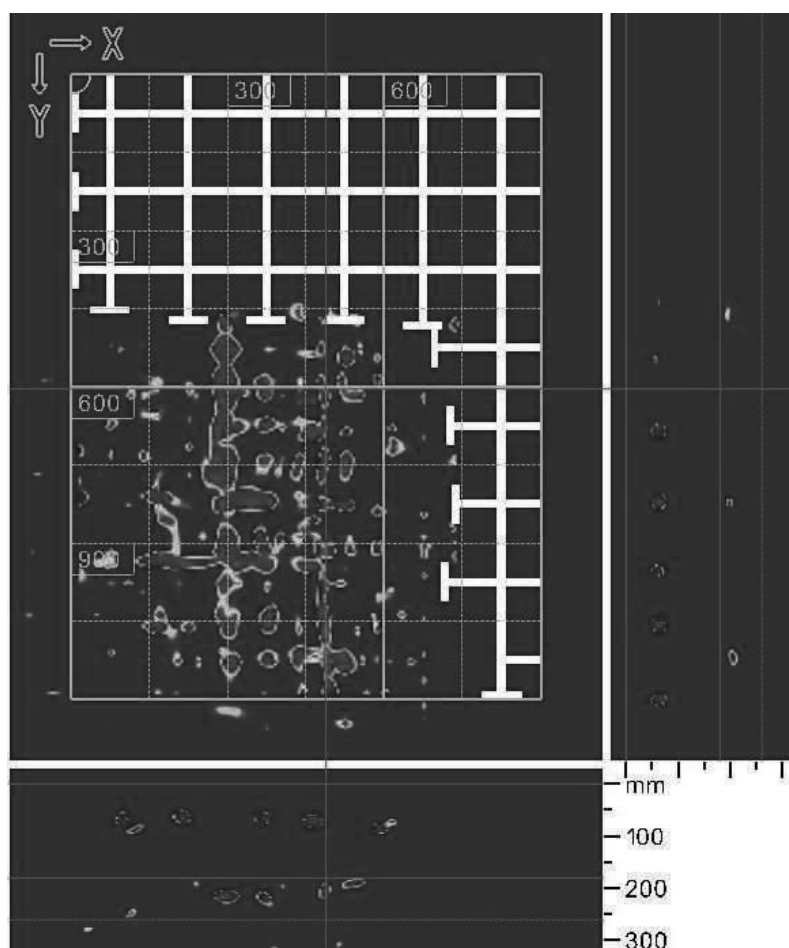


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

1F柱-西側面(Y)

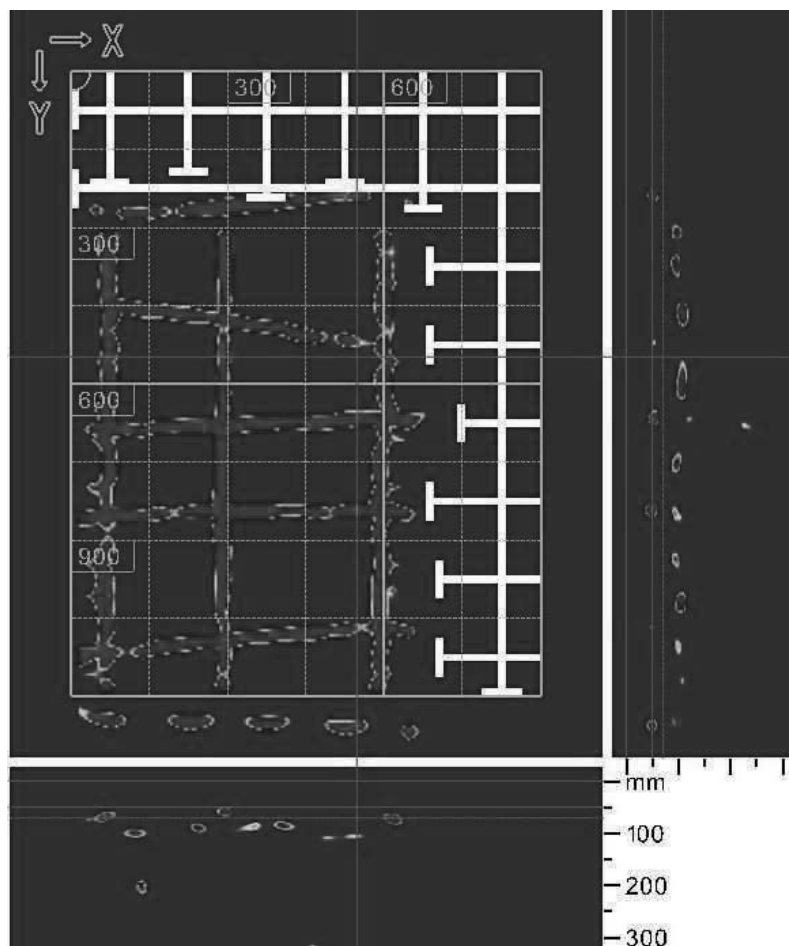


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

1F柱-西側面(Y)

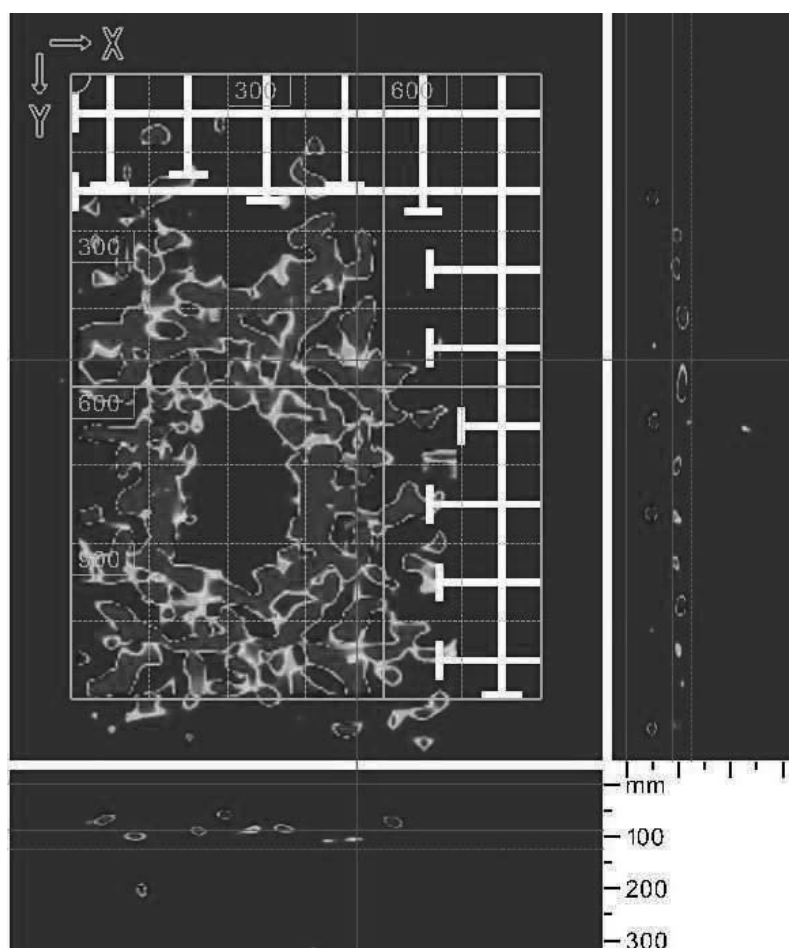


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

2F柱-南側面(X)

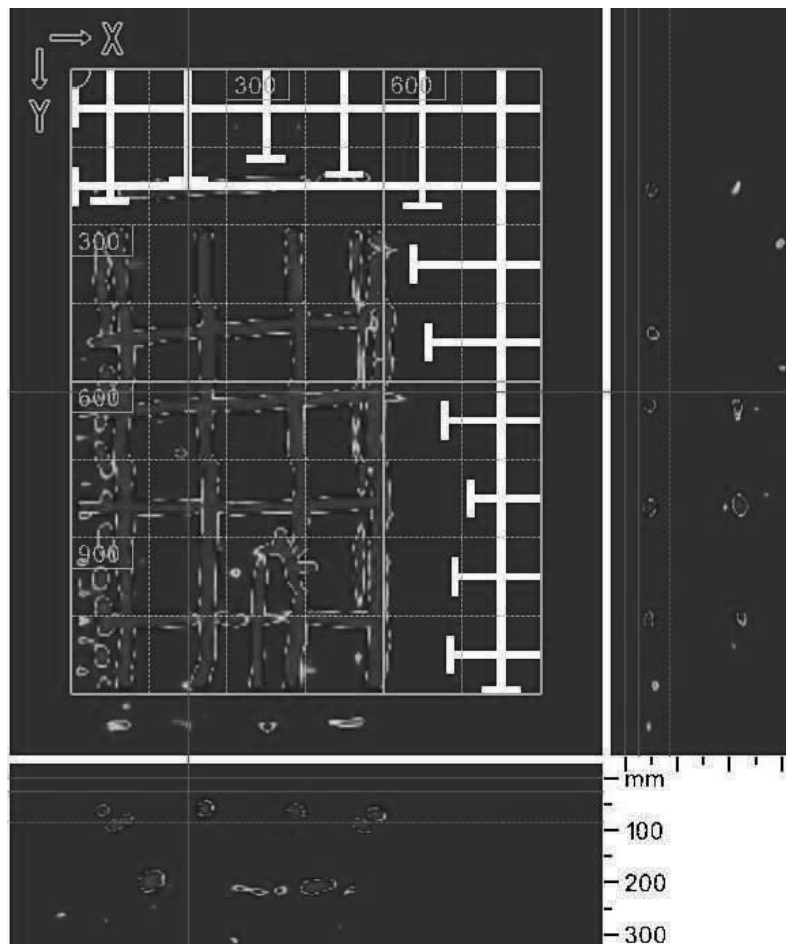


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

2F柱-南側面(X)

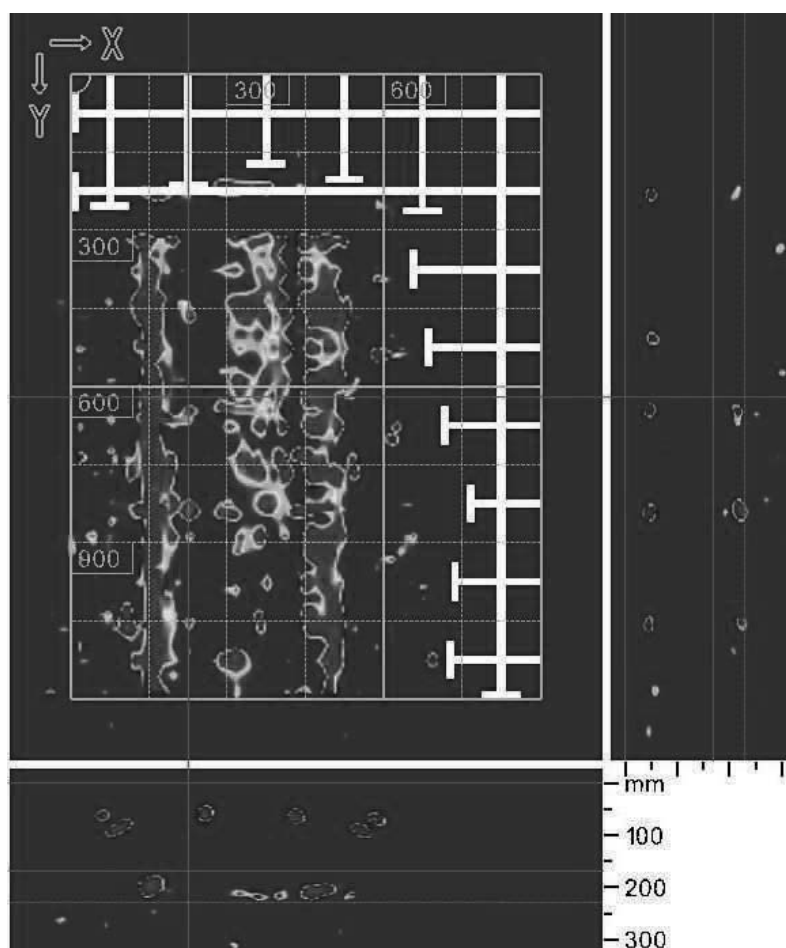


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

2F柱-東側面(Y)

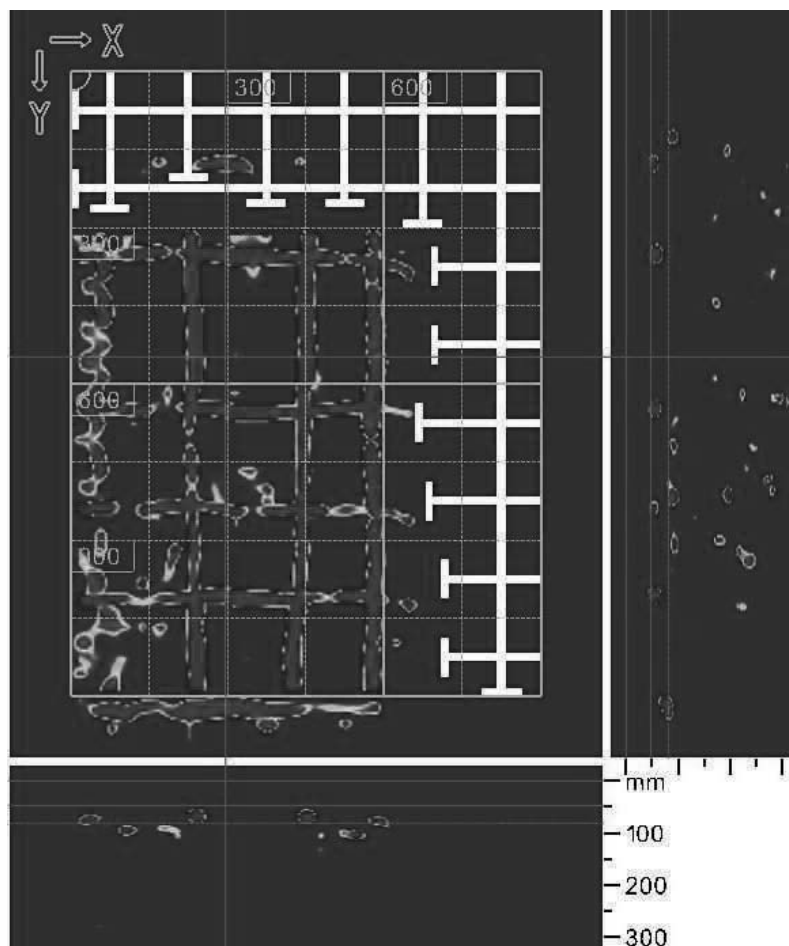


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

2F柱-東側面(Y)

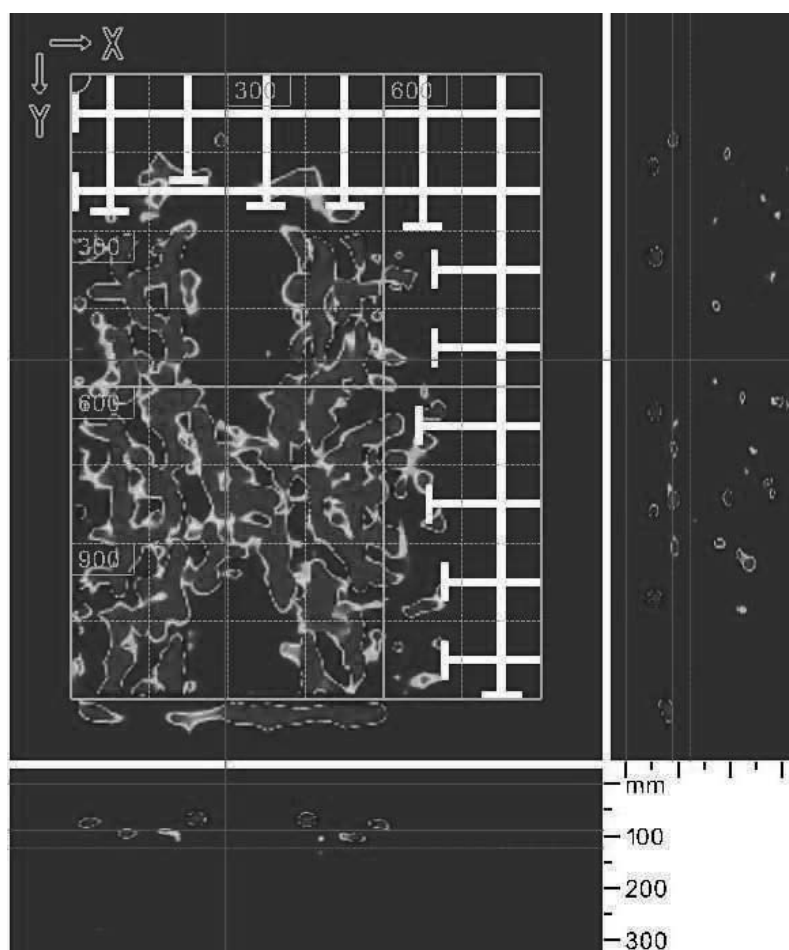


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

3F柱-南側面(X)

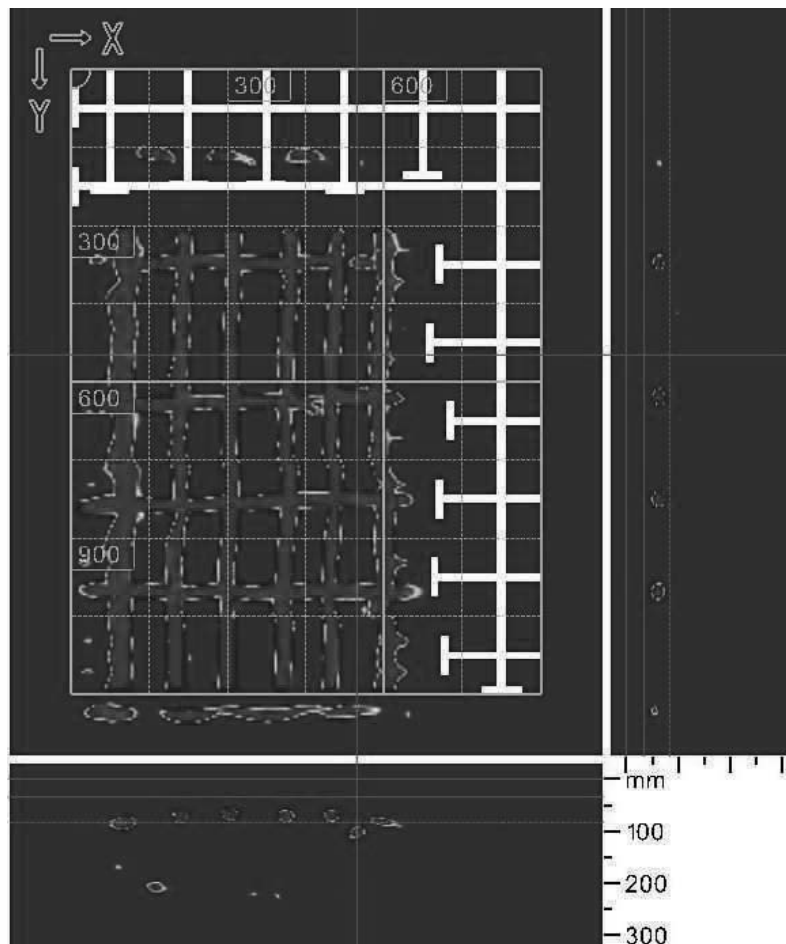


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

3F柱-南側面(X)

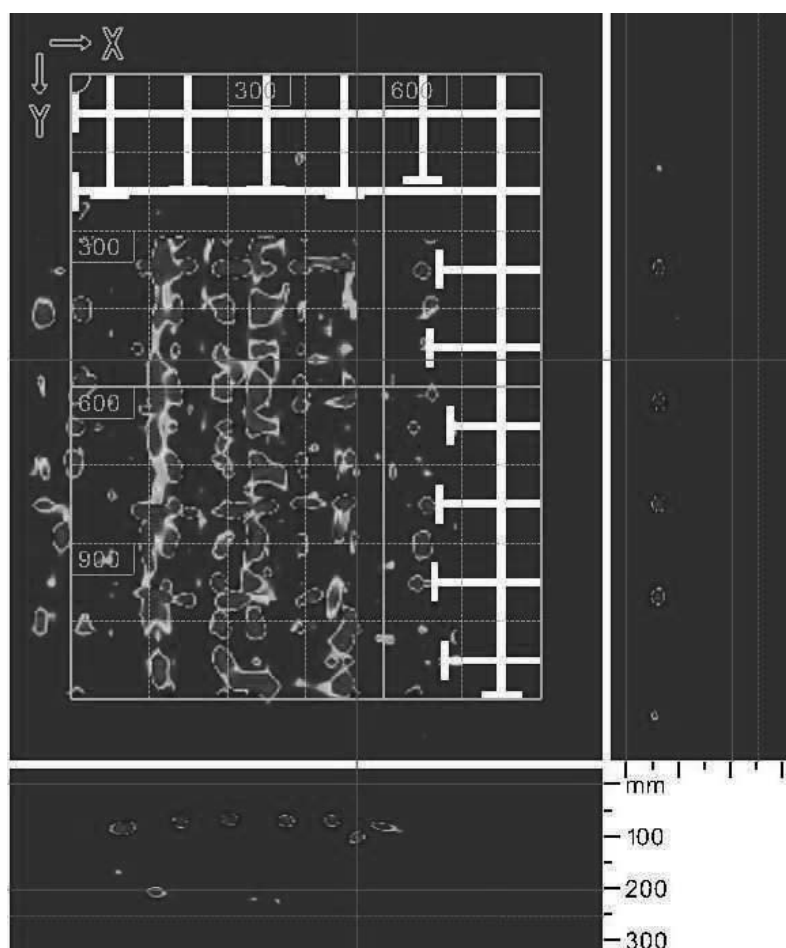


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

3F柱-東側面(Y)

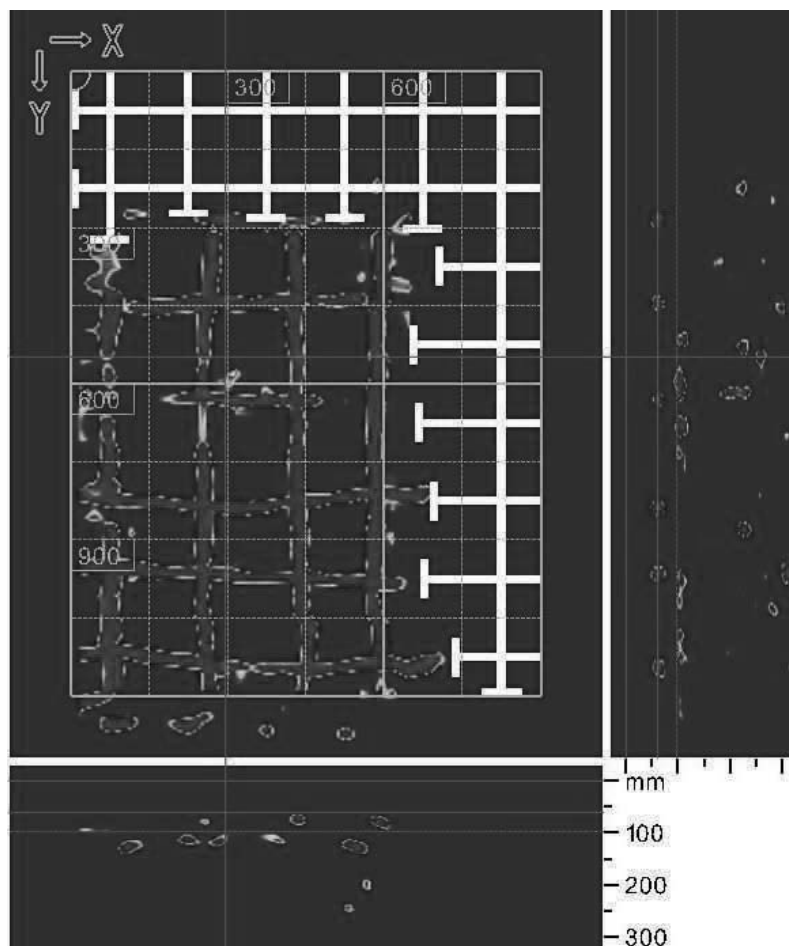


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

3F柱-東側面(Y)

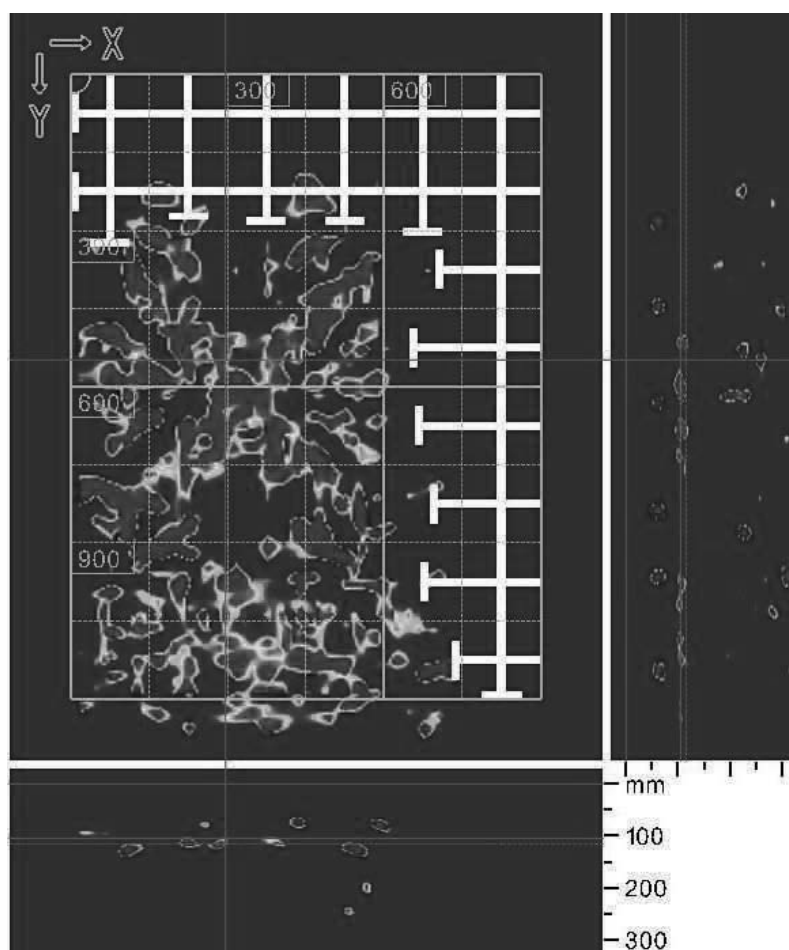


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

4F柱-南側面(X)

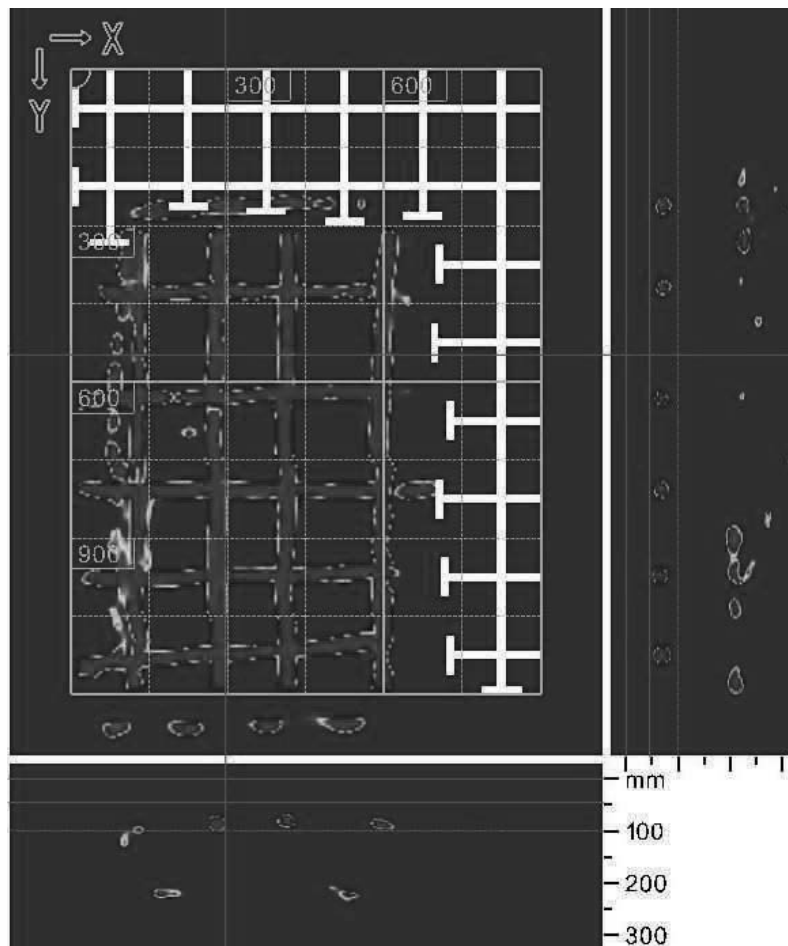


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

4F柱-南側面(X)

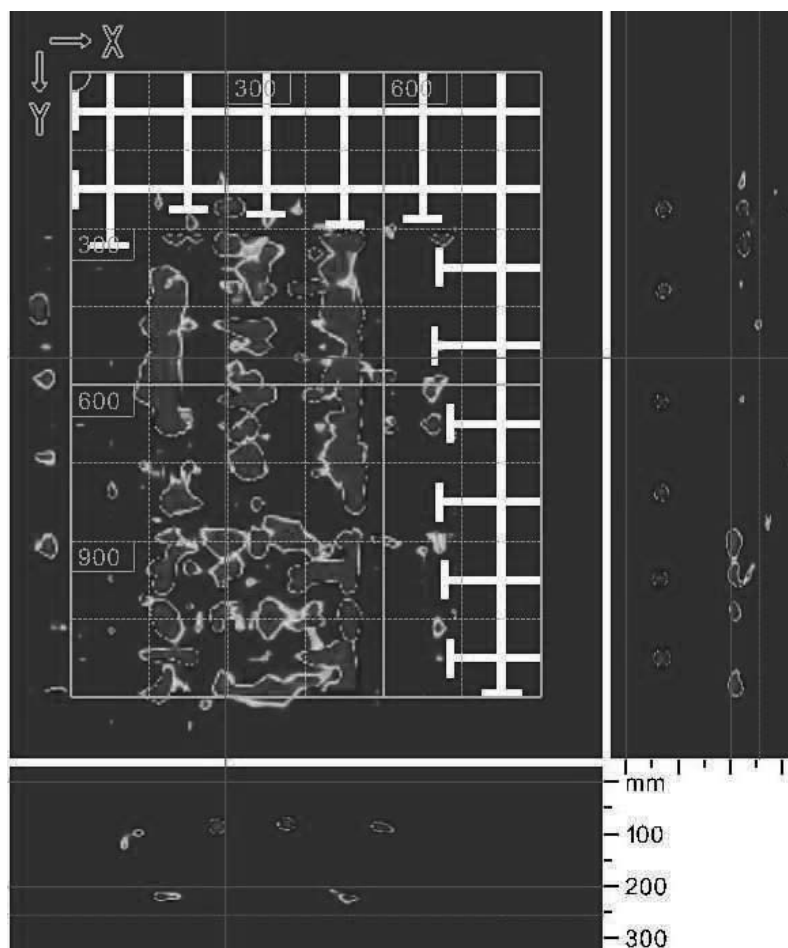


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄筋層

4F柱-東側面(Y)

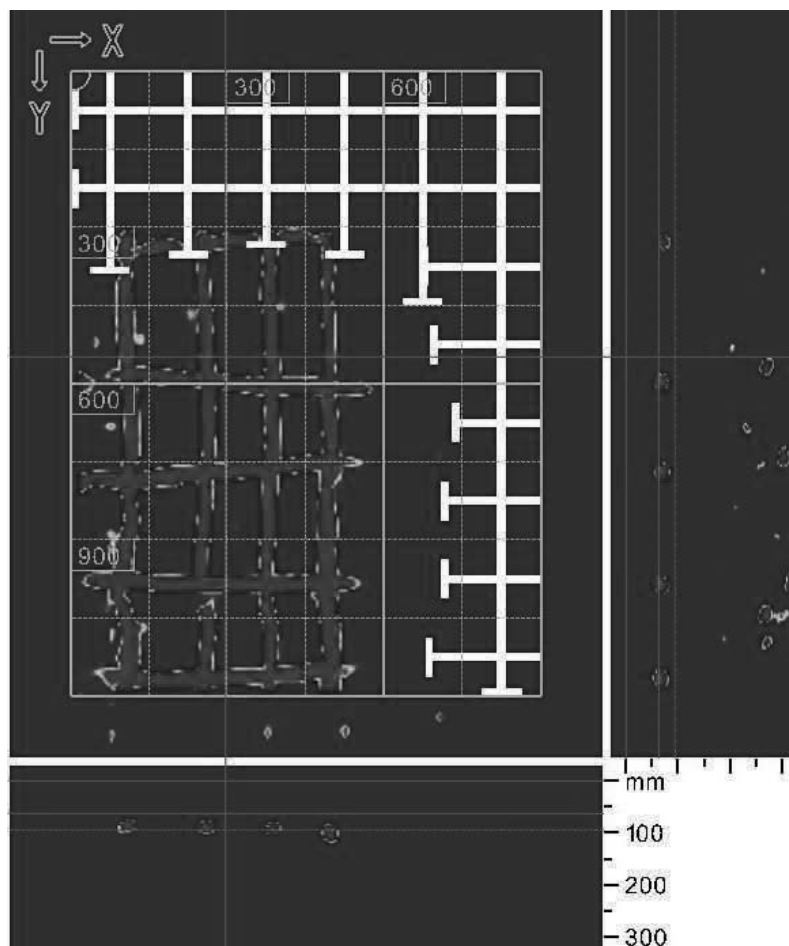


イメージ画像

愛媛県庁 本館

SRC構造 鉄骨層

4F柱-東側面(Y)



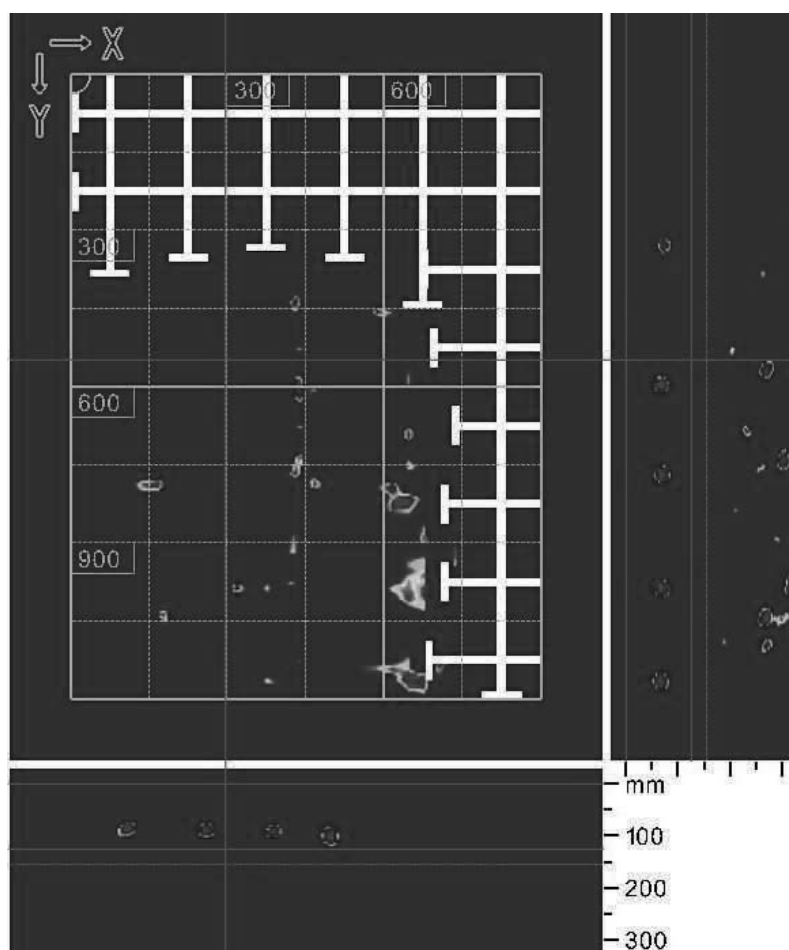
イメージ画像

愛媛県庁 本館

RC構造 鉄筋層

3F柱-南側面(X)

(比較用)



イメージ画像

愛媛県庁 本館

RC構造 深層部

3F柱-南側面(X)

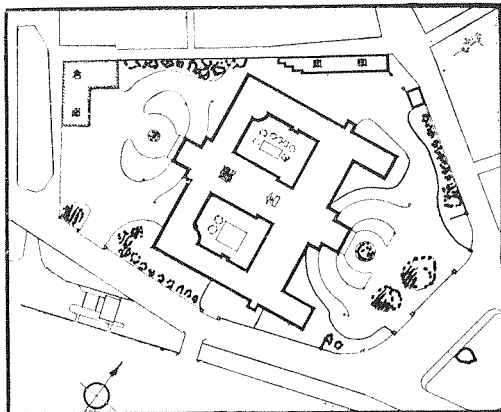
(比較用)

5. 考察

電磁波レーダー(3D対応型)による解析の結果、柱Aでは1階から4階の全箇所において、第1鉄筋の奥に金属画像が確認できた。(イメージ画像参照)

また、X軸方向面(南側面)では両端の金属画像間に交差するラチス状の金属画像が確認できた。対して、Y軸方向面(西又は東側面)では、第1鉄筋の奥に幅広い形状の金属画像が見られることから、両端の金属画像間に鉄板が全体的に存在すると考えられる。両端の金属画像間の反応が薄い部位については、Y軸方向はX軸方向に対して鉄筋本数が多ため、第1鉄筋の影響により電磁波が減衰しているためと考えられる。このことから、柱Aは設計書通りの構造(SRC)であると考えられる。

また、比較用として探査を行った柱Bでは、鉄筋以外の金属反応は確認できなかったことからRC構造である。



新潟縣廳舎建築概要

帝國鐵道協會の第32回定期總會が新潟市に於て開催されたことは別項の通りであるが、同市の代表的建築である縣廳舎をまだ紹介してなかつたから、此機會に簡單ながら概要を掲げる事にした。寫眞及圖面等は新潟縣土木部長荒木榮二氏の好意によるものである。

工 事 概 要

位 置・新潟市學校町壹番町5290番地。

敷地面積・14,937平方メートル(4,518坪52)

建築面積・3,937平方メートル295

(1,191坪03 $\frac{1}{2}$)

延面積・14,489平方メートル021

(4,382坪929)

内 譯・

地 階 98,853 平方メートル

1 階 7,686.942

2 階 3,886.007

3 階 3,414.532

4 階 3,260.506

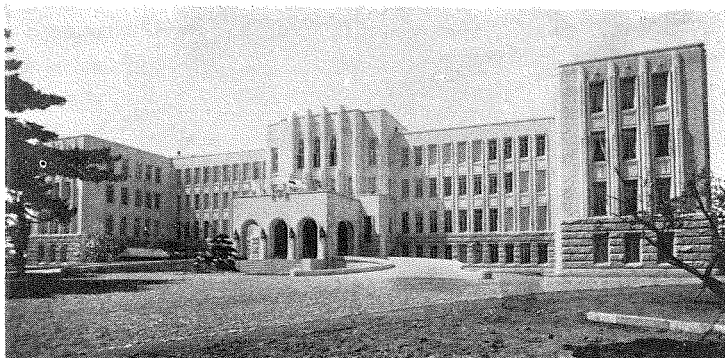
屋上階 142.182

階數・一部地階及屋階付4階建。

建築様式・近世式。

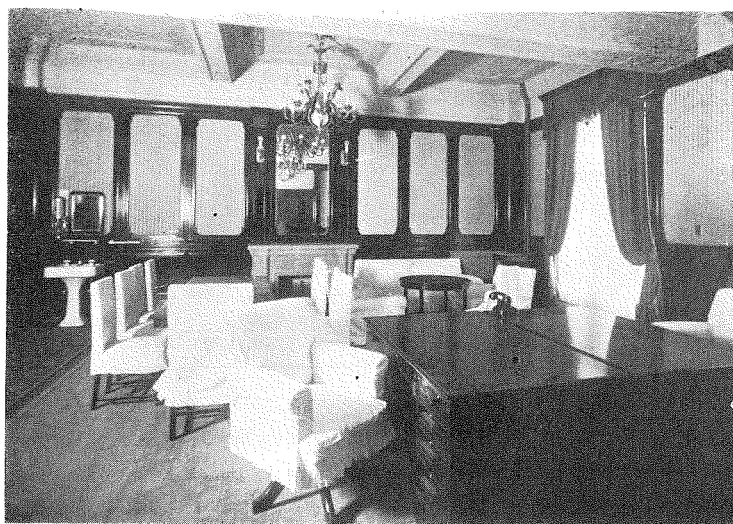
構造・基礎は地盤線より2米272(地階部分は3米631)掘下げ生松丸太長5米455、徑18釐以上のものを5,386本打ち込み、全部耐震構造鐵筋コンクリートとした。

主體は壁、柱、床、天井共耐震構造鐵筋コンクリートである。高さは地盤線より一般軒パラベツト上端まで20米424、中央パラベツト上端まで20米424、背面塔屋パラベツト上端まで21米635、煙突高さ27米237、一般天井高さ1階3米788、2階4米545、3及4階4米090。



〔正 面〕

〔知事室〕



外部仕上・表裏玄関、車寄全部、其他は2階窓臺上端まで岡山縣向島産の花崗石で仕上げ、其上部は人造石目入洗出仕上げである。

床仕上・各階事務室は米松床板張、表裏玄関及車寄床は花崗石水磨き、各階廣間及廊下便所、一般食堂、厨房等は人造石研出し、貴賓室、知事室、議長室、各部長室、參事會室、縣會議員控室、會議室、高等官食堂は寄木張り、正廳及縣會議場、同傍聽席等はコルクタイル張り、貴賓便所はモザイクタイル張で、會計課公衆溜及兩翼出入口の一部はタイル敷である。

腰仕上・表玄関は伊太利産大理石張り、表廣間及階

段室等は内地産遠目鏡、新薄雲、淡雪の3種を使用、裏玄関は人造トラバーチン張付け、各階廊下は人造石研出しで、一般事務室はモルタル塗ペンキ仕上げ、貴賓室及同南北副室は米楡材白エナメル塗金線入仕上げ、知事室、同應接室、縣會議場、同傍聽席等はチーク材のラック研出し、議長室、同應接室、三部長室、同應接室、土木課長室、同應接室、議員控室、高等官食堂等は鹽地材使用ラック又はヴァニス仕上げ、各パネルはコルク吹付け金粉置ペンキ拭取で、正廳及參事會室は米楡材ペンキ叩き、廳員食堂、來廳者食堂、厨房、各便所はタイル張である。但し貴賓便所はカララガラス張である。

壁及天井・プラスター塗で彫刻裝飾部は石膏型拔張付け、何れもペンキ拭取で、一般事務室は水性ペンキ塗である。

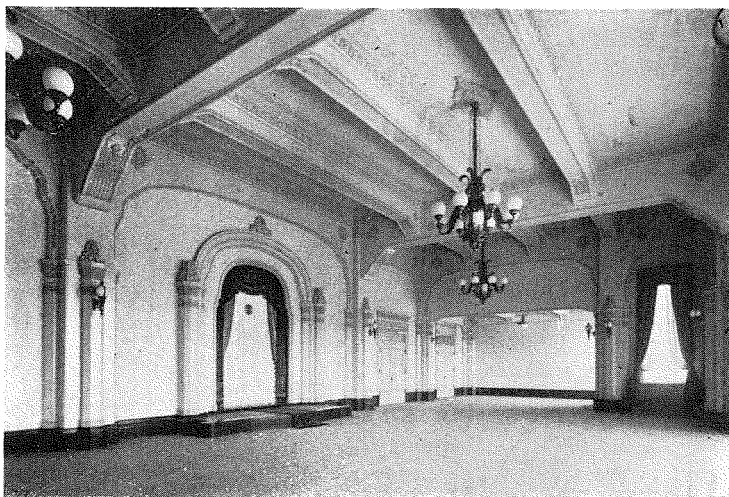
窓及出入口・外部出入口及窓はスチール・ドア及び木製ベニヤ・ドア、窓硝子障子

は鹽地材又は米楡材である。

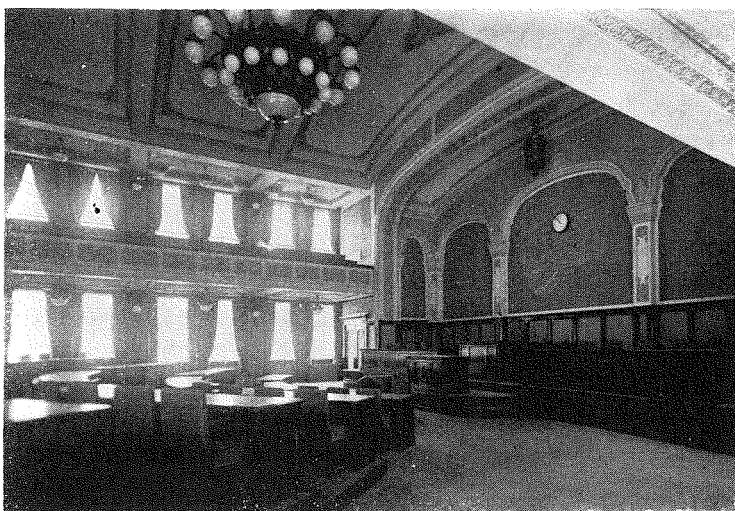
防水工事・1階床はラバロイド2號品1枚張、各階便所其他水を使用すべき部分はラバロイド1號及2號品2枚張、屋上陸屋根はラバロイド半號及1號品並にフレキストン14ポンド品3枚張で防水し、押へコンクリートの上にセメントブロックを敷く。

附帶設備・主なるものを挙げれば、給水、防火、衛生、排水、塵芥處理、排氣、暖房、電氣、照明、電話、登退廳表示、呼鈴、電氣時許、リフト、避雷針、瓦斯等の近代的諸設備が何れも合理的に配

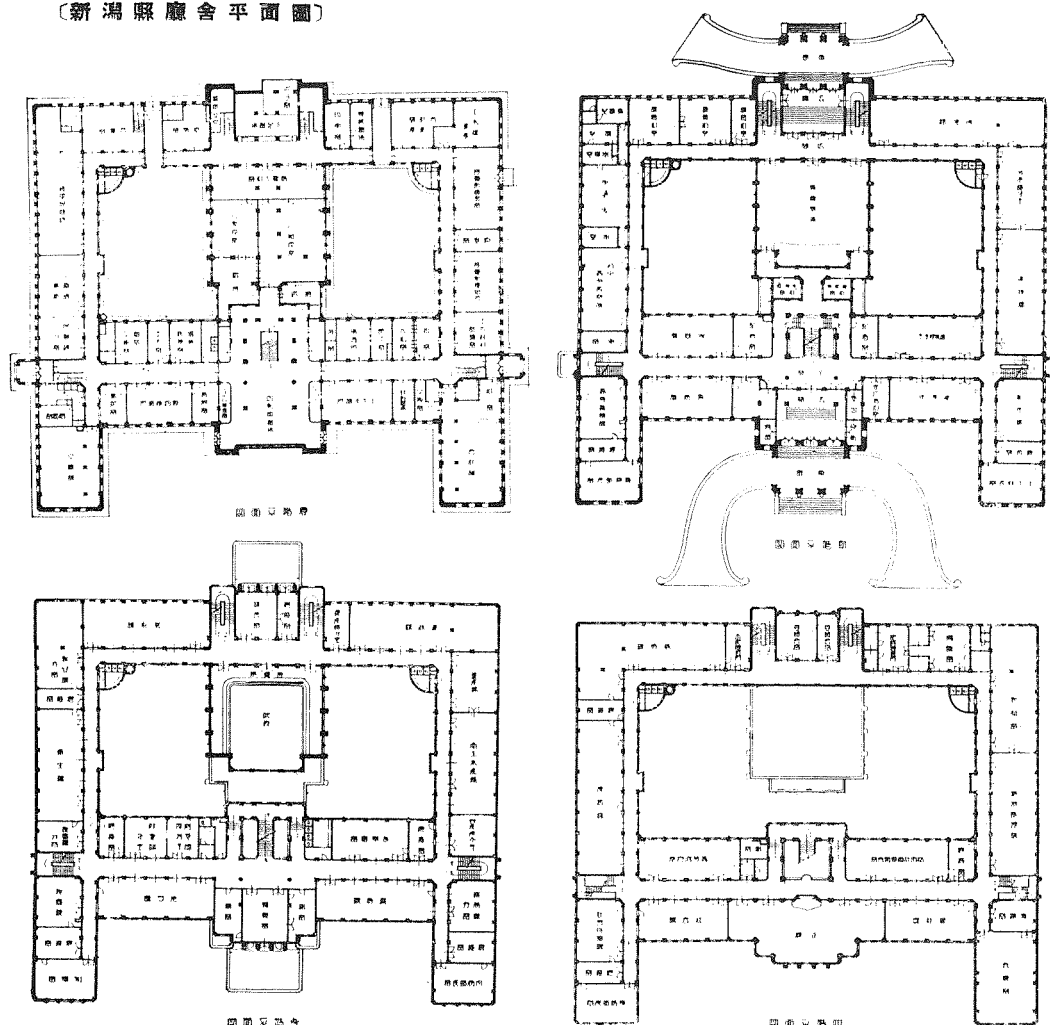
〔正 廳〕



〔議 場〕



〔新潟縣廳舎平面圖〕



上の左は1階、右は2階。下の左は3階、右は4階のプランである。

置されてある。

附屬舎・以上本館の外同敷地内に鉄筋コンクリート177平方62及び木造111平方99の自動車々庫、木造3階建延1,228平方463の倉庫と、市内川端町一丁目に衛生試験室がある。

工事工期・起工昭和四年六月一日、昭和五年三月三十日に地鎮祭、昭和七年五月二日に竣功し、同九月二十一日落成式を挙げた。作業日数852日、従事延人員115,358人。

工事関係者・前新潟縣土木部長（當時は土木課長）川上國三郎氏、建築顧問内藤多伸氏、岡田信一郎氏、設計及監督木子七郎氏、現場監督技師以下10

名。

請負は大林組で、其他須賀商會、大阪電氣大阪援房、内田商事、富士電機、沖電氣、新潟瓦斯等の諸社が附帶設備を施工した。

工事費・總額1,756,216圓。内本廳舎の建築費が1,125,737圓、設備費355,000圓で、附屬舎建築費其他170,466圓を要した、この内譯は自動車々庫建築費8,200圓、倉庫建築費22,866圓、衛生試験室建築費26,687圓、門柵道路舗装建物移轉費12,713圓と云ふことになる。残りの105,013圓は設計及監督諸雜費である。

— 以上 —

資料17

尾崎勇次郎と愛媛県庁舎本館

愛媛県東予地方局建設部（執筆当時）

阿部成久

1 はじめに

愛媛県庁舎本館は昭和4年(1929年)に完成し、平成21年に完成から80年を迎えた。

建築当時の政治経済状況を踏まえ、愛媛県第22代知事であった尾崎勇次郎を中心に愛媛県庁舎本館建設に関連するエピソードを紹介したい。

2 当時の政治経済情勢

大正末期から昭和初期までの1920年(大正9年)

から1930年(昭和5年)の間は、世界的に物価が長期的に下落するデフレーションの時代であり、また、戦前日本において政党政治が行われた時期でもあった。

政治的には、関東大震災後の大正13年(1924年)に加藤高明護憲三派内閣成立

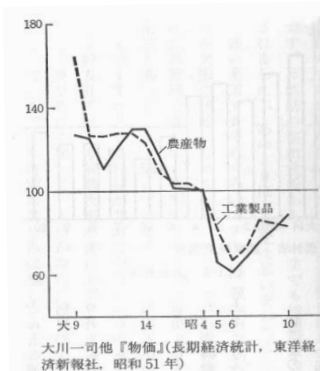


図 2-1 恐慌下の物価（大正9～昭和10年、昭和4年を100とする）²⁻¹⁾

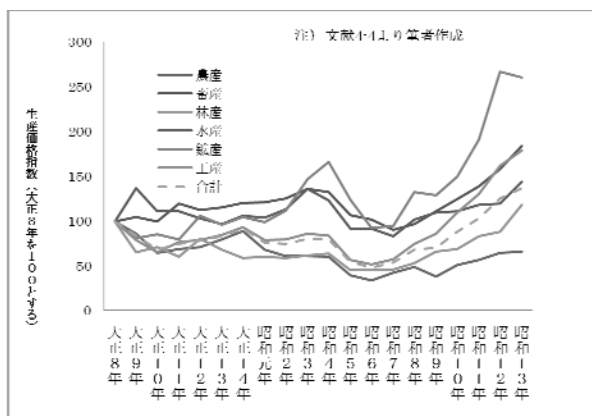


図 2-2 愛媛県産業別生産価格指数の推移（大正8年を100とする）

以降、憲政会（後の民政党）と政友会の2大政党が交互に政権を担当する政党内閣の時代となった。

両党の性格として、政友会は地方での公共投資を積極的に行い、党勢を拡張する「積極政策」をとるとともに、対外的には軍事費の増大・中国に対する強硬な外交政策を行うのに対し、憲政会

は二人の元大蔵官僚である浜口雄幸、若槻礼次郎が率い、緊縮財政・軍縮・中国に対する宥和政策を掲げる傾向にあった。中央政界では短期間に政権が交代する時代が続いた。そして、憲政会政権では緊縮政策となり、政友会政権では公債を発行し大規模な公共事業を展開するという大きく異なる政策が取られた。

また、当時の知事は国の官吏であり内務官僚から選任され、1～3年で異動した。そして、官僚であっても憲政会もしくは政友会のどちらかの政党に与し、内閣が短期間で変わる度に知事も交代するため、その任期も約1年と非常に短いものであった。

昭和2年3月(1927年)に当時の片岡蔵相の失言を元に金融恐慌が発生し、憲政会の若槻内閣は、4月に台湾銀行救済緊急勅令が枢密院で否決された責任をとり総辞職した。

その後、政友会の田中内閣が発足し、高橋蔵相のもとで健

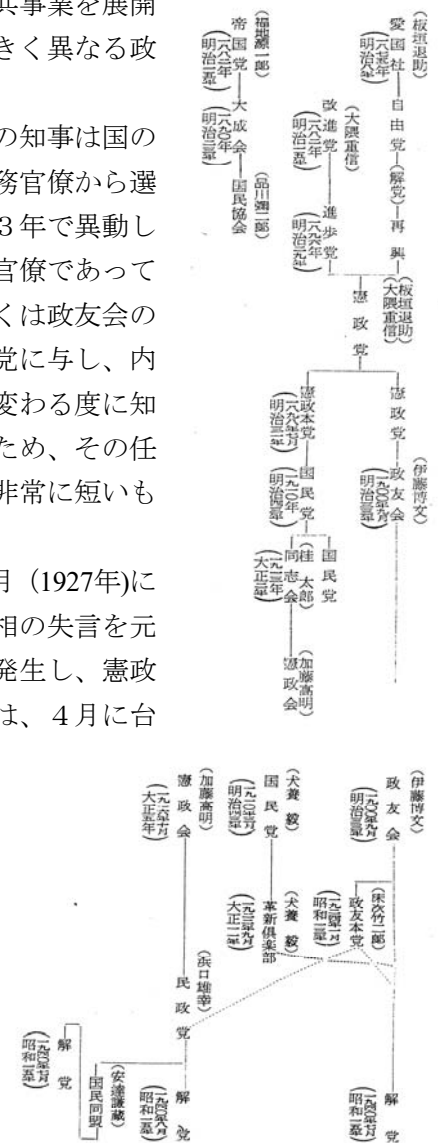


図 2-2 政党の系統図²⁻²⁾

全な銀行への預金取付けを防ぐべく銀行の支払猶予（モラトリアム）の実施などにより、金融恐慌は一時沈静化した。

しかし、昭和4年（1929年）に張作霖爆殺事件の責任をとって田中内閣が総辞職したのち、民政党の浜口内閣ができ、井上蔵相のもとで緊縮財政及び旧平価での金本位制度への復帰を行った。不幸なことにニューヨーク株式が大暴落する世界恐慌と重なり、我が国ではいわゆる昭和恐慌が本格化した。

昭和5年11月（1930年）に狙撃された浜口首相のあとを受けた若槻内閣が昭和6年12月（1931年）に総辞職したのち、政友会犬養内閣が成立し高橋は77歳にして5度目の蔵相に就任し、金本位制度を停止するとともに、政府は大規模な財政支出を行い景気は回復に向かった（図2-3の高橋財政のもとで軍事費は増大しているが、政友会総裁も務めた高橋是清自身は軍事費の増大を抑止していたことを付記する²⁻⁴⁾）。

その後、昭和7年（1932年）の五・一五事件により犬養政友会内閣が崩壊し、戦前の政党内閣政治は終わる。

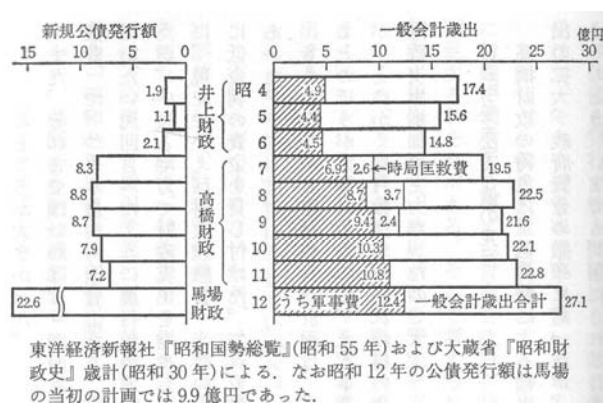


図2-3 高橋財政の特色²⁻¹⁾

3 愛媛県庁舎建築の経緯

愛媛県では、大正15年12月（1926年）の第105回臨時県会において、当時の香坂昌康第21代知事のもとで県会各派の賛成により県庁舎及び警察庁舎の新築が決定された。

その提案理由として香坂知事は、「旧庁舎が明

治11年（1878年）に建築したもので老朽化していること」、「郡役所廃止後の庁員増加や行政量の増加により庁舎が狭隘となっていること」、「先の県会で満場一致の改築意見書が提出されていること」をなど挙げている。

香坂は、明治41年（1908年）に東京帝国大学法科卒業後、文官高等試験に合格し初めての赴任地が愛媛県であり、本県の土木課長、庶務課長、理事官を歴任したのち、岡山県警察部長、熊本県警察部長、埼玉県内務部長、福島県知事を経て、愛媛県知事となった人物であり、愛媛県のことを熟知していた。

昭和2年4月（1927年）に田中義一政友会内閣が発足すると憲政会系とみられていた香坂知事は休職し、その代わり政友会系であった尾崎勇次郎が同年5月に台湾総督府警務局長から第22代愛媛県知事に就任した。

4 尾崎勇次郎

尾崎勇次郎は明治6年（1873年）に兵庫県に生まれ、明治32年（1899年）に東京帝国大学法科卒業後、文官高等試験に合格し愛媛県知事に就任するまで、日本の領土拡大に伴い北は樺太、南は台湾まで赴任している。また、その間、欧米にも派遣された。

愛媛県庁舎の具体的な設計を指揮したのは尾崎知事の時代であったと考えられ、着任直後の昭和2年7月（1927年）には、設計者の木子七郎や内藤多仲と協議している。そして、尾崎は、本県知事として下記の県政を行った。

① 政友会寄りの県政運営

史上初の普通選挙となった昭和2年9月（1927年）の県会議員選挙及び昭和3年2月（1928年）の衆議院議員選挙において、官憲をあげての選挙干渉により政友会を勝利に導いた。また、本県知事在任中ではあるにもかかわらず、上記衆議院議員選挙において自身も出身地の兵庫県において政友会候補者として立候補するが、斉藤隆夫に敗れる（文献4-3には候補者尾崎の名前

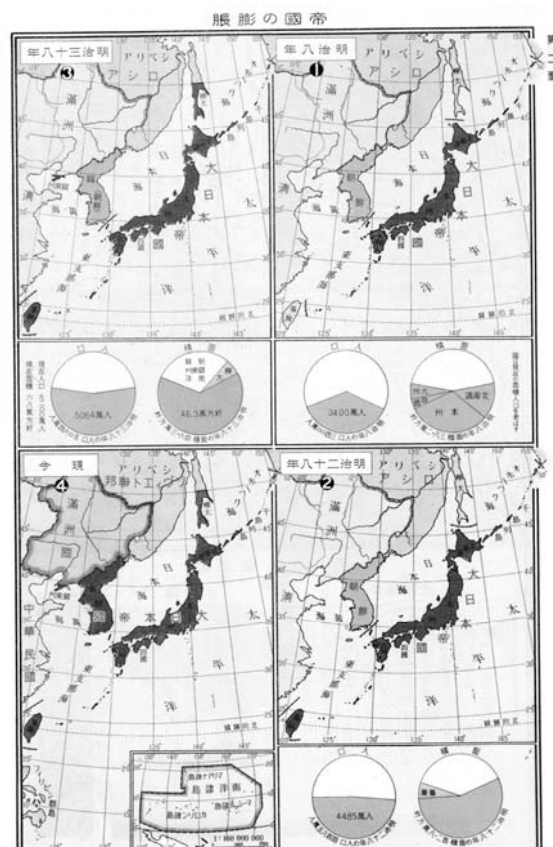


図 3-1 帝国の膨張（「現今」は昭和 9 年⁴⁻¹⁾）

はなく、選挙結果として「(昭和 3 年 (1928 年)) 2 月 21 日 美方郡を除き他は本日開票。第 1 報伊佐村より来る。続々の開票報知何れも意想外の多数、真に驚くべく、圧倒的の最高点疑なし。田氏 (齊藤とともに民政党候補者として同選挙に出馬した。筆者注) も当選確実なり。」があるのみ)。

② 銀行合併の推進

金融恐慌より中小銀行の整理が必要となり、昭和 3 年の新銀行法改正により 5 年間の猶予期間において資本金 100 万円以下の小銀行は認めないこととなったため、銀行の合併を熱心に斡旋する (本県銀行数 昭和 2 年 32 行→昭和 9 年 9 行に減少)。

③ 積極的な財政支出計画

県議会での政友会の圧倒的多数を背景に従来の土木継続計画を廃止して、新たに昭和 3～12 年度まで毎年 80 万円、昭和 13～17 年度まで毎年 40～45 万円、総年数 15 ヶ年、総支出額 1015 万円の土木継続事業計画の立案及び可決をした。



県知事 尾崎勇次郎



写真 3-1 尾崎勇次郎肖像 (右⁴⁻⁴⁾、左⁴⁻⁸⁾)

しかし、田中内閣の辞職に伴い、県庁舎の完成を見ることなく、昭和 3 年 5 月 (1928 年) に任期わずか 1 年で次の赴任地へ転任した。

また、尾崎が策定した大規模な財政支出計画は、その後の緊縮財政及び昭和恐慌による財政難により廃止等を余儀なくされた。

5 内藤多仲

愛媛県庁舎の意匠設計を行ったのは木子七郎であることはよく知られている。

愛媛県庁舎の設計が木子に依頼されたのは、彼の妻カツの父が本県出身の新田長次郎 (松山大学の創始者でもある) であり、愛媛県とゆかりが深かったためであると思われる。

設計を木子七郎に依頼したのは香坂知事時代と思われる、木子は先に萬翠荘を設計していたことからどなたかの推薦にもとづき決定したと考えられる。

木子が愛媛県庁舎の設計に当たり、構造設計の助けを借りたのが内藤多仲である。内藤は木子と東京帝国大学建築学科にほぼ同時期に学び、木子は意匠設計、内藤は構造設計の分野に進んだ。大学卒業後、木子は大林組を経て独立し設計事務所を開き、内藤は大学院に進学したのち早稲田大学に奉職した。



写真 4-1 内藤多仲肖像⁵⁻¹⁾

内藤は我国の建築物の耐震設計の先駆者である佐野利器の弟子であり、大正12年9月1日（1923年）に関東一円を襲った関東地震（関東大震災）において多くの建物が崩壊するなか、内藤が設計した日本興業銀行、歌舞伎座などの建物が無事であったことから、彼の構造設計の名を高めた。戦後、彼は東京タワー、名古屋テレビ塔、通天閣を設計した人物としても有名である。

また、日本で初めてラジオ放送が始まったのは大正14年に東京愛宕山放送局からであるが、その放送塔と局舎の構造設計を内藤、局舎の意匠設計を木子がそれぞれ担当しており、二人は我が国の放送構造物の草分けと言ってもよい。当時は関東地震が発生してから間がなく、県議会においても地震に対する質問^{5,3)}があったことから、木子は親友であり当時の建築耐震設計の新進気鋭学者である内藤に、構造設計を依頼したものと思われる。

現在も残る自邸は関東地震後まもなくの大正15年（1926年）に建てられたもので、意匠設計を木子に依頼し、自らが構造設計を行っている。その構造は、日本最初の壁式鉄筋コンクリート構造となっている。現在は内藤多仲記念館として早稲田

大学が管理している。

6 新潟県庁舎建築の経緯

写真6-1は昭和7年（1932年）に完成した新潟県庁舎である。

昭和4年（1929年）に完成した愛媛県庁舎と非常に似ているが、ドームがないことや愛媛県庁舎がコの字型なのに対し新潟県庁舎はロの字型をしていることで、本県庁舎の建築面積2030坪に対し3937坪と約2倍も広い。また、中央部は議事堂である。なぜ愛媛県と新潟県で同様な庁舎が建設されたのであろうか？

実は、尾崎が愛媛県知事から第24代新潟県知事として着任し、愛媛県庁舎と同様に設計を木子七郎が担当したためである。

尾崎は愛媛県では庁舎建設の具体的な指示を下したものの、前任者が決めた庁舎建築を引き継いだだけであり、自らが発起したものではなかった。しかし、そのときの経験や全国的に県庁舎建て替えの機運が高まっていたことから、新潟県赴任後の昭和3年12月（1928年）新潟県議会において新

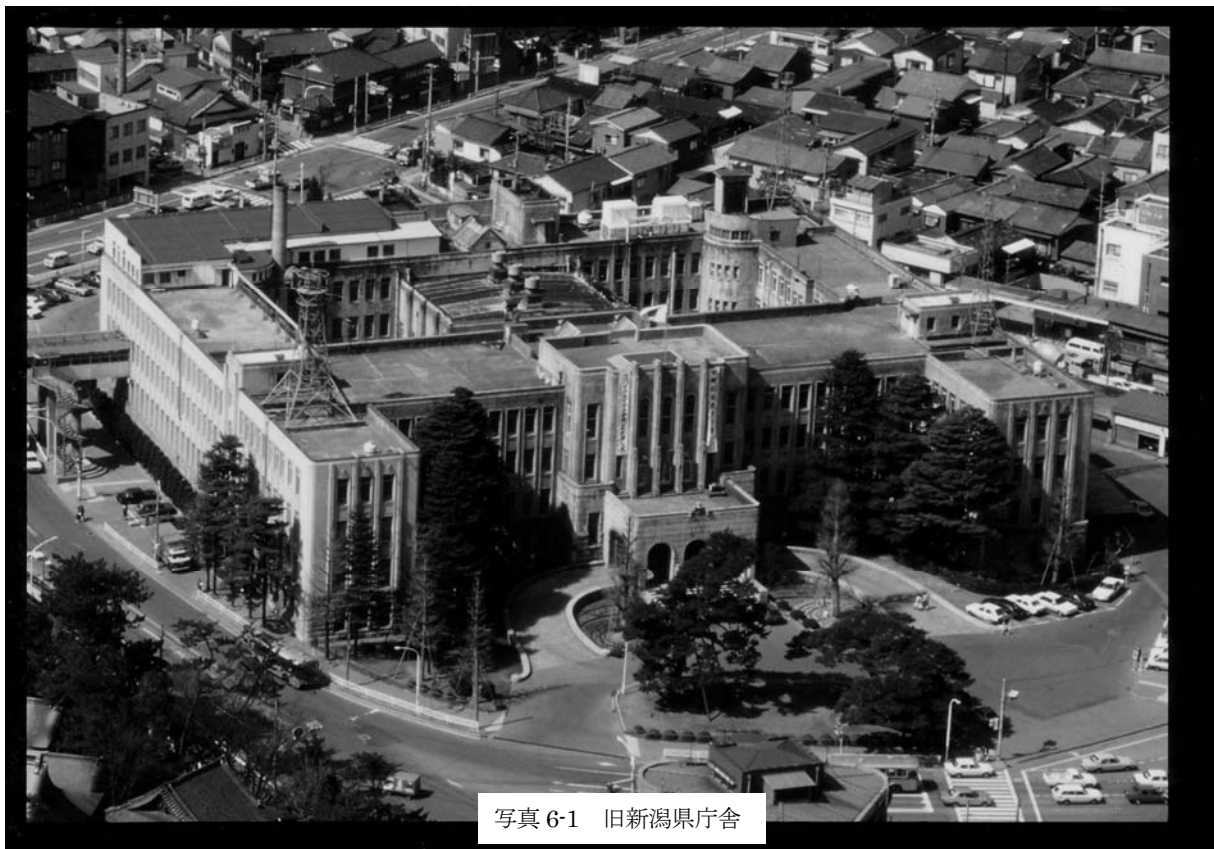


写真 6-1 旧新潟県庁舎

潟県庁舎建築に関する議案を提出し、自ら議案を説明している。

尾崎知事は、当県議会での県庁舎建て替えの理由として、愛媛県庁舎建て替え時に香坂知事が説明したように「旧庁舎が明治13年（1880年）に建築したもので、すでに48年を経過し老朽化していること」、「行政量の増加」、「郡役所廃止後の庁員増加により庁舎が狭隘となり、執務環境が悪化していること」に加えて、「不況が続く建設費が低廉であること」を述べている。

しかし、完成までには難航を極めた。初めに、予算額約165万円のうち30万円を新潟市からの寄付で賄おうとしたため、新潟市民より反対運動が起こり、県議会での議案説明に先立つ昭和3年11月24日（1928年）に県庁舎建築寄付に反対する市民大会が開催された。

この理由として、当時の新潟市議会は政友会派と民政党派が伯仲しており、政友会系の尾崎知事により県の施設整備のために財政の逼迫している新潟市に寄付を求めることや、庁舎建築財源として売却を予定していた商品陳列所が明治期に新潟市より寄付されるとともに市がその建築費の一部を負担していたことも反対の大きな原因となった。これに対し、政友会議員による中立派議員の抱き込みや寄付金額を22万5000円に減額するなどにより、新潟市の了解を取り付け、在任中の昭和4年6月1日（1929年）に起工した。新潟県庁舎の建築概要⁶⁻²⁾によれば、工事関係者として、「建築顧問 内藤多仲、岡田信一郎、設計及び監督 木子七郎」と記されており、新潟県庁舎の構造設計も内藤によるものである。また、岡田信一郎は鳩山会館などを設計した建築家として有名である。

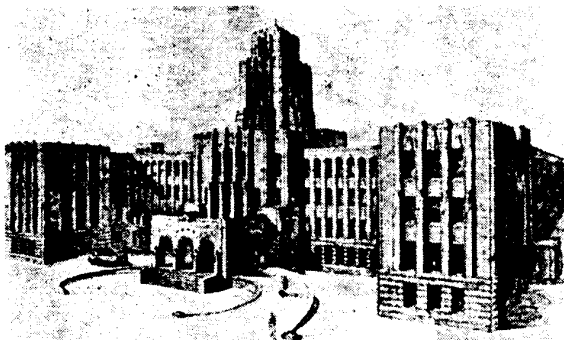


写真 6-2 新潟県庁舎当初計画完成予想図⁶⁻¹⁾

しかし、昭和4年7月に（1929年）田中義一政友会内閣が瓦解し浜口雄幸民政党内閣が発足すると、政友会系知事であった尾崎は免官となり、民政党系であった尾崎の後任知事である三松知事は民政党政権の意向を汲んだ財政緊縮方針を取ったことに加え、引き続き発生した世界恐慌にも巻き込まれ、県庁舎建築は

- ・ 建設場所を新潟市東中通一番町（当時の県庁舎場所）から新潟市学校町通一番町（商品陳列所所在地）に変更し、県庁舎敷地を売却
- ・ 建設期間を3か年に延長
- ・ 建設費当初予算165万2250円を162万円に減額し、起債を取りやめる。
- ・ 当初計画していた中央高塔（写真6-2参照）、エレベーター計画の廃止、暖房方式を電気から蒸気へ変更するなどの設計変更の実施（愛媛県庁舎ではエレベーターが設置され、暖房方式は電気であった）

などの大幅な見直しを余儀なくされた。

その後、尾崎知事から4代後の小幡豊治知事が在任中の昭和7年5月2日（1932年）に竣工し、落成式は小幡知事の次の千葉了知事が在任する同年9月21日に行われた。

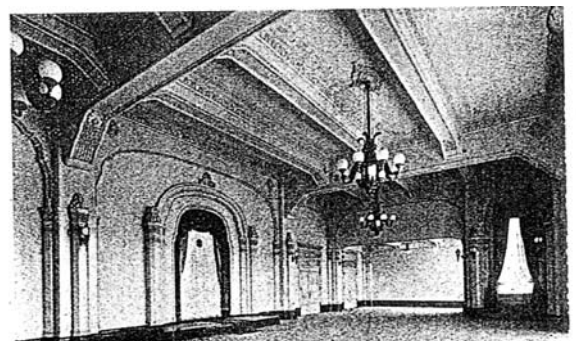


写真 6-3 新潟県庁舎正庁⁶⁻²⁾

液化化現象が世界的に知られることになった昭和39年6月16日に発生した新潟地震において、構造設計を担当した内藤はすぐに現地へ赴き自らが設計に関与した多くの構造物の無事を確認している。その記述のうち新潟県庁舎に関する部分は「新潟市内でも、旧市内は大体において無難のようであった。県庁の本館、別館は共に別状がなかった。

古い建物の本館は一昔前、私の親友だった木子七郎君の設計になったものであるが、木子君に助力したことから果たして無事であろうかと気がかかっていたが、古い建物ながら倒壊もせずにいたことはうれしかった。」と記載されている⁵⁻¹⁾。

しかし、文献5-1)における内藤が関与した建築物等一覧表の中には、愛媛県庁舎及び新潟県庁舎も載っていない。

7 愛知県庁舎建築の経緯

尾崎は、昭和6年12月（1931年）に犬養毅政友会内閣が発足すると第25代愛知県知事に任官された。尾崎が愛知県知事に就任する前の知事は、愛媛県庁舎の建設を議会提案した香坂昌康であり、再度、尾崎は香坂から再度、知事の職務を引き継ぐこととなった。その後、香坂は東京府知事も務めた⁷⁻²⁾。

現在も利用されている愛知県庁舎は「帝冠様式」という頂部に城郭風の屋根を乗せた特徴的な意匠の建物であり、新潟県庁舎竣工から6年後の昭和13年に完成した。

当時、愛知県においても庁舎の老朽化や行政量の増大などから、大正14年（1925年）に庁舎建設計画が起こった。その後、昭和3年（1928年）に名古屋市役所庁舎と共に新築移転が計画されたが、スムーズに昭和8年（1933年）に完成した市庁舎と異なり、県庁舎は昭和3年7月（1928年）臨時議会で否決された。その後、昭和3年12月（1928年）通常議会で同年7月議会の案とほぼ同じものが再可決されたが、昭和4年2月（1929年）臨時議会において県庁舎改築費が審議未了となった。このときの愛知県知事は小幡豊治であった。政友会系であった小幡知事は、内務大臣へ愛知県庁舎新築原案を上申し、昭和4年4月（1929年）に国の許可を得た。昭和5年3月（1930年）には国から移転新築用地として約3.3ヘクタールの払い下げを受けたが、当時深刻化していた不況や、財源となるべき旧庁舎の敷地売却が難しくなったことから一時中止となっていた。

尾崎が愛知県知事に就任したことにあわせて、愛知県庁舎着工に尽力した小幡は、尾崎が庁舎建設提案し、工事着工していた新潟県に知事として転任し、その知事時代に新潟県庁舎は竣工した。当時の新聞には、愛知県で庁舎建設の手筈を整えた小幡知事が、尾崎が発議した新潟県新庁舎初の知事となったのに対し、尾崎が愛知県で再び庁舎建設に着手する意欲を見せていると書かれている⁷⁻³⁾。

文献7-3)には、尾崎が愛知県庁舎を愛媛県や新潟県と同様に4階建にすると書かれており、もし、尾崎が愛知県庁舎建設を計画していれば、愛知県庁舎も木子七郎と内藤多仲のコンビで設計が行われていた可能性もあった。

しかし、結果的には尾崎の知事時代には工事に着手することができず、昭和8年11月（1933年）の通常議会において予算総額300万円の庁舎新築施行が決定され、昭和10年10月（1935年）に着工され、昭和13年（1938年）に竣工したが、建築施工中も経済情勢の急変による鋼材等の資材の高騰や日中戦争の勃発によって工期が半年近く延長という事態になり、困難を極めた。

8 さいごに

尾崎勇次郎は、愛媛県庁舎、新潟県庁舎、愛知県庁舎の建設に関わった人物である。

愛媛県庁舎は、

- ・建設計画が当時の政党各会派全員一致の要望であったこと
 - ・昭和恐慌が本格化する前に完成できたこと
 - ・物価が下落していたこと
 - ・当時の新進気鋭の設計者が担当したこと
- などの好条件に恵まれたなかで完成できたと言える。

しかし、新潟県庁舎は、建設計画立案時から地元市の協力を得られていなかったこと、物価は下落していたものの着工後に昭和恐慌が発生し十分な資金調達が難しくなったことなどから、愛媛県庁舎に比べ建設に際し様々な困難に直面した。

その後、完成から53年度の昭和60年（1985年）に県庁舎を別箇所に移転新築することとなったため、写真6-1の建物は取り壊され、跡地には新潟市役所が建てられた。

また、愛知県庁舎については、新潟県庁舎以上に計画から着工までには時間を要したものの、恐慌から抜け出した時期に建設が行われ、愛媛県庁舎と同様、現在も現役として利用されている。

尾崎は昭和7年に犬養政友会内閣の終了とともに愛知県知事を休職した後、34年間に渡る官僚生活を終え、東京運河土地(株)の社長となった。その後、いつどこで亡くなったかは不明である。

表8-1 尾崎が関わった各県庁舎の比較

	愛媛県	新潟県	愛知県
着工	昭和2年	昭和4年	昭和10年
竣工	昭和4年	昭和7年	昭和13年
建築面積（㎡）	2,030	3,937	4,666
延建築面積（㎡）	8,414	14,489	28,314
階数	4階	4階	6階
工事費（千円）	1,022	1,756	3,000
工事日数（日）	455	852	870
現在の状況	利用	取り壊し	利用

資料：文献3-1,3-2,6-2,7-1より作成

＜参考文献＞

2 当時の政治経済情勢

- 2-1 昭和経済史、中村隆英、岩波書店、2007.5.16
- 2-2 愛媛県史概説上、愛媛県、昭和34年3月25日
- 2-3 高橋是清 日本のケインズーその生涯と思想、リチャード・J・スメサースト、東洋経済新報社、2010.10.12

3 愛媛県庁舎建築の経緯

- 3-1 愛媛県史、県政編、愛媛県、昭和63年11月30日
- 3-2 愛媛県ホームページ：えひめ魅力発信チャンネル「愛媛県庁本館」

4 尾崎勇次郎

- 4-1 増訂改版 新選詳図（復刻版）、(株)帝國書院、昭和9年9月12日

- 4-2 青森県史資料編 近現代3、青森県、2004.3
- 4-3 斉藤隆夫日記 上、伊藤隆編、2009.9.25、中央公論新社
- 4-4 愛媛県史、近代上、愛媛県、昭和63年2月29日
- 4-5 愛媛県史、人物編、愛媛県、平成元年2月28日
- 4-6 3-1と同じ
- 4-7 愛媛県史、年表編、愛媛県、平成元年2月28日
- 4-8 札幌開道五十年記念北海道博覧会写真帖より博覧会事務総長協賛会副会長尾崎勇次郎：札幌開道五十年記念北海道博覧会協賛会、大正8年（1919年）（国立国会図書館近代デジタルライブラリー「北方関係デジタル資料」より）

5 内藤多仲

- 5-1 内藤多仲博士に学ぶ、内藤多仲博士生誕120年記念事業実行委員会、平成18年10月
- 5-2 タワー 内藤多仲と三塔物語、橋爪紳也、田中彌壽雄、内藤多四郎、INAX出版、2006.6
- 5-3 愛媛県議会史第4巻、愛媛県議会史編さん委員会、昭和60年3月15日
- 5-4 愛媛の近代洋風建築、社団法人日本建築学会四国支部編、財団法人愛媛県文化振興財団、1983年

6 新潟県庁舎建築の経緯

- 6-1 新潟県史 通史編8 近代3、新潟県、1988
- 6-2 新潟県廳舎建築概要、工事画報、昭和10年7月号
- 6-3 尾崎知事の県庁舎建設に関する議案説明（新潟県議会事務局所蔵「昭和三年新潟縣通常縣會議事速記録」、新潟県史、

7 愛知県庁舎建築の経緯

- 7-1 愛知県ホームページ、愛知県庁舎の歴史
- 7-2 近代政治関係者年譜総覧 戦後編第3巻 く～そ、ゆまに書房、1990.8
- 7-3 県庁舎移転計画をめぐる県会の動向（1932年（昭和7年）5月14日「新愛知」）、愛知県史資料編25 近現代4、愛知県、2009.3、

表－1 大正末期から昭和初期における愛媛県、新潟県、愛知県の官制知事の変遷
 (【 】内は庁舎建設における役割、内閣の()内は出身もしくは支持勢力)

年	愛媛県	新潟県	愛知県	内 閣
大正 13 年 (1924)		・	山脇春樹【移転案採択】 (T13.6.14～T15.9.28)	加藤高明 (護憲三派内閣) (T13.6.11～T14.7.31)
大正 14 年 (1925)	香坂昌康【議会提案】	・		加藤高明 (憲政会) (T14.8.1～T15.1.28)
大正 15 年 (1926)	(T14.9.16～S2.5.16)	・	柴田善三郎	若槻礼次郎 (憲政会) (T15.1.30～S2.4.20)
昭和元年		・	(T15.9.28～S2.5.17)	田中義一 (立憲政友会) (S2.4.20～S4.7.2)
昭和 2 年(1927)	尾崎勇次郎【計画】	・	小幡豊治【議会提案】	
昭和 3 年(1928)	(S2.5.17～S3.5.24) 市村慶三【落成式】	尾崎勇次郎【議会提案】	(S2.5.17～S4.7.5)	
昭和 4 年(1929)	(S3.5.25～S4.11.7)	(S3.5.25～S4.7.5) 三松武夫	岡正雄【用地払下】 (S4.7.5～S6.1.20)	浜口雄幸 (立憲民政党) (S4.7.2～S6.4.14)
昭和 5 年(1930)	・	(S4.7.5～S5.8.26) 黒崎真也		
昭和 6 年(1931)	・	(S5.8.26～S6.10.2) 中野邦一	香坂昌康	若槻礼次郎 (立憲民政党) (S6.4.14～S6.12.13)
昭和 7 年(1932)	・	(S6.10.2～S6.12.18)	(S6.1.20～S6.12.21)	犬養毅 (立憲政友会) (S6.12.13～S7.5.16)
昭和 8 年(1933)	・	小幡豊治【竣工】	尾崎勇次郎【着工検討】	齊藤実 (海軍) (S7.5.26～S9.7.8)
昭和 9 年(1934)		(S6.12.18～S7.6.28) 千葉了【落成式】 (S7.6.28～S10.1.15)	(S6.12.21～S7.6.28) 遠藤柳作 (S7.6.28～S8.7.21)	岡田啓介 (海軍) (S9.7.8～S11.3.9)
昭和 10 年(1935)		・	三辺長治【議会決定】 (S8.7.21～S9.8.11)	
昭和 11 年(1936)		・	篠原英太郎【着工】 (S9.8.11～S12.2.10)	広田弘毅 (官僚) (S11.3.9～S12.2.2)
昭和 12 年(1937)		・		林洗十郎 (陸軍) (S12.2.2～S12.6.4)
昭和 13 年(1938)		・	田中広太郎【落成式】 (S12.2.10～S15.4.9)	近衛文麿 (華族) (S13.6.4～S14.1.5)
			・	・
			・	・

↑
政
党
政
治
の
終
焉

資料18

映画ロケーション地としての活用について

泉谷 昇

(NPO 法人ジャパン・フィルムコミッション理事)

平成15年発行ですから今から14年前に入手し、現在も大切にしている書籍があります。それは「愛媛温故紀行～明治・大正・昭和の建造物～：えひめ地域政策研究センター発行」。県内の価値ある建造物が数多く掲載される中で愛媛県庁本館は2ページ見開きで「緑に映えて威風堂々」と紹介されています。

私は建築家でも郷土史家でもありません。私は映画や映像作品を支援する「フィルム・コミショナー」で県内の古き良き物語を感じさせる建造物などを「撮影（候補）地」として調べています。その中でも私が最も気に入っているのが愛媛県庁本館です。

これまで愛媛県庁本館は「世界の中心で、愛をさけぶ」「K-20 怪人二十面相」「陽光桜」などの作品に登場しました。すこし紹介させていただくと「世界の中心で、愛をさけぶ」では「主人公が入院している病院」として使われました。最初監督には1階を提案しましたが2階の方が雰囲気があると採用され、ストレッチャーやスモークが準備され、過去と現在が交差する印象的なシーンが撮影されました。

「K-20 怪人二十面相」ではヒロインの住居として2階の階段付近が、また取材に囲まれるシーンが正面玄関で行われ、髪型や制服姿に扮した県庁職員らによる撮影が夜遅くまで行われました。

「陽光桜」では主人公の親族を見舞うシーンで2階廊下や公衆電話ボックスが使われ昭和時代の演出に役立ちました。

撮影に至らなくても「坂の上の雲」などでも撮影隊は愛媛県庁に興味津々でした。これほどまでに魅了する要因は何かと推察すると、細部の細部まで丁寧に手間をかけて造られたことでしょう。天井にしてもエレベーターの文字盤にしても暖炉や床にしてもセット

のような佇まいなのです。（ご存知の方も多いように大理石の暖炉や床にはアンモナイトの化石を見ることができます）。

こんなに魅力的な職場があるのでしょうか？ 普段の愛媛県本館は職員や金融機関などの往来が多く、あくまでも「職場」です、観光地でもありません。しかしながら、こんなに素敵なお建造物は近隣周辺を探してもなく、私は愛媛県の魅力発信につながると思い県庁本館を積極的に推薦しています。

そうした効果か、本館内部を見学したいという方がいたと聞いたことがあります。本館の魅力を第三者が魅力と感じて訪れ発信してくれるなんて、素晴らしいことと思います。

これからも「威風堂々」と、愛媛のシンボルとして存在してほしいのですが、築85年以上の建造物です。レリーフなど細かい細工は経年劣化と共にほころびも出ています。単に古い建造物、公共施設ではなく、愛媛を物語る建造物として通勤通学、散歩散策などで時には撮影場所として身近に感じていただければ幸いです。

資料 19 文化財建造物の保護制度

(1) 文化財保護法による保護制度

○文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号）

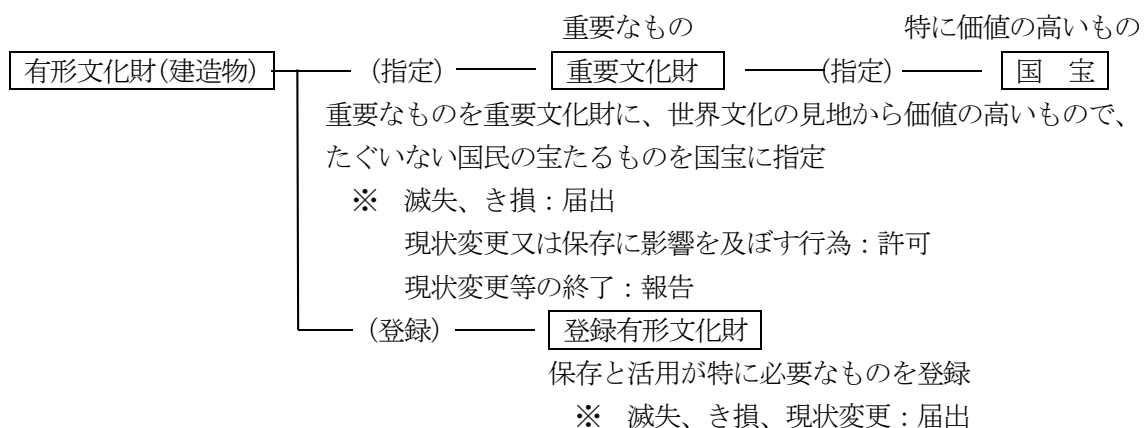
（指定）

第 27 条 文部科学大臣は、有形文化財のうち重要なものを重要文化財に指定することができる。

2 文部科学大臣は、重要文化財のうち世界文化の見地から価値の高いもので、たぐいなき国民の宝たるものを国宝に指定することができる。

（有形文化財の登録）

第 57 条 文部科学大臣は、重要文化財以外の有形文化財（第 182 条第 2 項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、その文化財としての価値にかんがみ保存及び活用のための措置が特に必要とされるものを文化財登録原簿に登録することができる。



(2) 国指定の指定基準、国登録文化財の登録基準

○国宝及び重要文化財指定基準（昭和 26 年 5 月文化財保護委員会告示第 2 号）

建造物の部

重要文化財

建築物、土木構造物及びその他の工作物のうち、次の各号の一に該当し、かつ、各時代又は類型の典型となるもの

- (1) 意匠的に優秀なもの
- (2) 技術的に優秀なもの
- (3) 歴史的価値の高いもの
- (4) 学術的価値の高いもの
- (5) 流派的又は地方的特色において顕著なもの

国宝

重要文化財のうち極めて優秀で、かつ、文化史的意義の特に深いもの

○登録有形文化財登録基準（平成 17 年 3 月文部科学省告示第 44 号）

建造物の部

建築物、土木構造物及びその他の工作物（重要文化財及び文化財保護法第 182 条第 2 項に規定する指定を地方公共団体が行っているものを除く。）のうち、原則として建設後 50 年を経過し、かつ、次の各号のいずれかに該当するもの

- (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの
- (2) 造形の規範となっているもの
- (3) 再現することが容易でないもの

(3) 当面重点を置いて指定等を行う建造物（文化庁文化財部）

○有形文化財（建造物）の指定の方針（平成6年10月文化財保護審議会了承）

① 重要文化財（建造物）

有形文化財（建造物）の指定に当たっては、「国宝及び重要文化財指定基準」（昭和26年文化財保護委員会告示第2号）を踏まえ、文化庁による調査活動及び学界における評価、地方公共団体による指定等の状況、地域的なバランス並びに地方公共団体からの意見具申や情報提供等を考慮しつつ、下記事項のいずれかに該当し、所有者又はそれにかわる管理者若しくは地方公共団体により良好な保存及び活用の措置がとられているか、あるいはその見込みがあるものを指定する。

なお、文化審議会文化財分科会第二専門調査会での意見を踏まえ、必要に応じて「有形文化財（建造物）の指定の方針」の見直しを行う。

【Ⅰ 近代の建造物】

- イ 近代化遺産（建造物等）総合調査、近代和風建築総合調査、の結果、重要性が認められたもの
- ロ 近現代建造物緊急重点調査の結果、重要性が認められたもの
- ハ 建築学会・土木学会等の学会で重要性が認められているもの
- ニ 地方公共団体等が、独自に調査、保存、活用等の措置をとった結果、新たに重要性が認められたもの
- ホ 離島等の固有の文化をもつ地域又はこれまで指定物件がない地域にある文化財のうち代表的なもの

【Ⅱ 近世以前の建造物】

- イ 近世社寺、民家等に係る調査・研究によって、重要性が認められたもの
- ロ 文化財が集中する地域において地域の文化や景観上に重要な役割をはたしているもの
- ハ 既に指定された文化財の周辺にあって、調査・研究によって一体となって価値を有する建造物等として重要性が認められたもの
- ニ 地方公共団体等が、独自に調査、保存、活用等の措置をとった結果、新たに重要性が認められたもの
- ホ 離島等の固有の文化をもつ地域又はこれまで指定物件がない地域にある文化財のうち代表的なもの

② 国宝（建造物）

国宝（建造物）の指定に当たっては、「国宝及び重要文化財指定基準」（昭和26年文化財保護委員会告示第2号）を踏まえ、主に以下の機会を通じて、特に重要な学術的価値が確認されたものや、文化史上あるいは歴史上特に重要な知見が得られたものについて行うものとする。

- イ 学術論文・調査研究等
- ロ 保存修理に伴う調査研究等

○有形文化財（建造物）登録の方針（平成8年10月文化財保護審議会了承）

有形文化財（建造物）の登録に当たっては、「登録有形文化財登録基準」（平成17年文部科学省告示第44号）を踏まえ、地方公共団体からの意見具申を考慮し、以下のいずれかにより文化財としての価値が認められ、所有者等による保存に向けての意思が明らかなるものを登録する。

なお、文化審議会文化財分科会第二専門調査会での意見を踏まえ、必要に応じて「有形文化財（建造物）の登録の方針」の見直しを行う。

- イ 近代化遺産（建造物等）総合調査、近代和風建築総合調査、近現代建造物緊急重点調査、その他の国庫補助による調査において取り上げられたもの
- ロ 建築学会・土木学会等の学会による調査において取り上げられたもの又は学術論文や学会発表等が行われたもの

ハ 地方公共団体や学界、研究者等による独自の調査が行われたもの

(4) 文化財保存事業費関係国庫補助

① 保存修理

国宝重要文化財建造物保存修理強化対策事業

近代化遺産等重点保存修理事業

登録文化財保存修理

② 防災施設等

防災施設等

耐震対策

③ 文化財建造物等活用した地域活性化事業

重要文化財（建造物・美術工芸品）修理、防災事業費国庫補助要項（昭和 54 年 5 月文化庁長官裁定）
（抜粋）

※ この要項の内容は、平成 29 年 3 月 1 日現在のものである。

2. 補助事業者

補助事業者は、重要文化財の所有者又は法第 32 条の 2 若しくは法第 172 条の規定により重要文化財の管理を行うべきものとして指定された地方公共団体その他の法人とする。

3. 補助対象事業

補助対象となる事業は、次に掲げる事業とする（これらの事業施工上必要な調査事業を含む。）。

(1) 建造物

ア 修理事業

(イ) 解体修理、半解体修理、屋根葺替、塗装修理、部分修理、移築修理

(ロ) 災害復旧工事

イ 管理事業

(イ) 警報設備、消火設備、避雷設備、防盜、防犯設備、避難設備の設置工事

(ロ) 火除地設定、消防道路設置、保護柵設置、覆屋(保存庫を含む。)設置(増、改築を含む。)、擁壁、排水施設の設置工事

(ウ) 鳥獣虫害防除、危険木診断及び危険木対策工事

(エ) 耐震診断及び耐震対策工事

(オ) 災害復旧工事

4. 補助対象経費

補助対象となる経費は、次に掲げる経費とし、その明細は別紙のとおりとする。

(1) 主たる事業費

ア 建造物

(イ) 修理工事経費

(ロ) 防災工事経費

(ウ) 耐震対策工事経費

(エ) その他工事経費

(オ) 設計料及び監理料

(2) その他の経費

(イ) 工事報告書印刷経費

(ロ) 事務経費

5. 補助金の額

- (1) 補助事業者が地方公共団体又は営利法人以外の者である場合の補助率は、次に掲げる場合を除き、補助対象経費の 50%とする。

登録有形文化財建造物修理事業費国庫補助要項（平成 9 年 11 月文化庁長官裁定）
（抜粋）

※ この要項の内容は、平成 29 年 3 月 1 日現在のものである。

2. 補助事業者

補助事業者は、登録有形文化財の所有者又は法第 60 条の規定により登録有形文化財の管理を行うべきものとして指定された地方公共団体その他の法人とする。

3. 補助対象事業

- (1) 補助対象となる事業は、次のア～ウに掲げるいずれかに該当する登録有形文化財建造物の保存・活用の模範となるもので、これらの登録有形文化財建造物の保存修理に係る設計監理事業とする。

ア 各地の歴史的景観を活かしたまちづくりに資するもの

イ 各地の特色ある伝統的建築文化の技術・意匠などの伝承に資するもの

ウ 身近な地域づくりや地域振興に資するもの

- (2) 補助事業の内容は、次に掲げる登録有形文化財建造物の修理工事又はこれにともなう建物附属設備の設置改修工事に係る設計監理事業（これらの工事施工上必要となる事前調査等の事業を含む。）とする。

ア 修理工事

(ア) 解体修理、半解体修理、屋根葺替、外観（これとともに価値を形成する内部を含む。）の部分修理、塗装修理、構造補強等

(イ) 上記の災害復旧工事

イ 建物附属設備の設置改修工事

(ア) 空調設備、給排水設備、電気設備、警報設備、消火設備、避難設備、避雷設備、防犯設備等で、建造物に密接に係わる諸設備の設置及びそれらの改修工事

(イ) 覆屋、保護柵、擁壁等、建造物の保存に必要な施設の設置及び改修工事

(ウ) 上記の災害復旧工事

4. 補助対象経費

補助対象となる経費は、保存修理工事、設備設置及び改修工事に係る設計監理に要する経費とし、明細は別紙のとおりとする。

- (1) 主たる事業費

設計料及び監理料 ア. 直接人件費
 イ. 経費（直接経費、間接経費）
 ウ. 技術料
 エ. 特別経費

- (2) その他の経費
事務経費

5. 補助金の額

補助率は、次に掲げる場合を除き補助対象経費の 50%とする。

- (1) 当該年度の前々年度の財政力指数（地方交付税法（昭和 25 年法律第 211 号）第 14 条及び第 21 条の規定により算定した基準財政収入額を同法第 11 条及び第 21 条の規定により算定した基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値）が 1.00 を超える都道府県又は指定都市にあっては、財政力指数の逆数（調整率）を補助金の交付額に乗じて得た額とする。
- (2) 補助事業者が地方財政再建促進特別措置法（昭和 30 年法律第 195 号）に規定する財政再建団体（準用団体を含む）又は過疎地域自立促進特別措置法（平成 12 年法律第 15 号）に規定する過疎地域をその区域とする市町村である場合の補助率は 65%とする。

文化財建造物等を活用した地域活性化事業費国庫補助要項（平成 25 年 5 月文化庁長官決定）
（抜粋）

※ この要項の内容は、平成 29 年 3 月 1 日現在のものである。

2. 補助事業者

(1) 重要文化財建造物

補助事業者は、重要文化財の所有者又は文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号。以下「法」という。）第 32 条の 2 若しくは法第 172 条の規定により重要文化財の管理を行うべきものとして指定された地方公共団体その他の法人とする。ただし、3. (2)については、文化庁長官が適当と認める団体（営利法人を除く）も可とする。

(2) 登録有形文化財建造物

補助事業者は、登録有形文化財の所有者のうち地方公共団体若しくは文化庁長官が適当と認めるその他の法人又は法第 60 条第 3 項で規定する登録有形文化財の管理を行うべきものとして指定された地方公共団体その他の法人とする。

3. 補助対象事業

補助対象となる事業は、以下に掲げる事業とする。

(1) 美しい日本探訪のための重要文化財建造物活用事業（重要文化財建造物の美装化事業）

重要文化財建造物の軸部や小屋組等の構造に関わる部位に影響を及ぼすことなく、外観及び公開範囲の仕上げに関わる部位を健全で美しい状態に回復するための工事

(2) 重要文化財建造物の公開活用事業

ア 保存活用計画の策定

イ 重要文化財建造物の公開活用に資する設備（便益、展示及びこれに伴う管理に供するもの（内装を含む。）」の整備

ウ 重要文化財建造物の公開活用に資する付属施設（便益、展示及びこれに伴う管理に供するもの）の整備

(3) 登録有形文化財建造物の公開活用事業

ア 保存活用計画の策定

イ 登録有形文化財建造物の公開活用に資する設備（便益、展示及びこれに伴う管理に供するもの（内装を含む。）」の整備

ウ 登録有形文化財建造物の公開活用に資する付属施設（便益、展示及びこれに伴う管理に供するもの）の整備

エ 登録有形文化財建造物の公開活用の安全性確保に必要な防災設備等の整備及び耐震対策工事

4. 補助対象経費

(1) 主たる事業費

ア 保存活用計画策定経費

イ 建築工事経費、設備工事費、環境整備費

ウ 設計料及び監理料

エ 技術指導料

(2) その他の経費

事務経費

5. 補助金の額

(1) 補助対象事業のうち 3. (1) の事業については、補助対象経費の 50%とする。

(2) 補助対象事業のうち 3. (2) から 3. (4) の事業については、補助事業者が地方公共団体である場合の補助率は、次に定める場合を除き補助対象経費の 50%とする。

- ア 当該年度の前々年度の財政力指数（地方交付税法（昭和 25 年法律第 211 号）第 14 条及び第 21 条の規定により算定した基準財政収入額を同法第 11 条及び第 21 条の規定により算定した基準財政需要額で除して得た数値の過去 3 年間の平均値）が 1.00 を超える都道府県又は指定都市にあっては、財政力指数の逆数（調整率）を補助金の交付額に乗じて得た額とする。
- イ 当該地方公共団体が、地方財政再建促進特別措置法（昭和 30 年法律第 195 号）に規定する財政再建団体（準用団体を含む）又は過疎地域自立促進特別措置法（平成 12 年法律第 15 号）に規定する過疎地域をその区域とする市町村である場合の補助率は 65%とする。
- ウ 補助事業が国有文化財に係るものであって、当該補助事業者が管理団体（登録有形文化財を除く。）である場合の補助率は 65%とする。

美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業費国庫補助要項

（抜粋）

※ この要項は、平成 29 年 1 月に文化庁より情報提供があったもので、施行は平成 29 年 4 月 1 日の予定である。

2. 補助事業者

(1) 重要文化財建造物

補助事業者は、重要文化財の所有者又は文化財保護法（昭和 25 年法律第 214 号。以下「法」という。）第 32 条の 2 若しくは法第 172 条の規定により重要文化財の管理を行うべきものとして指定された地方公共団体その他の法人とする。

(2) 登録有形文化財建造物

<未定>

3. 補助対象事業

重要文化財建造物、登録有形文化財建造物の軸部や小屋組等の構造に関わる部位に影響を及ぼすことなく、外観及び公開範囲の仕上げに関わる部位を健全で美しい状態に回復するための工事

4. 補助対象経費

(1) 主たる事業費

ア 建築工事経費

イ 設計料及び監理料

ウ 技術指導料

(2) その他の経費

事務経費

5. 補助金の額

補助対象経費の 50%とする。

(一社) 日本建築学会四国支部
愛媛県庁本館調査委員会 編
平成 29 年 3 月発行